

# 2014 年長崎県感染症発生動向調査年報

2015 年 11 月

長崎県感染症情報センター  
(長崎県環境保健研究センター)

# 目 次

I	感染症発生動向調査事業の概要	1
1	感染症発生動向調査事業	2
2	対象感染症	2
(1)	全数把握の対象感染症	2
(2)	定点把握の対象感染症（五類感染症）	4
3	オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告対象	4
4	定点医療機関数	4
5	感染症情報の提供	5
6	報告週対応表（2014年）	5
II	感染症発生動向調査結果	6
1	全数把握の対象感染症	7
(1)	一類感染症	7
(2)	二類感染症	7
(3)	三類感染症	12
(4)	四類感染症	23
(5)	五類感染症	27
	平成26年感染症週報（全数把握の対象感染症）推移表 長崎県	36
2	定点把握の対象感染症	39
(1)	インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）	39
(2)	RSウイルス感染症	40
(3)	咽頭結膜熱	41
(4)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42
(5)	感染性胃腸炎	43

(6)	水痘	44
(7)	手足口病	45
(8)	伝染性紅斑	46
(9)	突発性発しん	47
(10)	百日咳	48
(11)	ヘルパンギーナ	49
(12)	流行性耳下腺炎	50
(13)	急性出血性結膜炎	51
(14)	流行性角結膜炎	52
(15)	細菌性髄膜炎	53
(16)	無菌性髄膜炎	54
(17)	マイコプラズマ肺炎	55
(18)	クラミジア肺炎（オウム病は除く）	56
(19)	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）	57
3	STD 定点報告の対象感染症	58
(1)	性器クラミジア感染症	58
(2)	性器ヘルペスウイルス感染症	59
(3)	尖圭コンジローマ	60
(4)	淋菌感染症	61
4	基幹定点報告の対象感染症	62
(1)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	62
(2)	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	63
(3)	薬剤耐性緑膿菌感染症	64
(4)	薬剤耐性アシネトバクター感染症	65
	平成 26 年感染症週報（定点把握の対象感染症）推移表 患者報告数 長崎県	66

平成 26 年感染症週報（定点把握の対象感染症）推移表 定点当たり報告数 長崎県	68
平成 26 年感染症月報推移表 患者報告数 長崎県	70
平成 26 年感染症月報推移表 定点当たり患者数 長崎県	70
<b>III 医療機関病原菌検出情報</b>	<b>71</b>
医療機関病原菌検出情報（月報及び年報）	72
病原菌検出状況報告書	73

# I 感染症発生動向調査事業の概要

## 1 感染症発生動向調査事業

感染症発生動向調査事業は、平成11年4月1日から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の第三章（第12条～16条）に基づき、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」（平成11年3月19日健医発第458号）により国の施策として位置づけられた。

本県でも、県内の患者発生状況、病原体の検索等感染症に関する情報を迅速かつ的確に把握し、その情報を速やかに地域に還元することにより、医療機関における適切な初期診断に役立てるとともに、予防接種、集団生活の管理、衛生教育など適切な予防措置を講じ、感染症の発生及びまん延の未然防止、有効かつ的確な感染症対策に資することを目的として、「長崎県感染症発生動向調査事業実施要綱」（平成26年10月1日に一部改正）が定められている。

本調査では全数把握及び定点把握の感染症を対象とし、全数把握の対象感染症については、患者を診断した医師が最寄りの保健所に届出を行うよう義務づけられている。また、定点把握の対象感染症は、県内の感染症指定届出機関（定点医療機関）から毎週、管轄保健所に患者数が報告されている。長崎県感染症情報センターでは、患者情報及び病原体情報について、週及び月単位で国への報告をおこない、国の集計を経て還元された情報を用いて収集・分析した結果を長崎県医療政策課、政令市保健所及び県立保健所、長崎県医師会などの関係機関に提供している。

なお、類型による医師からの届出・報告基準については下表のとおりである。

類 型	届出・報告	対 象
一類～四類感染症（全数）	直ちに	全医療機関
五類感染症（ 〃 ）	7日以内	〃
指定感染症（ 〃 ）	直ちに	〃
五類感染症（定点）小児科	週単位	定点医療機関
〃 インフルエンザ	〃	〃
〃 眼科	〃	〃
〃 STD	月単位	〃
〃 基幹	週及び月単位	〃

## 2 対象感染症

### (1) 全数把握の対象感染症

#### ①一類感染症

- (1) エボラ出血熱、(2) クリミア・コンゴ出血熱、(3) 痘そう、(4) 南米出血熱、(5) ペスト、(6) マールブルグ病、(7) ラッサ熱

## ②二類感染症

(8) 急性灰白髄炎、(9) 結核、(10) ジフテリア、(11) 重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）、(12) 鳥インフルエンザ (H5N1)

## ③三類感染症

(13) コレラ、(14) 細菌性赤痢、(15) 腸管出血性大腸菌感染症、(16) 腸チフス、(17) パラチフス

## ④四類感染症

(18) E型肝炎、(19) ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、(20) A型肝炎、(21) エキノコックス症、(22) 黄熱、(23) オウム病、(24) オムスク出血熱、(25) 回帰熱、(26) キャサヌル森林病、(27) Q熱、(28) 狂犬病、(29) コクシジオイデス症、(30) サル痘、(31) 重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）、(32) 腎症候性出血熱、(33) 西部ウマ脳炎、(34) ダニ媒介脳炎、(35) 炭疽、(36) チクングニア熱、(37) つつが虫病、(38) デング熱、(39) 東部ウマ脳炎、(40) 鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9 を除く)、(41) ニパウイルス感染症、(42) 日本紅斑熱、(43) 日本脳炎、(44) ハンタウイルス肺症候群、(45) Bウイルス病、(46) 鼻疽、(47) ブルセラ症、(48) ベネズエラウマ脳炎、(49) ヘンドラウイルス感染症、(50) 発しんチフス、(51) ボツリヌス症、(52) マラリア、(53) 野兎病、(54) ライム病、(55) リッサウイルス感染症、(56) リフトバレー熱、(57) 類鼻疽、(58) レジオネラ症、(59) レプトスピラ症、(60) ロッキー山紅斑熱

## ⑤五類感染症（全数）

(61) アメーバ赤痢、(62) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、(63) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、(64) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）、(65) クリプトスポリジウム症、(66) クロイツフェルト・ヤコブ病、(67) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(68) 後天性免疫不全症候群、(69) ジアルジア症、(70) 侵襲性インフルエンザ菌感染症、(71) 侵襲性髄膜炎菌感染症、(72) 侵襲性肺炎球菌感染症、(73) 水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）、(74) 先天性風しん症候群、(75) 梅毒、(76) 播種性クリプトコックス症、(77) 破傷風、(78) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(79) バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(80) 風しん、(81) 麻しん、(82) 薬剤耐性アシネトバクター感染症

## ⑥新型インフルエンザ等感染症

(108) 新型インフルエンザ、(109) 再興型インフルエンザ

## ⑦指定感染症

(110) 中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る）、(111) 鳥インフルエンザ (H7N9)

(2) 定点把握の対象感染症（五類感染症）

①五類感染症（定点）

(83) R Sウイルス感染症、(84) 咽頭結膜熱、(85) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(86) 感染性胃腸炎、(87) 水痘、(88) 手足口病、(89) 伝染性紅斑、(90) 突発性発しん、(91) 百日咳、(92) ヘルパンギーナ、(93) 流行性耳下腺炎、(94) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、(95) 急性出血性結膜炎、(96) 流行性角結膜炎、(97) 性器クラミジア感染症、(98) 性器ヘルペスウイルス感染症、(99) 尖圭コンジローマ、(100) 淋菌感染症、(101) クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、(102) 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）、(103) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(104) マイコプラズマ肺炎、(105) 無菌性髄膜炎、(106) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(107) 薬剤耐性緑膿菌感染症

②法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(112) 摂氏 38 度以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く）若しくは(113) 発熱及び発しん又は水疱（ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く）

3 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象

二類感染症

(12) 鳥インフルエンザ（H5N1）

4 定点医療機関数

患者定点

管轄保健所	インフルエンザ <sup>※</sup> (週)	小児科 (週)	眼科 (週)	基幹 (週)	STD (月)	基幹 (月)	疑似症
長 崎 市	17	10	3	3	3	3	26
佐 世 保 市	11	6	1	1	2	1	17
西 彼	6	4	1	1	1	1	8
県 央	10	6	1	1	2	1	17
県 南	8	5	1	1	1	1	10
県 北	4	3	0	1	1	1	6
五 島	5	4	1	1	0	1	5
上 五 島	3	2	0	1	0	1	3
壱 岐	3	2	0	1	0	1	4
対 馬	3	2	0	1	0	1	4
合 計	70	44	8	12	10	12	100

※（ ）内は報告単位を示す。



病原体定点

管轄保健所	インフルエンザ (週)	小児科 (週)	眼科 (週)	基幹 (週)
長 崎 市	1	1	1	3
佐 世 保 市	2	1	0	1
西 彼 央 県	0	1	0	1
南 県	1	2	0	1
北 県	0	1	0	1
五 島 市	1	0	0	1
上 五 島 市	1	0	0	1
老 岐 市	1	0	0	1
対 馬 市	1	0	0	1
合 計	8	7	1	12

※ ( ) 内は報告単位を示す。

5 感染症情報の提供

毎週、「長崎県感染症発生動向調査速報」を作成し、長崎県医療政策課、県立保健所、政令市保健所、長崎市衛生環境試験所等に E メールで速報を配信し、各保健所から定点医療機関へ報告をおこなっている。また、長崎県医療政策課を通じ、教育庁体育保健課等関係機関及び長崎県医師会に報告がなされている。さらに、一般県民及び医療機関の関係者に向けて感染症情報のホームページを開設し、感染症の予防及び拡大防止に寄与している。

6 報告週対応表 (2014 年)

週	月	火	水	木	金	土	日	
1月	1	30	31	1	2	3	4	5
	2	6	7	8	9	10	11	12
	3	13	14	15	16	17	18	19
	4	20	21	22	23	24	25	26
	5	27	28	29	30	31	1	2
2月	6	3	4	5	6	7	8	9
	7	10	11	12	13	14	15	16
	8	17	18	19	20	21	22	23
	9	24	25	26	27	28	1	2
3月	10	3	4	5	6	7	8	9
	11	10	11	12	13	14	15	16
	12	17	18	19	20	21	22	23
	13	24	25	26	27	28	29	30
	14	31	1	2	3	4	5	6
4月	15	7	8	9	10	11	12	13
	16	14	15	16	17	18	19	20
	17	21	22	23	24	25	26	27
	18	28	29	30	1	2	3	4
	19	5	6	7	8	9	10	11
5月	20	12	13	14	15	16	17	18
	21	19	20	21	22	23	24	25
	22	26	27	28	29	30	31	1
	23	2	3	4	5	6	7	8
6月	24	9	10	11	12	13	14	15
	25	16	17	18	19	20	21	22
	26	23	24	25	26	27	28	29
	27	30	1	2	3	4	5	6
7月	28	7	8	9	10	11	12	13
	29	14	15	16	17	18	19	20
	30	21	22	23	24	25	26	27
	31	28	29	30	31	1	2	3
	32	4	5	6	7	8	9	10
8月	33	11	12	13	14	15	16	17
	34	18	19	20	21	22	23	24
	35	25	26	27	28	29	30	31
	36	1	2	3	4	5	6	7
9月	37	8	9	10	11	12	13	14
	38	15	16	17	18	19	20	21
	39	22	23	24	25	26	27	28
	40	29	30	1	2	3	4	5
	41	6	7	8	9	10	11	12
10月	42	13	14	15	16	17	18	19
	43	20	21	22	23	24	25	26
	44	27	28	29	30	31	1	2
	45	3	4	5	6	7	8	9
	46	10	11	12	13	14	15	16
11月	47	17	18	19	20	21	22	23
	48	24	25	26	27	28	29	30
	49	1	2	3	4	5	6	7
	50	8	9	10	11	12	13	14
12月	51	15	16	17	18	19	20	21
	52	22	23	24	25	26	27	28

## II 感染症発生動向調査結果

## 1 全数把握の対象感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、「法」という)について、平成26年に以下のとおり改正が行われた。

	施行日	疾病名(類型)等	変更内容
①	平成26年4月25日	「鳥インフルエンザ(H7N9)」	指定感染症としての 指定期間の延長 (1年間)
②	平成26年5月12日	「医師及び指定届出機関の管理者が都道府 県知事に届け出る基準」の改正*	届出基準、届出様式 の変更
③	平成26年7月26日	「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナ ウイルス属MERSCORONAVIRUSである ものに限る)」	指定感染症へ追加
④	平成26年9月19日	「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」 「播種性クリプトコックス症」「水痘(患者 が入院要すると認められるものに限る)」	五類感染症 全数把握へ追加
	平成26年9月19日	「薬剤耐性アシネトバクター感染症」	五類感染症 定点把握から 全数把握へ変更

※改正内容は、「Ⅱ 感染症発生動向調査結果」の該当疾患の項のとおり

上記改正に係る根拠法令は以下のとおり。

- ① 鳥インフルエンザ(H7N9)を指定感染症として定める等の政令の一部を改正する等の政令(平成26年政令第170号)等
- ② 法第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等の一部改正について(平成26年健感発0428第2号)
- ③ 中東呼吸器症候群を指定感染症として定める等の政令(平成26年政令第258号)
- ④ 法施行規則の一部を改正する省令の施行等について(平成26年健発0909第1号)等

本県における平成26年の全数把握の対象疾患の届出状況は下記のとおりであった。

## (1) 一類感染症

届出なし

## (2) 二類感染症

### ① 結核

結核は、結核菌群による感染症で、主に飛沫核感染により気道を介して感染する。症状は咳、喀痰、微熱が典型的とされており、胸痛、呼吸困難、血痰、全身倦怠感、食欲不振等を伴うこともあるが、初期には無症状のことも多い。

平成26年は476件の届出があり、前年より94件多く、月の報告数は20～70件で推移して、過去5年の中一番高い値となっている。届出を男女別にみると、男性が252件(53%)、女性が224件(47%)であった。

届出の年齢は11ヶ月～99歳。高齢になるにつれ届出数が多く、60歳代以上は319名で全体のおよそ67%を占めていた。

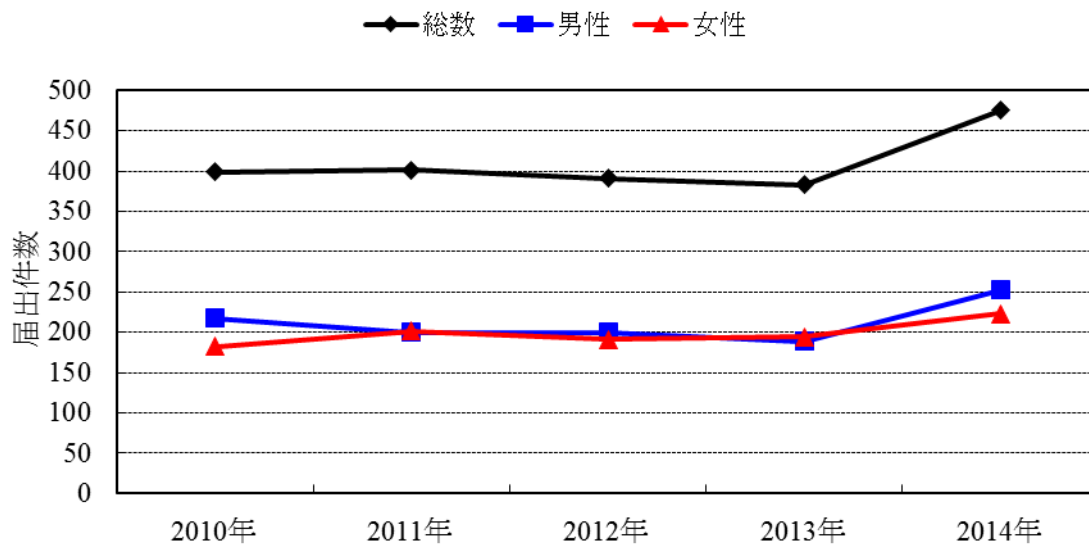
類型別にみると、「患者」325件、「無症状病原体保有者」150件、「感染症死亡者の死体」1件で、前年に比べ、「患者」で39件、「無症状病原体保有者」は55件多かった。

「患者」の年齢別内訳は、80歳代で118件、70歳代で60件、90歳代で43件の順に多く、「無症状病原体保有者」では、60歳代が最も多く36件、続いて50代(33人)、30代(21人)、70歳代(20人)の順であった。また、男女別にみると、「患者」では、男性が179件、女性が146件と男性の方が2割ほど多く、「無症状病原体保有者」では、男性が73件、女性が77件となっている。

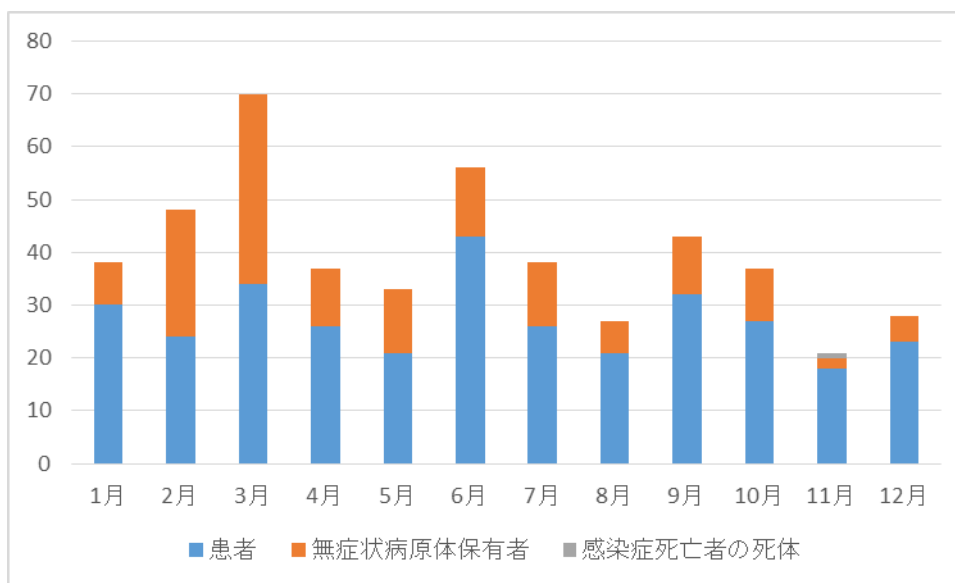
「患者」の職業をみると無職が69%と最も多く、次いで会社員や自営業といった職種が13%を占めていた。一方「無症状病原体保有者」の職業は、無職及び医療・介護従事者は各約全体の37%を占め、次いで会社員や自営業といった職種が18%であった。

平成26年は、佐世保市保健所管内の精神科医療機関における集団感染疑い事例(平成26年2月5日佐世保市発表)が発生した。初発の患者は50歳代の女性で、接触者のうち平成26年末までに「患者」25名、「無症状病原体保有者」49名が確認された。

それ以外にも、「集団感染」の定義の感染者数には達しないが、医療機関の入院病棟内や外来待合所、職場内、家庭内における接触によると思われる感染事例が多数散見された。



結核の届出件数の推移



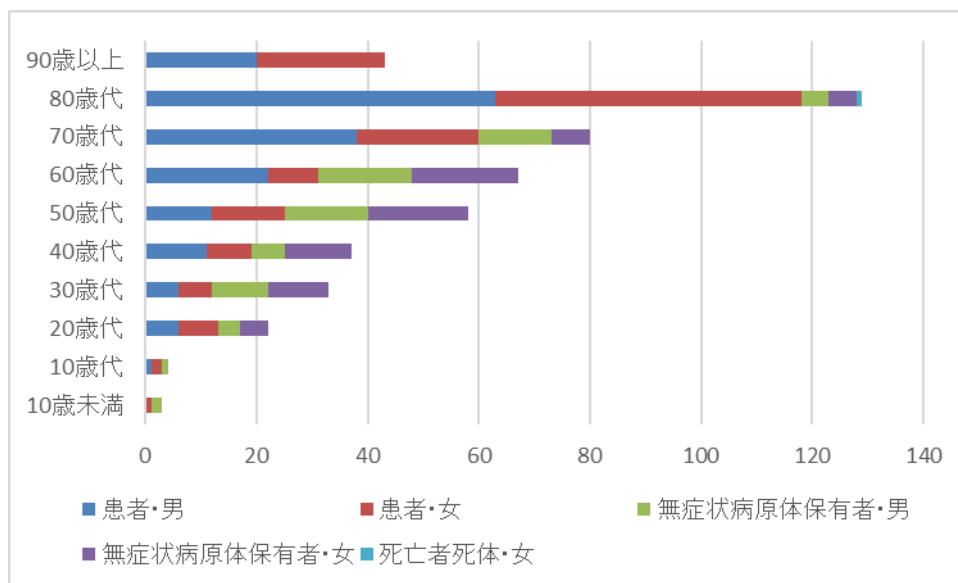
結核の月別届出件数

年齢	10未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	合計
男	0	1	6	6	11	12	22	38	63	20	179
女	1	2	7	6	8	13	9	22	55	23	146
一計	1	3	13	12	19	25	31	60	118	43	325

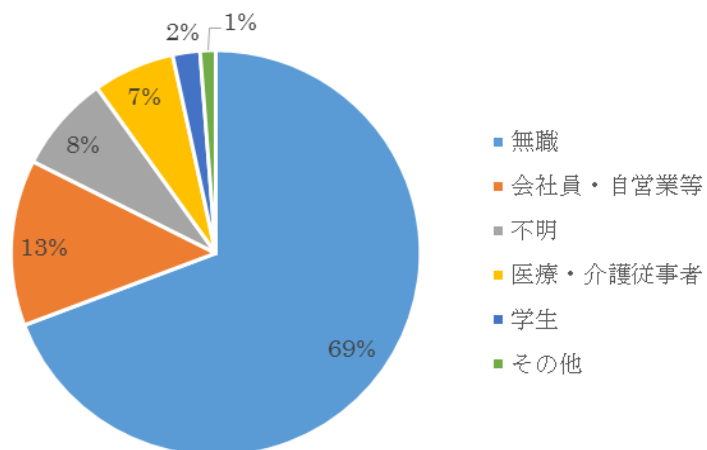
患者年齢・性別構成

年齢	10未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	合計
男	2	1	4	10	6	15	17	13	5	0	73
女	0	0	5	11	12	18	19	7	5	0	77
計	2	1	9	21	18	33	36	20	10	0	150

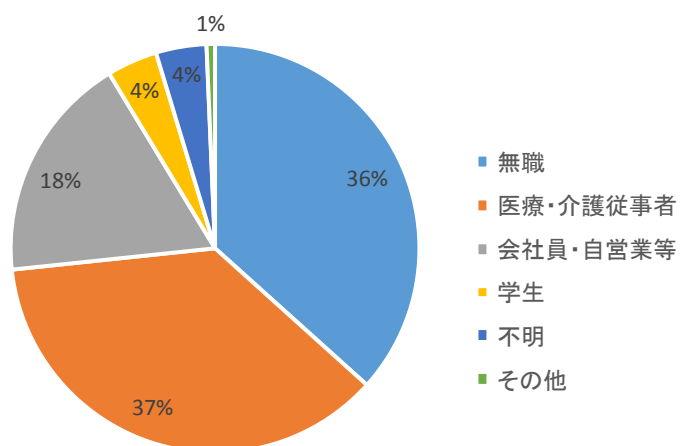
無症状病原体保有者年齢・性別構成



結核の年齢・類型別届出件数



結核患者の職業別割合 (n=325)



無症状病原体保有者の職業別割合 (n=150)

### (3) 三類感染症

#### ①細菌性赤痢

細菌性赤痢は、赤痢菌の経口感染で起こる急性感染性大腸炎である。潜伏期1～5日の後、大腸、特にS状結腸の粘膜の出血性化膿性炎症、潰瘍を形成するため、発熱、下痢、腹痛を伴うしぶり腹、膿・粘血便の排泄などの症状を呈する。

平成26年は、7月に2件、10月に1件、12月に1件の届出があった。いずれの患者も便から*Shigella sonnei* (D 群) が検出された。4件とも海外での経口感染が原因として推定された。

細菌性赤痢 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第31週 (7月)	県央	50歳代 女性	発熱・下痢・腹痛・テネスマス(しぶり腹)	経口感染	カンボジア ソウル
第31週 (7月)	長崎市	20歳代 男性	発熱・下痢・腹痛	経口感染	インド
第41週 (10月)	長崎市	20歳代 女性	発熱・下痢・腹痛・膿粘血便	経口感染	フィリピン
第50週 (12月)	上五島	30歳代 女性	発熱・下痢・腹痛	経口感染	ミャンマー タイ

#### ②腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素(Verotoxin=VTまたはShiga toxin=Stx)を産生する腸管出血性大腸菌の感染によって起こり、腹痛、水様性下痢及び血便を主症状とする全身性の疾患である。さらに、発症後数日から2週間以内に、溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症などの重篤な合併症を引き起こすことがある。

本疾患の平成26年の届出総数は142件で、前年の84件から58件増加した。その内訳は「患者」としての届出が58件、「無症状病原体保有者」が84件であった。それぞれの月別届出件数を以下に示す。

腸管出血性大腸菌感染症 月別届出件数

(件)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
患者	1	-	-	-	2	4	4	21	9	7	9	1	58
無症状病原体 保有者	-	-	-	-	1	-	2	13	8	38	18	4	84
月別合計	1	-	-	-	3	4	6	34	17	45	27	5	142

「患者」としての届出数が最も多かった月は8月であり、「無症状病原体保有者」では10月であった。



年齢別に見ると、20歳以下の届出が142件中104件と7割以上を占めており、その中で5歳未満が75件と最も多かった。

平成26年はO103、O26、O157による保育園での集団感染事例が各1例あった。各内訳は、以下のとおりである。

腸管出血性大腸菌感染症 集団感染事例

事例 No.	管轄 保健所	検出された 血清型	初発患者 発病日	集団発生患者合計 (初発患者除く)	患者 (初発患者除く)	無症状病原体 保有者
1	県北	O103 : H11	2014/7/20	19名	12名	7名
2	県南	O26 : H11	2014/8/28	15名	7名	8名
3	五島	O157 : H7	2014/10/20	33名	0名	33名

血清型の内訳は、「患者」としての届出の中ではO157が22件と最も多く、次いでO26が15件、O103が14件であった。「無症状病原体保有者」ではO157が49件で最も多く、次いでO26が19件、O103が10件であった。患者および無症状病原体保有者から分離された株の毒素の保有状況を見ると、VT1のみを保有する株が50.7%、VT2のみを保有する株が34.5%、VT1とVT2を共に保有する株が14.1%であった。

腸管出血性大腸菌 血清型別内訳

(件)	O157	O26	O103	その他
患者	22	15	14	7
無症状病原体保有者	49	19	10	6
合計	71	34	24	13

患者（58件）の症状は、下痢が65.5%、血便が36.2%、腹痛が34.5%、発熱が27.6%であった。また、溶血性尿毒症症候群（HUS）の重症合併症の報告はなかった。

腸管出血性大腸菌 型別一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第4週 (1月)	県南	40歳代 男性	腹痛・血便	O不明 (VT1)	県内
第22週 (5月)	西彼	70歳代 女性	腹痛・血便	O157 (VT1VT2)	県内
〃	西彼	70歳代 男性	なし	O157 (VT1VT2)	県内
〃	長崎市	70歳代 男性	腹痛・水様性下痢・血便	O157 (VT1)	県内
第23週 (6月)	県央	10歳代 男性	腹痛・水様性下痢・血便	O157 (VT1VT2)	県内

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第25週 (6月)	県央	20歳代 女性	腹痛・水様性下痢・血便	O26 (VT1)	県内
第26週 (6月)	県南	80歳代 女性	水様性下痢・血便・嘔吐	O157 (VT1VT2)	県内
第27週 (6月)	県南	5歳未満 男性	水様性下痢・発熱	O157 (VT1VT2)	県内
第28週 (7月)	県南	5歳未満 女性	水様性下痢・血便	O157 (VT1VT2)	県内
〃	県央	20歳代 男性	腹痛・水様性下痢・血便	O157 (VT1VT2)	県内
第29週 (7月)	県央	10歳代 女性	腹痛・水様性下痢	O157 (VT1VT2)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	水様性下痢・血便	O157 (VT2)	県内
第30週 (7月)	県央	30歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	県南	30歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
第32週 (8月)	佐世保市	20歳代 女性	腹痛・血便	O157 (VT1VT2)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	水様性下痢・発熱	O26 (VT1)	国内
〃	県北	5歳未満 女性	血便	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 女性	下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 男性	下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 女性	下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 女性	腹痛・発熱・下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 女性	発熱・下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 男性	発熱・下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 男性	発熱・下痢・食欲不振	O103 (VT1)	県内

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第32週 (8月)	県北	5歳未満 女性	下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 男性	発熱・痙攣・下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 女性	下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5～9歳代 女性	なし	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 男性	水様性下痢・発熱	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 男性	なし	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 男性	なし	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 女性	下痢	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 女性	なし	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 男性	なし	O103 (VT1)	県内
第33週 (8月)	県北	30歳代 女性	なし	O103 (VT1)	県内
〃	県北	5歳未満 男性	なし	O103 (VT1)	県内
〃	県南	30歳代 女性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県央	80歳代 女性	腹痛・水様性下痢・血便	O157 (VT1)	県内
〃	県央	10歳代 女性	腹痛・その他(軟便)	O157 (VT1VT2)	県内
〃	県南	5歳未満 男性	水様性下痢・発熱	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 男性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 男性	なし	O26 (VT1)	県内

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第33週 (8月)	県央	50歳代 男性	なし	O157 (VT1VT2)	県内
〃	県央	10歳代 男性	なし	O157 (VT1VT2)	県内
〃	県南	5~9歳代 女性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県北	50歳代 女性	なし	O103 (VT1VT2)	県内
第34週 (8月)	県北	5歳未満 女性	腹痛・血便	O157 (VT1VT2)	県内
第36週 (9月)	長崎市	5~9歳代 男性	腹痛・水様性下痢	O157 (VT2)	国内
〃	県南	5歳未満 女性	水様性下痢・血便	O26 (VT1)	県内
第37週 (9月)	県南	5歳未満 男性	水様性下痢・血便・発熱	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 男性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 男性	嘔吐・発熱・その他(軟便)	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 男性	その他(軟便)	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	水様性下痢・発熱	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 男性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	水様性下痢	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 男性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	水様性下痢・発熱	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	なし	O26 (VT1)	県内

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第37週 (9月)	県南	30歳代 女性	なし	O26 (VT1)	県内
”	県南	5~9歳代 女性	なし	O26 (VT1)	県内
”	県南	50歳代 男性	なし	O26 (VT1)	県内
第40週 (10月)	県南	5~9歳代 男性	腹痛・水様性下痢	O157 (VT1VT2)	県内
第41週 (10月)	県南	5~9歳代 女性	なし	O157 (VT1VT2)	県内
”	県南	5歳未満 男性	水様性下痢・発熱	O157 (VT1VT2)	県内
”	県南	80歳代 女性	水様性下痢・発熱	O157 (VT2)	県内
”	県南	80歳代 女性	血便	O157 (VT不明)	県内
第42週 (10月)	県南	40歳代 女性	なし	O157 (VT1VT2)	県内
”	県南	30歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
第43週 (10月)	県南	5~9歳代 男性	腹痛・水様性下痢・血便	O157 (VT1VT2)	県内
”	五島	5歳未満 男性	腹痛・水様性下痢・血便	O157 (VT2)	県内
第44週 (10月)	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
”	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
”	五島	5歳未満 男性	なし	O157 (VT2)	県内
”	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
”	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
”	五島	5歳未満 男性	なし	O157 (VT2)	県内
”	五島	5歳未満 男性	なし	O157 (VT2)	県内

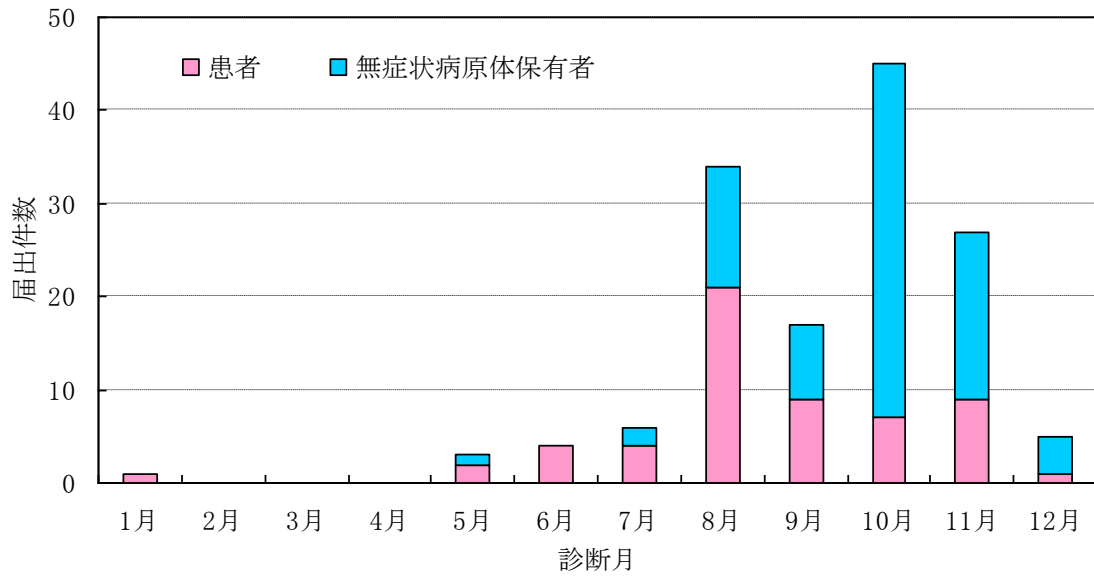
診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第44週 (10月)	五島	5歳未満 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 男性	水様性下痢・その他(食欲不振)	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5～9歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5～9歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5～9歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5～9歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5～9歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5～9歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第44週 (10月)	五島	5～9歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5～9歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	20歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	30歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	40歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	50歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	50歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	60歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5～9歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5歳未満 女性	なし	O157 (VT2)	県内
第45週 (11月)	五島	20歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	30歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	5～9歳代 女性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	30歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	50歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
〃	五島	50歳代 男性	なし	O157 (VT2)	県内
第46週 (11月)	壱岐	5～9歳代 男性	腹痛・水様性下痢	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	30歳代 男性	なし	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	5歳未満 男性	なし	O111 (VT1)	県内

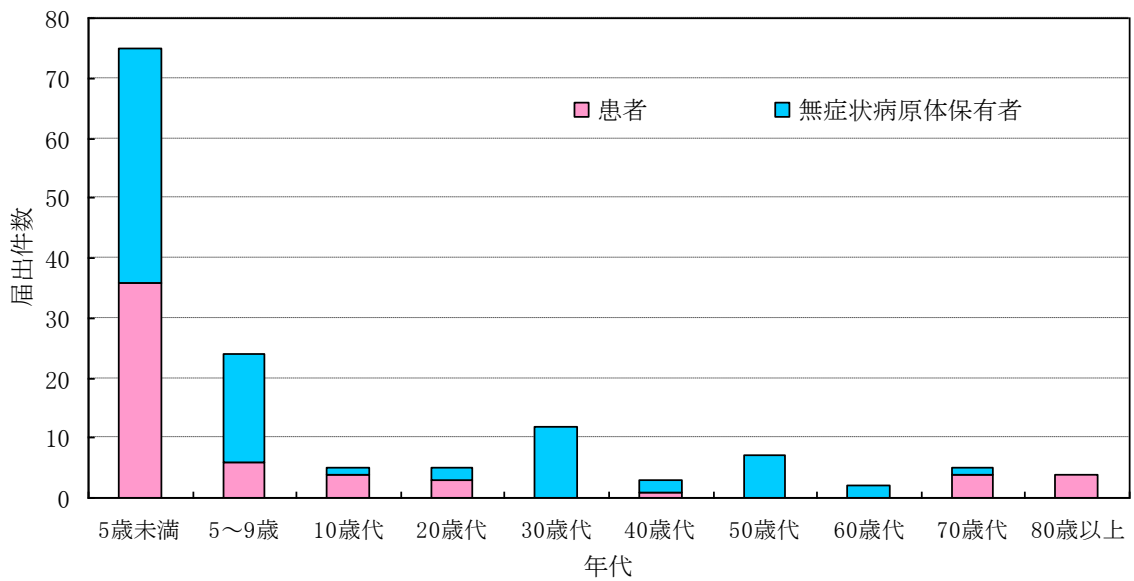
診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第47週 (11月)	壱岐	5歳未満 女性	その他(軟便)	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	5歳未満 男性	なし	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	5歳未満 男性	なし	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	5歳未満 女性	その他(軟便)	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	5歳未満 女性	なし	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	5～9歳代 女性	腹痛	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	70歳代 女性	腹痛	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	30歳代 女性	なし	O111 (VT1)	県内
〃	壱岐	5歳未満 女性	その他(軟便)	O111 (VT1)	県内
〃	西彼	10歳代 男性	腹痛・水様性下痢	O103 (VT1)	県内
〃	西彼	5～9歳代 男性	なし	O103 (VT1)	県内
〃	西彼	5～9歳代 女性	なし	O103 (VT1)	県内
第48週 (11月)	県南	5～9歳代 女性	血便	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	水様性下痢・血便	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 女性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5歳未満 男性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5～9歳代 男性	なし	O26 (VT1)	県内
第49週 (12月)	県南	60歳代 女性	なし	O26 (VT1)	県内



診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	型別 (VT)	推定 感染地域
第49週 (12月)	県南	5歳未満 男性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県南	30歳代 女性	なし	O26 (VT1)	県内
〃	県南	5~9歳代 男性	なし	O26 (VT1)	県内
第51週 (12月)	佐世保市	70歳代 男性	腹痛・水様性下痢・血便・嘔吐・発熱	O157 (VT1VT2)	県内



腸管出血性大腸菌感染症 月別届出数



腸管出血性大腸菌感染症 年齢別届出総数

#### (4) 四類感染症

##### ①E型肝炎

E型肝炎は、E型肝炎ウイルスによる感染症で、主な感染経路は汚染された食品や水、動物の臓器や肉の生食による経口感染である。平均6週間の潜伏期を経て、発熱、全身倦怠感、悪心、食欲不振などの消化器症状、黄疸などの急性肝炎を呈する。

平成26年は、3月に1件、11月に1件の届出があった。届出患者の推定感染年月日および経路は不明であった。

E型肝炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第10週 (3月)	県央	50歳代 男性	発熱・全身倦怠感・食欲不振・黄疸・肝機能異常	不明	県内
第46週 (11月)	長崎市	60歳代 男性	全身倦怠感・食欲不振・黄疸・肝機能異常	不明	県内

##### ②重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）

平成25年3月4日から四類感染症として追加された、重症熱性血小板減少症候群(Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS)は、ブニヤウイルス科フレボウイルス属に分類される新しいウイルスによるダニ媒介性感染症である。感染経路はマダニを介したものが中心だが、血液等の患者体液との接触により人から人への感染も報告されている。主な症状は、発熱と消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢）で、ときに頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、痙攣、昏睡）、リンパ節腫脹なども見られる。

本県においては、3月と8月に各1件の届出があった。患者のうち1名は、70歳代の女性で、発熱や消化器症状、血小板減少、神経症状が見られ、発症から10日ほどで死亡した。刺し口も確認された。

もう1名は、60歳代の男性で、発熱、消化器症状、全身倦怠感、リンパ節腫脹の症状が見られた。発症日前後に山野には入っておらず、草むらにいた野良猫との接触が感染経路として推定された。

3～11月にかけては、ウイルスを媒介するダニ類の活動が活発になるため、森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、ダニによる刺咬予防の注意喚起が必要である。

重症熱性血小板減少症候群 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第13週 (3月)	長崎市	70歳代 女性	発熱・筋肉痛・神経症状・下痢・全身倦怠感・血小板減少・白血球減少・リンパ節腫脹・刺し口	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第32週 (8月)	長崎市	60歳代 男性	発熱・腹痛・下痢・全身倦怠感・リンパ節腫脹	動物・蚊・昆虫等からの感染（野良猫）	県内

### ③ つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するダニの一種「つつが虫」に刺されることで感染する。5～14日の潜伏期を経て、全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱を伴って発症する。ダニによって媒介される疾患であるため刺し口を確認することが診断の助けになる。

平成26年は8月、10月に各1件、11月、12月に各2件の計6件の届出があった。6件中5件については、主に生活環境周囲の山林等で作業を行いダニに刺されたことが感染原因として推定された。12月に届出のあった20歳代の女性は、動物を介してダニに刺されたことが感染原因として推定された。

3～11月にかけて媒介するダニ類が活発になる時期であるため、そのような時期には、森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業をおこなうなど、ダニによる刺咬予防の注意喚起が必要である。

つつが虫病 届出一覧

診断週 (月)	発症月	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第34週 (8月)	26年 8月	上五島	80歳代 女性	発熱・刺し口・発疹・その他(体動困難)	動物・蚊・昆虫等からの感染	福岡県
第41週 (10月)	26年 9月	県北	40歳代 女性	発熱・刺し口・その他(肝脾腫)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第47週 (11月)	26年 10月	壱岐	60歳代 男性	頭痛・発熱・刺し口・リンパ節腫脹・ 発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第47週 (11月)	26年 11月	県北	70歳代 女性	頭痛・発熱・刺し口・その他(食欲 不振、肝機能異常)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第50週 (12月)	26年 11月	県央	70歳代 男性	発熱、刺し口、発疹	その他(不明・樹木を通じて)	県内
第50週 (12月)	26年 11月	県北	20歳代 女性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内

### ④ 日本紅斑熱

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺されることで感染する。2～8日の潜伏期を経て頭痛、全身倦怠感、高熱などを伴って発症する。つつが虫病同様、ダニによって媒介される疾患であるため、刺し口を確認することが診断の助けになる。

平成26年の届出は14件であった。発症月は、4～10月で、ダニの活動が活発な時期であった。罹患した年齢層をみると、60歳代から80歳代が中心で、女性の割合が多かった。約半数の7例で刺し口が確認され、ほとんどが田畑での農作業中の感染と推定された。

森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、ダニによる刺咬予防の注意喚起が必要である。

日本紅斑熱 届出一覧

診断週 (月)	発症月	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第7週 (2月)	25年 10月	長崎市	70歳代 女性	発熱・刺し口・発疹・肝機能異常・ その他(全身倦怠感)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第8週 (2月)	25年 8月	西彼	70歳代 男性	発熱・頭痛・発疹・その他(筋肉痛)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (詳細は不明)	県内
第8週 (2月)	25年 8月	西彼	70歳代 女性	発熱・発疹・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第12週 (3月)	25年 10月	西彼	70歳代 女性	発熱・刺し口・発疹・DIC・肝機能 異常	動物・蚊・昆虫等からの感染 (農作業)	県内
第12週 (3月)	25年 10月	西彼	70歳代 女性	発熱・発疹・肝機能異常・その他(関 節痛)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第13週 (3月)	25年 9月	県北	70歳代 女性	発熱・発疹・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第16週 (4月)	26年 4月	長崎市	60歳代 女性	発熱・刺し口・発疹・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第21週 (5月)	25年 10月	上五島	80歳代 女性	発熱・頭痛・刺し口・発疹・肝機能 異常・その他(筋肉痛)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畑仕事)	県内
第31週 (7月)	26年 4月	対馬	80歳代 女性	発熱・刺し口・発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第37週 (9月)	26年 5月	佐世保市	60歳代 女性	発熱・発疹・DIC・肝機能異常・そ の他(紫斑・紅斑)	その他(自宅で除草作業)	県内
第40週 (10月)	26年 9月	五島	60歳代 女性	発熱・刺し口・発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (農作業)	県内
第52週 (12月)	26年 6月	佐世保市	60歳代 男性	発熱・発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (草むらを散歩)	県内
第52週 (12月)	26年 8月	長崎市	60歳代 女性	発熱・発疹・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第52週 (12月)	26年 7月	西彼	80歳代 女性	発熱・刺し口・発疹・肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内

⑤ レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症である。本菌は、土壌などの自然環境中に存在する細菌であるため、汚染された土壌の砂塵や汚染された水(冷却塔水や給湯水など)のエアロゾルを吸入して空気感染または飛沫感染する。病型は、劇症型の「肺炎型」と一過性の「ポンティアック熱型」がある。「肺炎型」はレジオネラ症の大半を占め、肺炎を主徴とする。全身倦怠感、筋肉痛、発熱の非特異的症狀に始まり、乾性咳、喀痰、胸痛が出現する。意識障害や

歩行障害などの中樞神経系の症状や腹痛や下痢等の消化器症状も見られる。「ポンティアック熱型」は、発熱を主徴とし、全身倦怠感、悪寒、頭痛、筋肉痛などを伴うが肺炎はみられない。

平成26年の届出は8件であった。月別にみると、3月に1件、4月に3件、7月に2件、8月に1件、12月に1件の報告がなされた。「病型」はいずれも肺炎を主症状とする「肺炎型」であった。届出患者の年齢層は、50歳代から70歳代で、8月の1件を除く7件が男性であった。

推定感染地域は全て「県内」で、届出のうち4件が感染経路「不明」とされたが、残り4件のうち3件は「水系感染」、1件は「塵埃感染」と推定された。水系感染については、風呂や温泉といった入浴中の感染が疑われ、塵埃感染については、解体作業中の感染が疑われた。

#### レジオネラ症 届出

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第11週 (3月)	県央	80歳代 男性	咳嗽・肺炎	水系感染	県内
第14週 (4月)	県央	70歳代 男性	発熱・呼吸困難・肺炎	水系感染	県内
〃	壱岐	80歳代 男性	肺炎・その他(血痰)	水系感染	県内
第15週 (4月)	県北	50歳代 男性	発熱・下痢・肺炎	塵埃感染 (解体作業)	県内
第29週 (7月)	長崎市	70歳代 男性	発熱・肺炎	不明	県内
第30週 (7月)	対馬	50歳代 男性	発熱・呼吸困難・意識障害・肺炎	不明	県内
第34週 (8月)	県南	70歳代 女性	発熱・意識障害・肺炎	不明	県内
第49週 (12月)	県南	70歳代 男性	発熱・呼吸困難・意識障害・肺炎	不明	県内

## (5) 五類感染症

### ① アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は、赤痢アメーバの感染に起因する疾患である。病型は下痢、粘血便、しぶり腹、鼓腸、排便時の下腹部痛などの消化器症状を主症状とする「腸管アメーバ症」と腸管部よりアメーバが血行性に転移することにより、肝膿瘍や高熱、嘔吐、体重減少、全身倦怠感を呈する「腸管外アメーバ症」に大別される。感染経路には、赤痢アメーバに汚染された飲食物などの経口摂取や性的接触がある。

平成26年の届出は、6月に3件、4月、9月、10月にそれぞれ1件、計6件で、全て男性であった。

推定される感染原因・感染経路は、「経口感染」が1件、「性的接触（性交・同性間）」が3件で、他の2件は「不明」であった。感染地域は、「国内」が2件、「県内」が3件、残る1件が「バンコク」で、海外に渡航した際の経口感染が疑われた事例であった。

先進国において男性と性行為をする男性がアメーバ赤痢のハイリスクグループと言われているが、平成26年は、県内でも同様の傾向が認められた。

病型別にみると、5件が「腸管アメーバ症」で、1件は「腸管外アメーバ症」と診断された。

下痢や粘血便といった症状があつて医療機関を受診する場合はほとんどであるが、がん検診がきっかけで本疾患と診断された事例もあった。1件は、同時にHIV感染症（無症状病原体保有者）を合併していた。

アメーバ赤痢 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第15週 (4月)	県央	50歳代 男性	下痢・粘血便・大腸粘膜異常所見	性的接触 (性交・同性間)	県内
第25週 (6月)	長崎市	20歳代 男性	腹痛・発熱 HIV	性的接触 (性交・同性間)	県内
第26週 (6月)	佐世保市	40歳代 男性	その他(便潜血)	不明	国内
第26週 (6月)	佐世保市	60歳代 男性	その他(腹部不快感)	経口感染	バンコク
第39週 (9月)	県央	50歳代 男性	下痢・粘血便・しぶり腹	不明	県内
第40週 (10月)	佐世保市	60歳代 男性	肝膿瘍	性的接触 (性交・同性間)	国内

### ② ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)

ウイルス性肝炎は、ウイルス感染を原因とする急性肝炎 (B型肝炎、C型肝炎、その他のウイルス性肝炎) である。肝炎ウイルスは血液を介して感染し、特にB型肝炎ウイルスは、母子感染や性感染にも注意が必要である。症状は、一般に全身倦怠感、感冒様症状、食欲不振、悪感、

嘔吐などの症状で急性に発症して、数日後に褐色尿や黄疸を伴うことが多い。発熱、肝機能異常、その他の全身症状を呈する発病後間もない時期には、かぜあるいは急性胃腸炎などと類似した症状を示すとされている。

平成26年の届出は9月に1件あった。

届出での「病型」は「B型」、推定感染地域は「国内」であり、感染原因・感染経路として、性的接触（性交・不明）が推定された。

本年5月の法改正で発生届の様式に変更があり、ワクチン接種歴の記載欄が追加されたが、本症例において、B型肝炎ワクチンの接種歴はなかった。

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第40週 (9月)	県央	20歳代 女性	全身倦怠感・肝機能異常	性的接触 (性交・不明)	県内

③ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

急性脳炎は、ウイルスなど種々の病原体の感染による脳実質の感染症である。多くは何らかの先行感染を伴い、高熱に続き、意識障害や痙攣が突然出現し、持続する。炎症所見が明らかではないが、同様の症状を呈する脳症も含まれる。

平成26年は、1月、3月、5月に1件ずつ計3件の届出があった。病原体については、5月の届出のみ「病原体不明」であった。1月の届出は先行感染症状から「インフルエンザウイルス B型」が、3月の届出は、髄液を用いたPCR検査の結果から「帯状疱疹ウイルス」が推定された。

急性脳炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第4週 (1月)	長崎市	10歳代 女性	発熱・意識障害	飛沫・飛沫核 感染	県内
第10週 (3月)	県央	80歳代 女性	発熱・意識障害	不明	県内
第18週 (5月)	長崎市	30歳代 女性	発熱・頭痛・嘔吐・項部硬直・痙攣・意識障害・髄液 細胞数の増加	経口感染	県内

④ クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病は、100万人に1人の割合で孤発性または家族性に生じ、脳組織の海綿（スポンジ）状変性を特徴とする疾患である。感染因子は、異常プリオン蛋白と考えられており、不可逆的な致死性神経障害を生ずる。

平成26年の届出は、6月、7月、8月、10月、12月に各1件ずつ、計5件であった。患者は60歳代～80歳代で、病型はすべて孤発性プリオン病、古典型クロイツフェルト・ヤコブ病であった。



「診断の確実度」は、脳波の所見として周期性同期性放電（PSD）が認められた6月、8月、10月の3件が「ほぼ確実」、認められなかった7月、10月の2件が「疑い」であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第23週 (6月)	県央	70歳代 女性	進行性認知症・ミオクローヌス・無動性無言状態・記憶障害・精神知能障害		
第27週 (7月)	県央	70歳代 女性	進行性認知症・ミオクローヌス・錐体路症状・錐体外路症状・小脳症状・無動性無言状態・異常感覚・痙性対麻痺・筋強剛		
第34週 (8月)	長崎市	80歳代 男性	進行性認知症・ミオクローヌス・錐体路症状・錐体外路症状・小脳症状・無動性無言状態・筋強剛		
第41週 (10月)	長崎市	80歳代 男性	進行性認知症・ミオクローヌス・錐体路症状・記憶障害・筋強剛		
第52週 (12月)	県央	60歳代 女性	進行性認知症・錐体外路症状・無動性無言状態・精神知能障害・臨床的に頑固な不眠・筋強剛		

#### ⑤ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

β溶血を示すレンサ球菌を原因とし、突発的に発症して急激に進行する敗血症性ショック病態である。皮膚や粘膜から、通常は菌の存在しない筋肉、脂肪組織や血液に溶血性レンサ球菌が侵入することによって発症する。初発症状は咽頭痛、発熱、消化管症状、全身倦怠感、低血圧などの敗血症症状、筋痛などで、後発症状としては軟部組織病変、循環不全、呼吸不全、血液凝固異常（DIC）、肝腎症状など多臓器不全を来し、日常生活を営む状態から24時間以内に多臓器不全が完結する程度の進行を示す。

平成26年は2月に1件、6月に2件、9月に1件、計4件の届出があった。血液や壊死軟部組織、手術創、生検組織から病原体が分離・同定され、2件は血清群「A群」、1件が「C群」、残る1件は「B群およびG群」が検出された。推定感染地域はいずれも県内であった。感染原因・感染経路は4件のうち3件が「創傷感染」で、残る1件は「不明」であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第8週 (2月)	佐世保市	80歳代 女性	ショック・腎不全・DIC	不明	県内
第22週 (6月)	佐世保市	70歳代 男性	ショック・腎不全・軟部組織炎	創傷感染（前頭部に搔破痕）	県内
第24週 (6月)	県央	30歳代 男性	ショック・軟部組織炎・全身性紅斑性発疹	創傷感染（左下肢創）	県内
第37週 (9月)	佐世保市	60歳代 男性	ショック・肝不全・腎不全・軟部組織炎	創傷感染（足底まめ）	県内

## ⑥ 後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む）

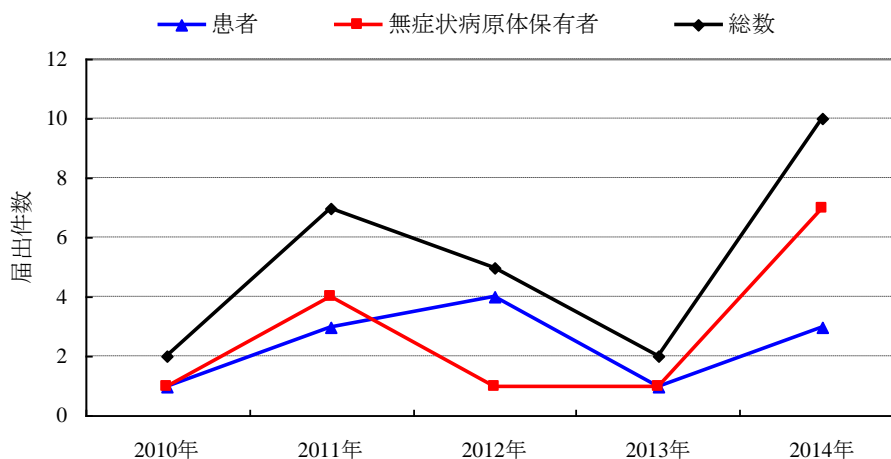
後天性免疫不全症候群は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の感染によって免疫不全が生じ、日和見感染症や悪性腫瘍が合併した状態である。HIV に感染した後、無症候性の時期（無治療で約 10 年）を経て、生体が高度の免疫不全症に陥る。主な感染経路には、性的接触、母子感染（経胎盤、経産道、経母乳感染）、血液によるもの（輸血、臓器移植、医療事故、麻薬等の静脈注射など）がある。

平成 26 年は 1 月、4 月、10 月に各 1 件、2 月、5 月に 2 件、6 月に 3 件の計 10 件の届出があり、過去 5 年のうちで最多であった。「類型」は、「患者」が 3 件、「無症状病原体保有者」が 7 件で、いずれも 30 歳代男性であった。

推定される感染地域は 6 件が「国内」で、東南アジア、オーストラリア、アメリカ合衆国が各 1 件であった。

感染経路は、「不明」が 4 件、残る 6 件は「性行為感染」（異性間 1 件、同性間 4 件、不明 1 件）であった。国内では男性の同性間接触による HIV 感染が増加している傾向にあるが、県内でも同様の傾向が認められた。

「無症状病原体保有者」の診断契機としては、保健所での検査が 3 件、妊婦検査 1 件、他の感染症（梅毒およびアメーバ赤痢）診断時の検査によるものが 2 件、不明が 1 件であった。



後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む）の届出件数の推移

後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む） 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域 (最近数年間の主 な居住地)
第5週 (1月)	佐世保市	40歳代 男性	なし	性行為感染 (同性間)	国内
第6週 (2月)	長崎市	50歳代 男性	股関節痛・非ホジキン性リンパ腫	不明	国内
第8週 (2月)	佐世保市	20歳代 男性	脳症(健忘など)、倦怠感 ニューモシスティ ス肺炎、サイトメガロウイルス感染症、HIV脳症	不明	国内
第17週 (4月)	長崎市	20歳代 男性	なし	不明	国内
第20週 (5月)	長崎市	70歳代 男性	発熱・意識障害・カンジダ症(食道)・トキノ プラズマ脳症・サイトメガロウイルス感染症・ HIV脳症	性行為感染 (異性間)	東南アジア
第20週 (5月)	長崎市	20歳代 男性	なし	性行為感染 (不明)	国内
第23週 (6月)	長崎市	30歳代 男性	なし	性行為感染 (同性間)	オーストラリア
第23週 (6月)	佐世保市	30歳代 女性	なし	不明	アメリカ
第26週 (6月)	長崎市	20歳代 男性	なし	性行為感染 (同性間)	国内
第41週 (10月)	長崎市	30歳代 男性	なし	性行為感染 (同性間)	国内

⑦ ジアルジア症

消化管寄生虫鞭毛虫の一種であるジアルジアによる原虫感染症である。  
糞便中に排出された原虫嚢子により食物や水が汚染されることによって、経口感染を起こす。  
健康な者の場合には無症状のことも多いが、食欲不振、腹部不快感、下痢等の症状を示すこと  
もあり、免疫不全状態では重篤となることもある。  
平成26年の届出は3月に1件あった。届出のあった患者は、20歳代男性で、発症前に海外に滞  
在歴があった症例であった。

ジアルジア症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第12週 (3月)	長崎市	20歳代 男性	腹部不快感・下痢・その他(悪心・嘔吐・食思低下・ 腹部膨満感)	経口感染	ペルー

### ⑧ 侵襲性肺炎球菌感染症

平成25年4月1日から届出の対象となり、「*Streptococcus pneumoniae* による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症」と定義されている。感染経路は飛沫感染がほとんどで、主な症状は、髄膜炎とそれ以外の菌血症を伴う肺炎や敗血症である。

平成26年は1月、3月、5月、10月に1件、6月、11月にそれぞれ2件、12月に3件の計11件の届出があった。推定感染経路は2件が「飛沫・飛沫核感染」、他の9件は「不明」であった。また、感染地域は「国内」もしくは「県内」と推定された。

ワクチン接種歴は11件中6件が「なし」、残る5件は「不明」であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第2週 (1月)	長崎市	70歳代 男性	肺炎	不明	県内
第10週 (3月)	県央	40歳代 男性	発熱・意識障害・髄膜炎	不明	国内
第18週 (5月)	佐世保市	50歳代 女性	全身倦怠感・菌血症・その他(全身疼痛)	不明	国内
第23週 (6月)	長崎市	70歳代 男性	発熱・肺炎・菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第24週 (6月)	佐世保市	30歳代 女性	頭痛・発熱・意識障害・項部硬直・髄膜炎・中耳炎	不明	県内
第44週 (10月)	長崎市	60歳代 女性	発熱・咳・項部硬直・髄膜炎・肺炎・中耳炎・菌血症	不明	県内
第47週 (11月)	長崎市	80歳代 女性	頭痛・発熱・嘔吐・菌血症・その他(胆道感染症)	不明	国内
第47週 (11月)	佐世保市	70歳代 男性	発熱・肺炎	飛沫・飛沫核 感染	県内
第51週 (12月)	県央	70歳代 男性	発熱・菌血症	不明	県内
第52週 (12月)	長崎市	50歳代 女性	頭痛・発熱・咳・全身倦怠感・意識障害・項部硬直・ 髄膜炎・菌血症	不明	県内
第52週 (12月)	佐世保市	80歳代 男性	発熱・咳・全身倦怠感・肺炎・菌血症	不明	県内

### ⑨ 水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る)

平成26年9月19日から届出の対象となり、定義は「水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染による感染症のうち24時間以上入院を必要とするもの(他疾患で入院中に水痘を発症し、かつ、水痘発症後24時間以上経過した例を含む)」である。

平成26年の届出は、9月、11月にそれぞれ1件の計2件であった。9月の1件は、水痘を発

症した同居中の家族からの感染が疑われた。

水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る) 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第39週 (9月)	県央	70歳代 女性	発熱・発疹	飛沫・飛沫核感染	県内
第39週 (11月)	長崎市	40歳代 男性	発熱・発疹	飛沫・飛沫核感染	県内

## ⑩ 梅毒

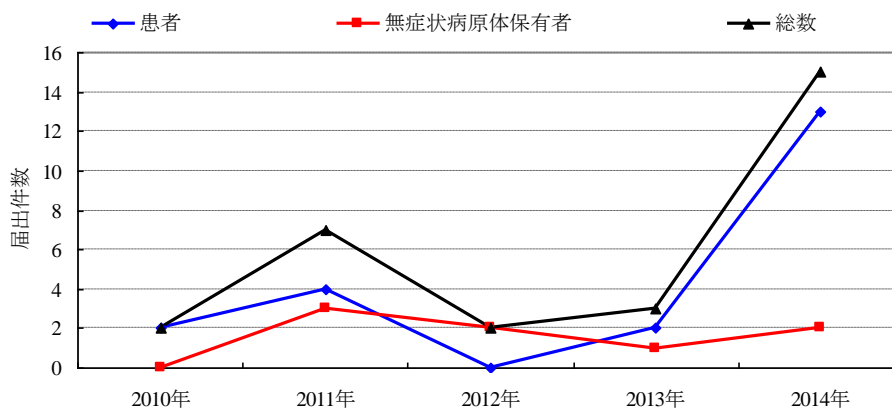
梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症である。感染者との粘膜の接触を伴う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する(先天梅毒)経路がある。Ⅰ期では、感染局所に初期硬結や硬性下疳、無痛性の鼠径部リンパ節腫脹がみられ、Ⅱ期では、皮膚や粘膜に梅毒性バラ疹や丘疹性梅毒疹、扁平コンジローマなどの特有な発疹が見られる。晩期顕症梅毒としてゴム腫、梅毒によると考えられる心血管症状、神経症状、眼症状などが認められることがある。先天梅毒では、梅毒疹、骨軟骨炎など早期先天梅毒の症状を呈する症例や乳幼児期は症状を示さずに経過し、学童期以後に Hutchinson3 徴候(実質性角膜炎、内耳性難聴、Hutchinson 歯)などの症状を呈する症例がある。

平成26年の届出は、「患者」が17件、「無症状病原体保有者」が2件の計19件あり、過去5年で最多であった。性別は、男性13件、女性6件で男性が多かった。

病型別にみると、早期顕症梅毒(Ⅰ期)が5件、早期顕症梅毒(Ⅱ期)が12件、「無症候」が2件であった。

感染地域は18件が「国内」で、1件が「国外(ルーマニア)」であった。推定感染経路は性的接触(性交・異性間9件、性交・同性間2件、性交・不明4件、性的接触(経口)・異性間1件、性的接触(不明)・異性間1件、性的接触・不明1件)が18件、「不明」が1件であった。

平成26年に梅毒の報告数が増加した原因を推定することは難しいが、今後の予防啓発と早期受診の勧奨に努めていく必要があると考える。



梅毒の届出件数の推移

梅毒 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第12週 (3月)	県央	20歳代 女性	丘疹性梅毒疹 妊娠18週	性的接触 (異性間)	県内
第12週 (3月)	長崎市	40歳代 男性	なし	性的接触 (性交・異性間)	県内
第13週 (3月)	長崎市	10歳代 男性	鼠径部リンパ節腫脹・丘疹性梅毒疹	性的接触 (性交・不明)	県内
第16週 (4月)	長崎市	40歳代 男性	初期硬結・丘疹性梅毒疹	性的接触 (性交・不明)	県内
第19週 (5月)	長崎市	20歳代 男性	丘疹性梅毒疹	性的接触 (性交・不明)	国内
第19週 (5月)	長崎市	40歳代 女性	初期硬結	性的接触 (性交・異性間)	県内
第23週 (6月)	佐世保市	20歳代 女性	鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹	性交・経口・異 性間)	県内
第30週 (7月)	長崎市	30歳代 女性	硬性下疳	性的接触 (性交・異性間)	県内
第32週 (8月)	長崎市	20歳代 男性	梅毒性バラ疹・扁平コンジローマ	不明	国内
第35週 (8月)	長崎市	30歳代 男性	初期硬結・硬性下疳	性的接触 (性交・異性間)	国内
第38週 (9月)	長崎市	60歳代 男性	なし	性的接触 (性交・異性間)	県内
第39週 (9月)	長崎市	20歳代 男性	梅毒性バラ疹・丘疹性梅毒疹	性的接触 (性交・同性間)	県内
第39週 (9月)	長崎市	30歳代 男性	梅毒性バラ疹	性的接触 (性交・同性間)	大阪府
第40週 (9月)	長崎市	50歳代 男性	硬性下疳・鼠径部リンパ節腫脹・梅毒性バラ疹	性的接触 (性交・異性間)	県内
第44週 (10月)	長崎市	40歳代 男性	梅毒性バラ疹・丘疹性梅毒疹	性的接触 (性交・不明)	県内
第44週 (10月)	県央	40歳代 女性	丘疹性梅毒疹	性的接触 (不明)	県内
第48週 (11月)	長崎市	40歳代 女性	丘疹性梅毒疹	性的接触 (性交・異性間)	ルーマニア
第49週 (12月)	西彼	40歳代 女性	丘疹性梅毒疹	性的接触 (性交・異性間)	県内
第52週 (12月)	県央	50歳代 男性	初期硬結	性的接触 (性交・異性間)	国内

## ⑪ 風しん

風しんウイルスによる急性熱性発疹性疾患であり、飛沫感染により感染する。症状は、小紅斑や紅色丘疹、リンパ節腫脹（全身、特に頸部、後頭部、耳介後部）、発熱を三主徴とする。

また、風しんに感受性のある妊娠 20 週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染すると、出生児に先天性心疾患、難聴、白内障などの先天性風しん症候群（CRS）と総称される障害を引き起こすことがある。

平成 26 年 5 月 12 日に発生届の様式が変更され、可能な限り 24 時間以内に保健所へ報告を求め  
る旨の記載が追加された。

平成 26 年は 9 月に「検査診断例」の届出が 1 件あった。患者は 10 歳代の男性で、2 度の風しん  
含有ワクチンの接種歴があった。感染推定地域は、「県内」であったが、発症の数週間前に他県  
を訪れていたことも確認された。

平成 24 年から 25 年にかけて全国的にみられた風しんの流行は、平成 25 年第 19～22 週（5/6～6/2）  
にピークを迎えた後、終息に向かった。本県の報告数も平成 25 年の 21 件から大きく減少した。

平成 26 年 4 月 1 日付で「風しんに関する特定感染症予防指針」が策定され、平成 32 年度まで  
の風しん排除が目標に掲げられていることから、今後の風しん発生の動向について注視してい  
かなければならない。

風しん 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 37 週 (9 月)	県央	10 歳代 男性	発疹・リンパ節腫脹	不明	県内







平成26年 感染症週報(全数)推移表

長崎県

週	期 間	ロッキール山紅斑熱	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科最近感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びフトバレー熱を除く）	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	クリプトスポリジウム症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（患者が入院を要すると認められる者に限る）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
1	13.12.30-14.1.5																							
2	14.1.6-14.1.12													1										
3	14.1.13-14.1.19																							
4	14.1.20-14.1.26					1																		
5	14.1.27-14.2.2									1														
6	14.2.3-14.2.9									1														
7	14.2.10-14.2.16																							
8	14.2.17-14.2.23						1	1																
9	14.2.24-14.3.2																							
10	14.3.3-14.3.9					1							1											
11	14.3.10-14.3.16																							
12	14.3.17-14.3.23										1						2							
13	14.3.24-14.3.30																1							
14	14.3.31-14.4.6																							
15	14.4.7-14.4.13		1																					
16	14.4.14-14.4.20																1							
17	14.4.21-14.4.27									1														
18	14.4.28-14.5.4					1							1											
19	14.5.5-14.5.11																2							
20	14.5.12-14.5.18									2														
21	14.5.19-14.5.25																							
22	14.5.26-14.6.1									1														
23	14.6.2-14.6.8						1	2					1				1							
24	14.6.9-14.6.15									1			1											
25	14.6.16-14.6.22		1																					
26	14.6.23-14.6.29		2						1															
27	16.6.30-14.7.6						1																	
28	14.7.7-14.7.13																							
29	14.7.14-14.7.20																							
30	14.7.21-14.7.27																1							
31	14.7.28-14.8.3																							
32	14.8.4-14.8.10																1							
33	14.8.11-14.8.17																							
34	14.8.18-14.8.24						1																	
35	14.8.25-14.8.31																1							
36	14.9.1-14.9.7																							
37	14.9.8-14.9.14							1														1		
38	14.9.15-14.9.21																1							
39	14.9.22-14.9.28		1										1			2								
40	14.9.29-14.10.5		1	1													1							
41	14.10.6-14.10.12							1	1															
42	14.10.13-14.10.19																							
43	14.10.20-14.10.26																							
44	14.10.27-14.11.2												1	1		2								
45	14.11.3-14.11.9																							
46	14.11.10-14.11.16																							
47	14.11.17-14.11.23												2											
48	14.11.24-11.11.30																1							
49	14.12.1-14.12.7																1							
50	14.12.8-14.12.14																							
51	14.12.15-14.12.21				1								1	1										
52	14.12.22-14.12.28				1		1						2	1		1								
合 計		0	6	1	2	3	0	5	4	10	1	0	0	11	4	0	19	0	0	0	0	1	0	0

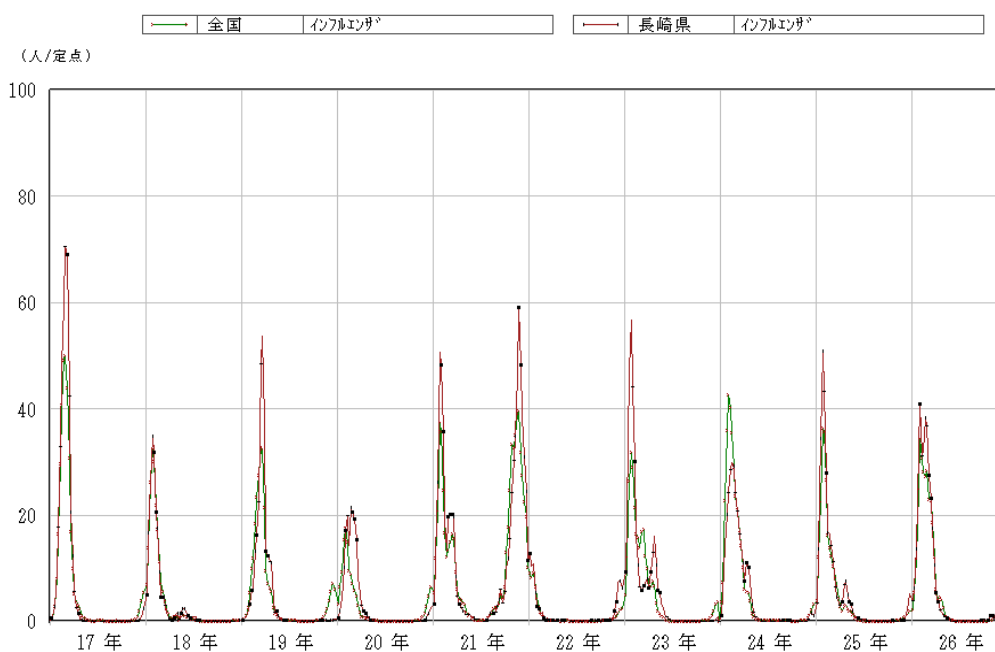
## 2 定点把握の対象感染症

### (1)インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)

平成 26 年の年間患者報告数は 27,783 人で、前年(20,604 人)より増加した。流行の推移は全国と同様であった。第 2 週より増加し、第 4 週に定点当たり患者報告数が流行警報レベル「30」を超える 32.47 となり、第 13 週まで終息基準値「10」以上にとどまり警報が維持された。第 19 週以降は 1.00 以下で推移した。

例年、1 月より本格的な流行がみられる傾向にあるが、本年度は 12 月より急増し、第 51 週に注意報レベル「10」を超えて 15.90 となり、第 52 週には警報レベル「30」を超えて 34.14 と流行が早まった。

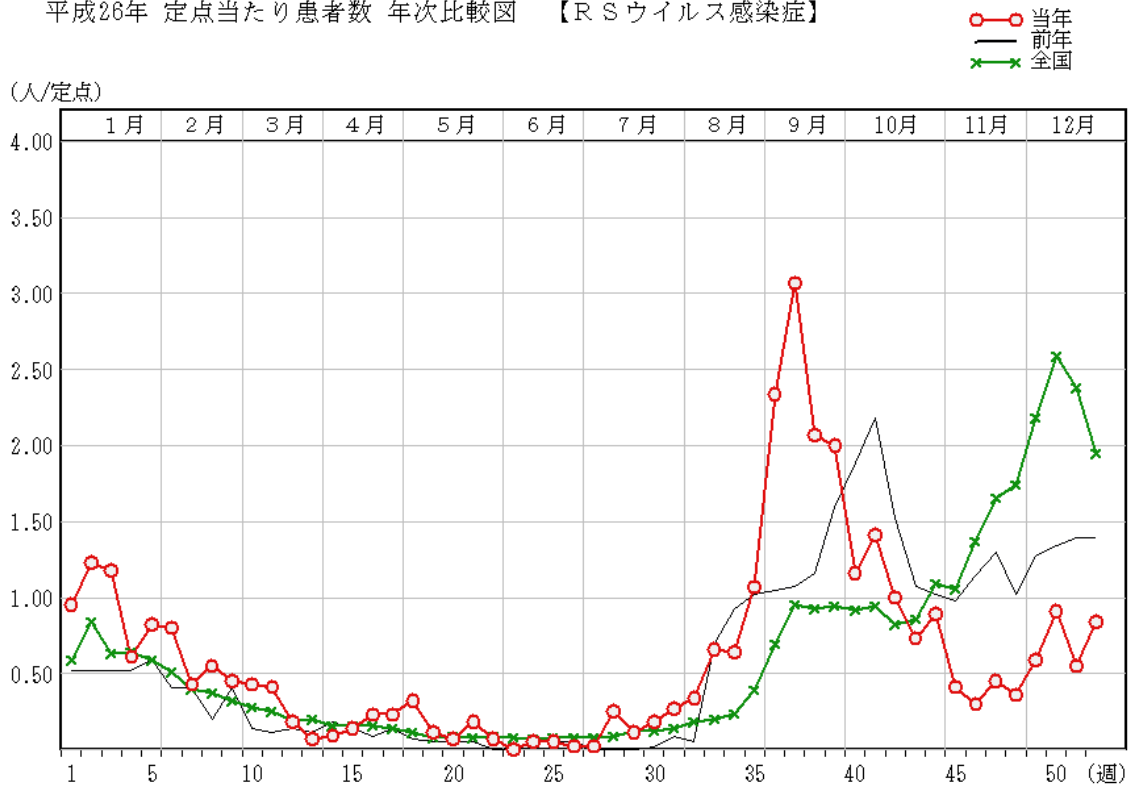
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【インフルエンザ】



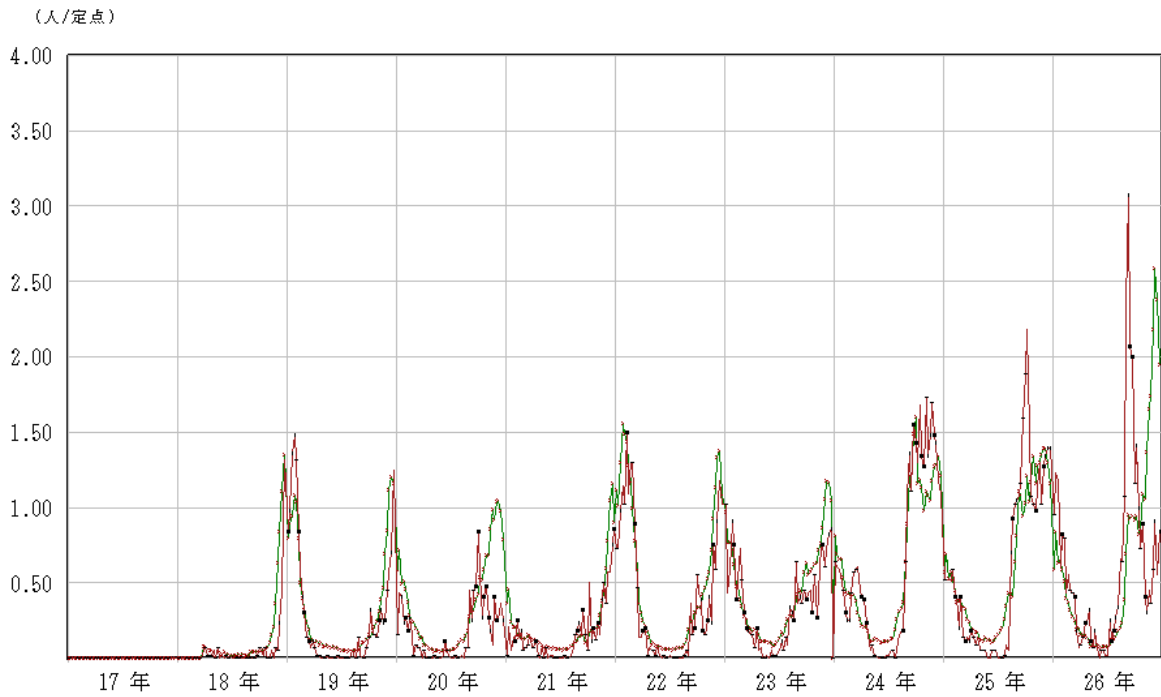
## (2)RS ウイルス感染症

平成 26 年の年間患者報告数は 1,420 人で、前年(1,350 人)より増加した。8 月から 9 月にかけて前年より高く推移し、第 37 週に定点当たり患者報告数が 3.07 とピークを示した。

平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【RS ウイルス感染症】



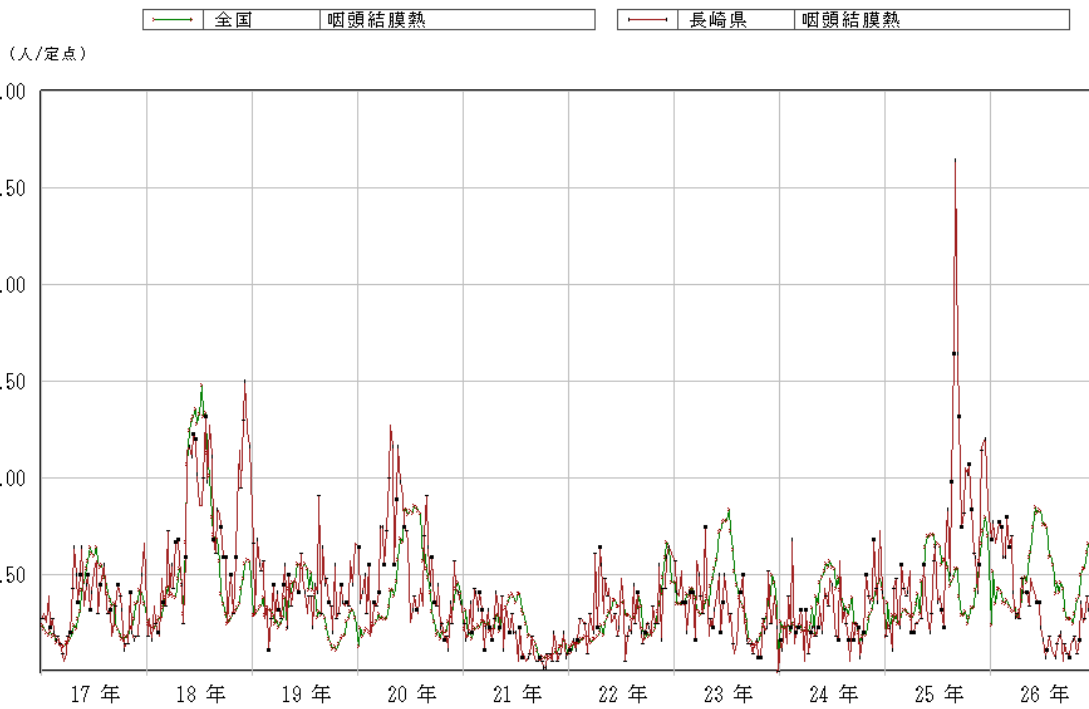
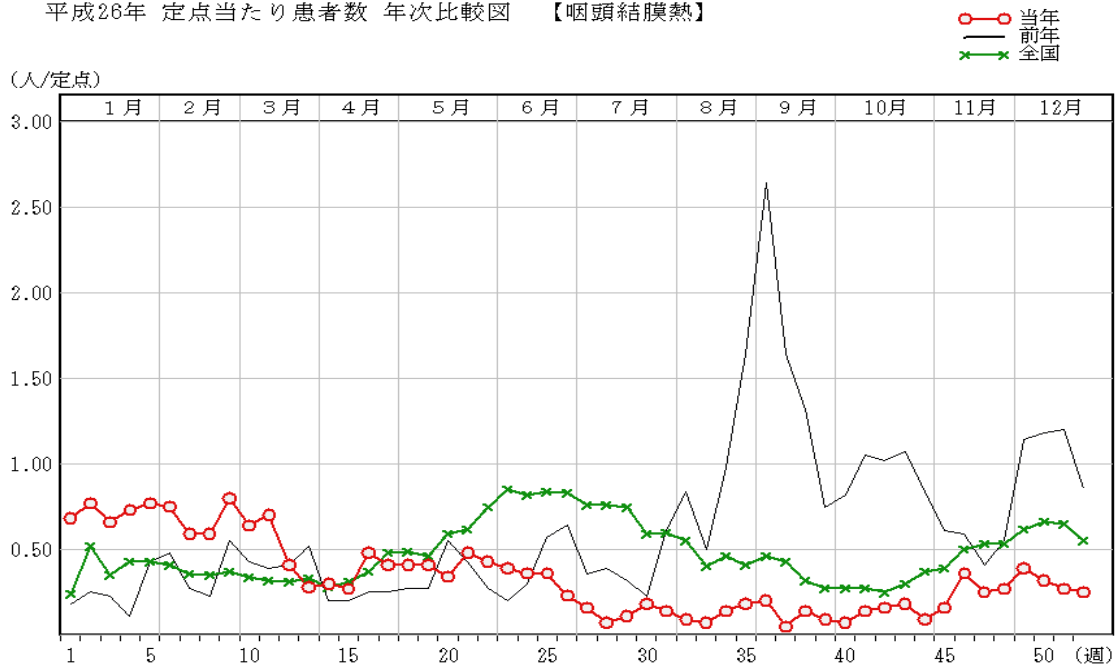
— 全国 — RS ウイルス感染症 — 長崎県 — RS ウイルス感染症



### (3)咽頭結膜熱

平成26年の年間患者報告数は781人で、前年(1,427人)より減少した。例年、夏季に流行が見られるが、本年度は目立った流行はなかった。

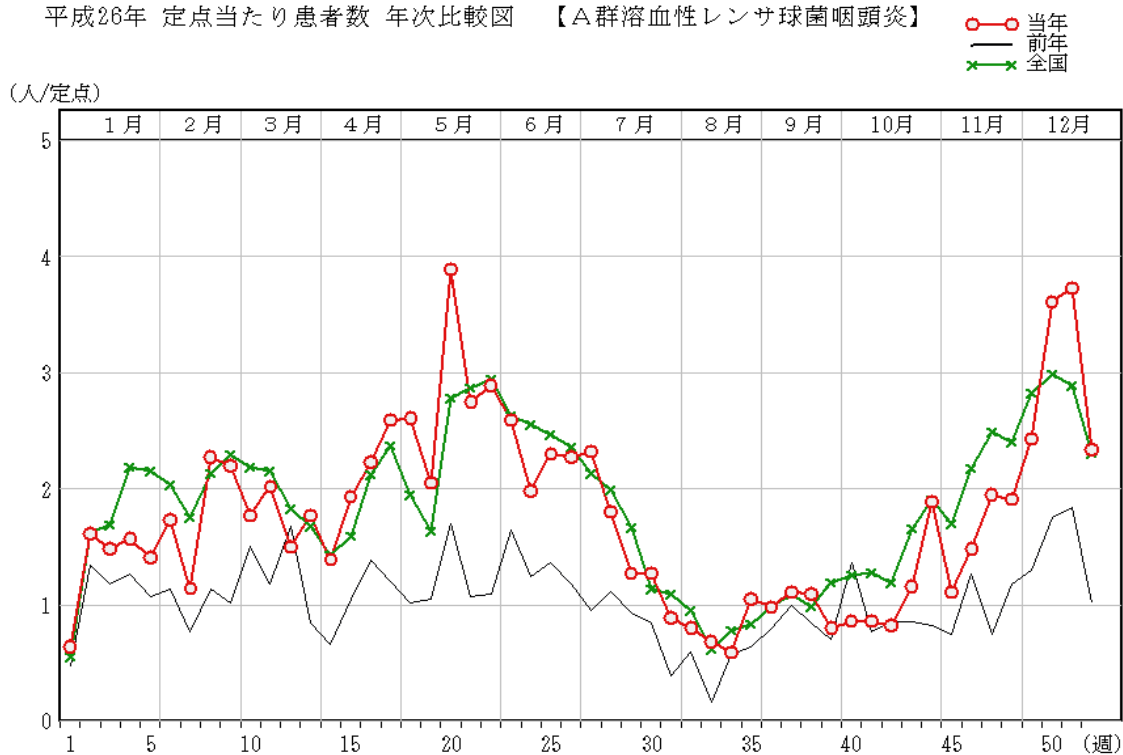
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【咽頭結膜熱】



#### (4)A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

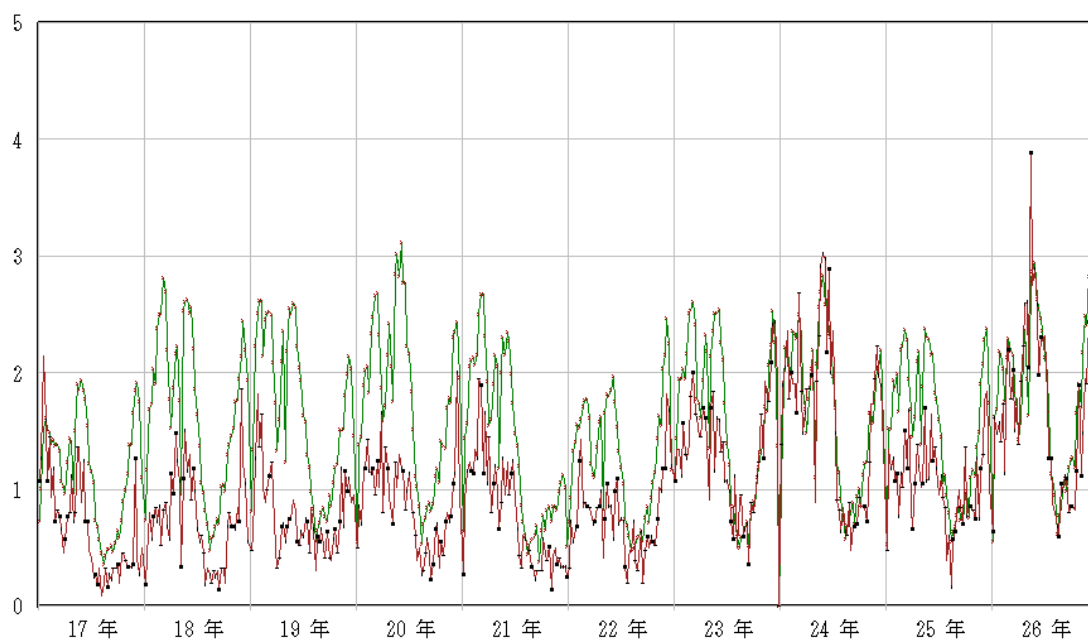
平成26年の年間患者報告数は4,019人で、前年(2,396人)より増加した。第15週より患者報告数の増加がみられ、第20週に定点当たり患者報告数が3.89とピークを示した。流行の推移は全国と同様であった。

平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】



— 全国 — A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 — 長崎県 — A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

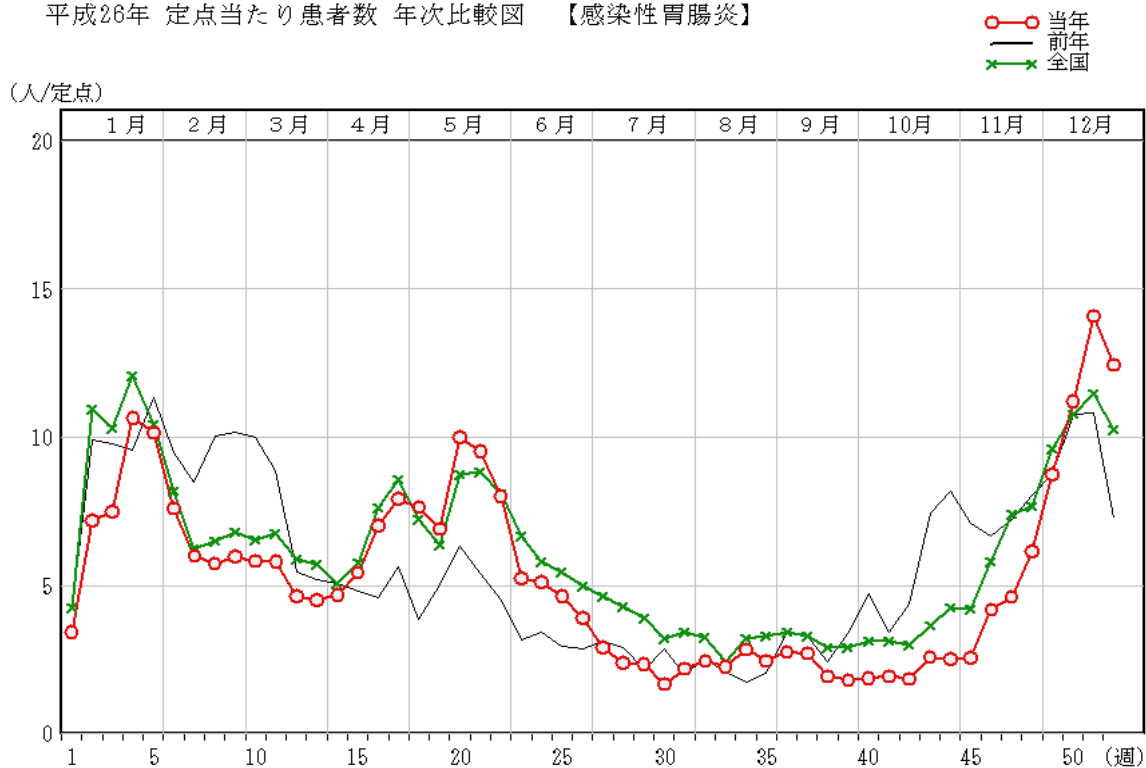
(人/定点)



(5) 感染性胃腸炎

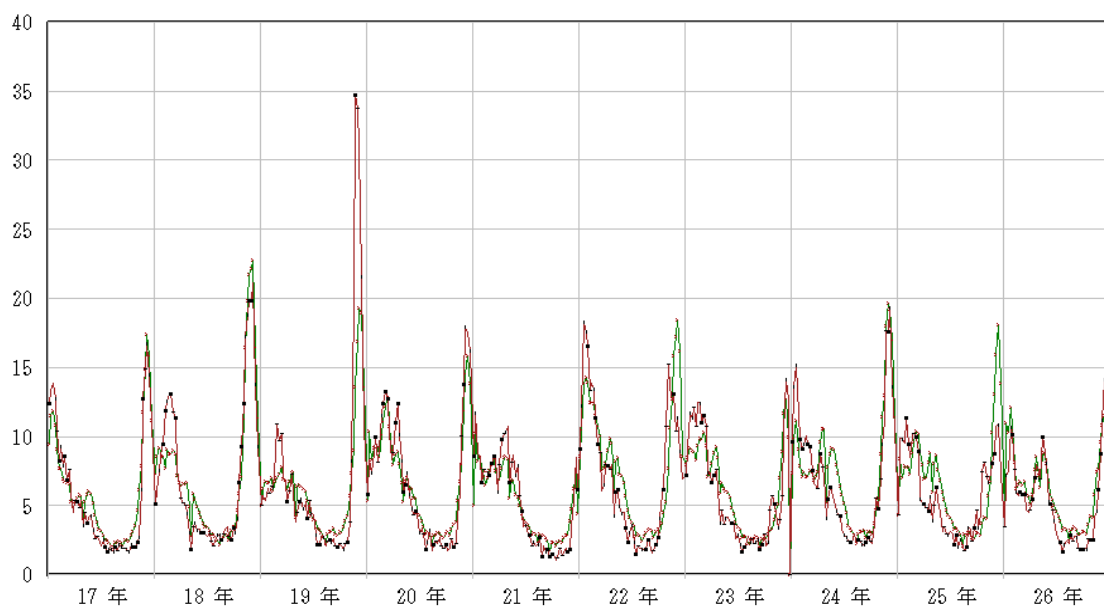
平成26年の年間患者報告数は12,163人で、前年(13,155人)より減少した。例年同様、冬季に流行のピークを認め、第51週では定点当たり患者報告数が14.09であった。流行の推移は全国と同様であった。

平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【感染性胃腸炎】



— 全国 感染性胃腸炎      — 長崎県 感染性胃腸炎

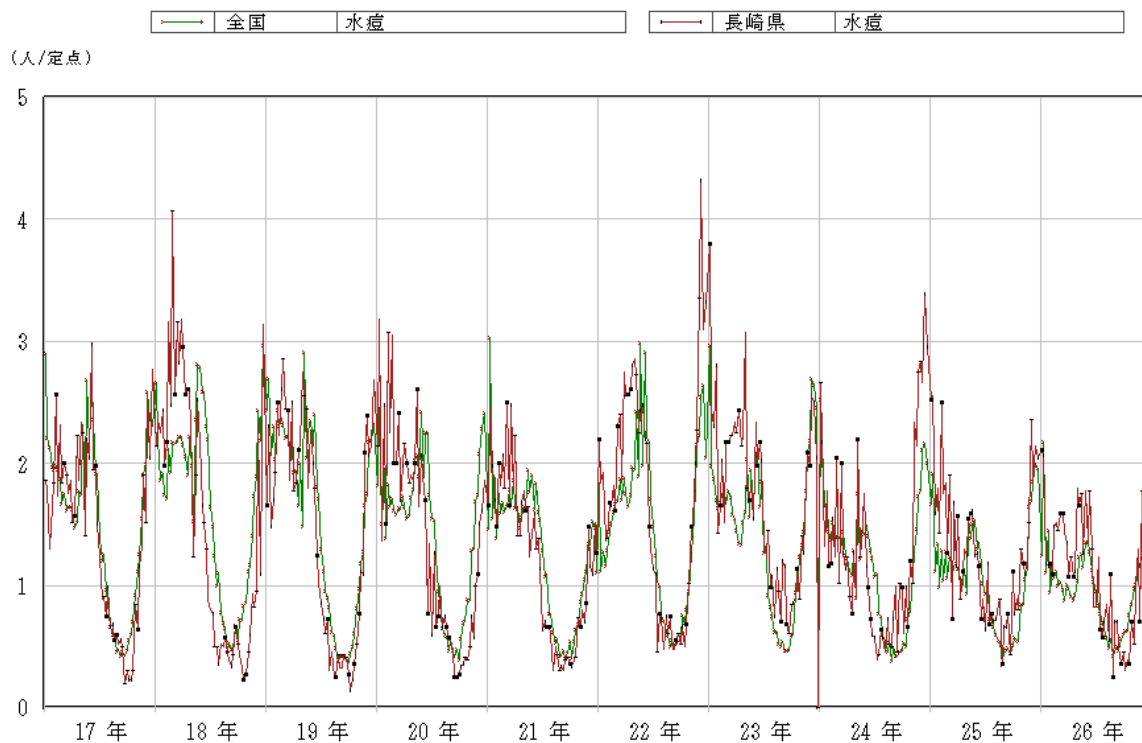
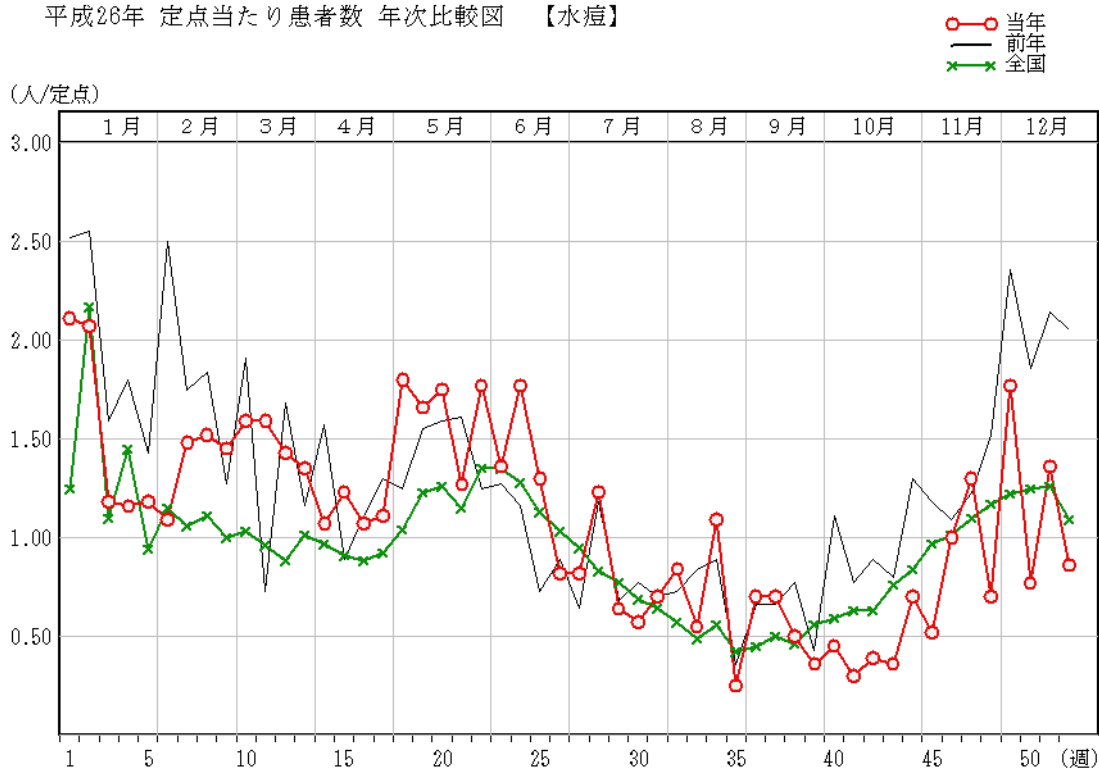
(人/定点)



(6)水痘

平成26年の年間患者報告数は2,493人で、前年(2,926人)より減少した。第1週に定点当たり患者報告数が2.11とピークを示した。流行は一昨年ほどの立ち上がりはなかったが、全国を上回って推移した。

平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【水痘】

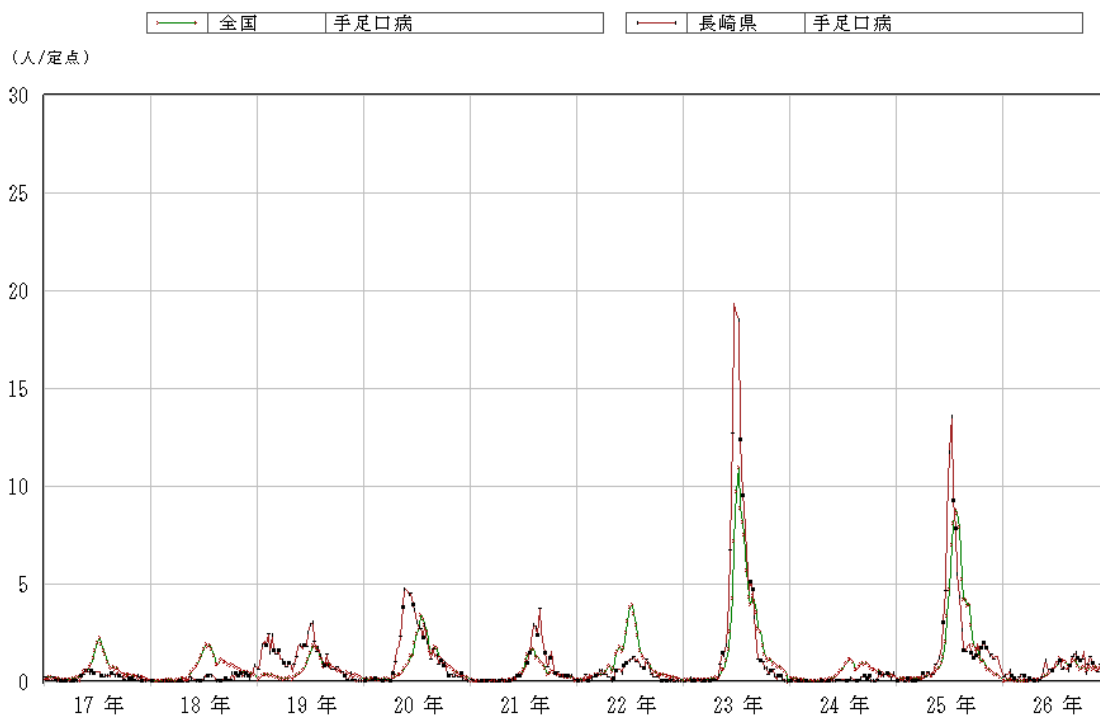
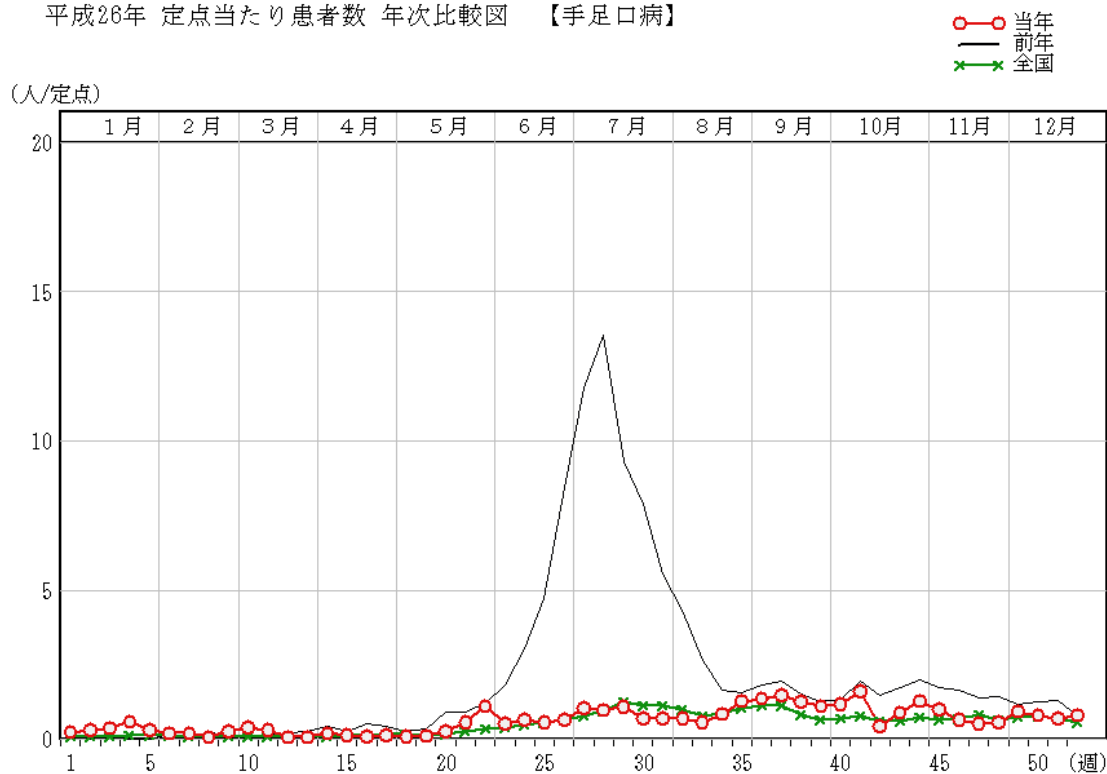




## (7)手足口病

平成26年の年間患者報告数は1,442人で、前年(4,784人)より大幅に減少した。前年の主要な原因ウイルスはコクサッキーウイルスA6(CV-A6)によるものであった。流行の推移は全国と同様であった。

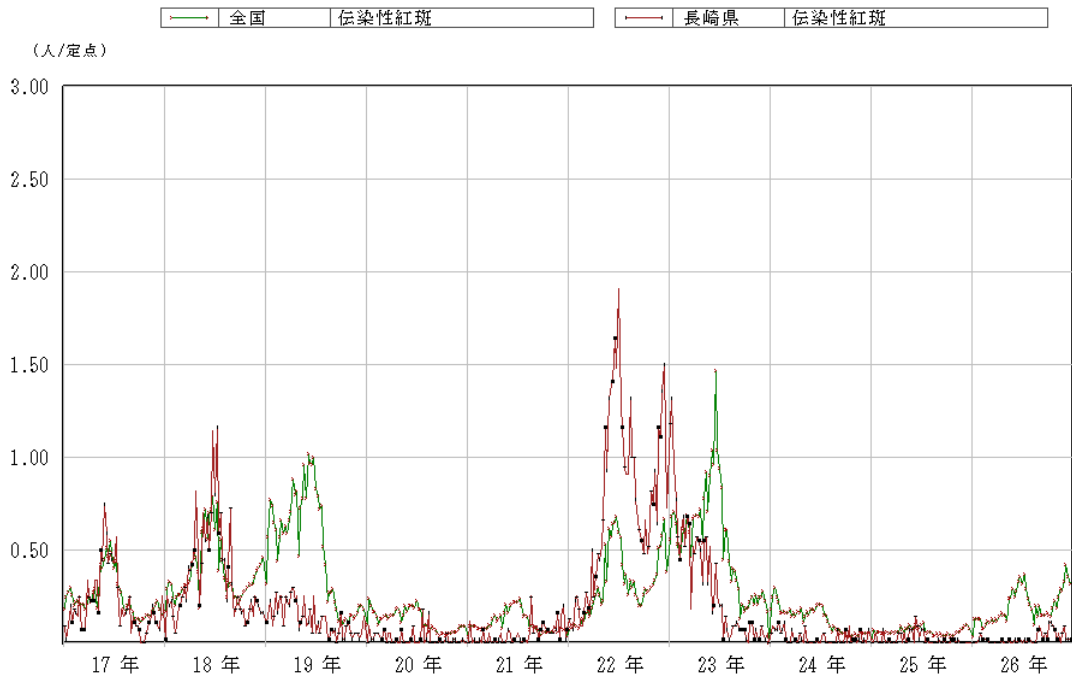
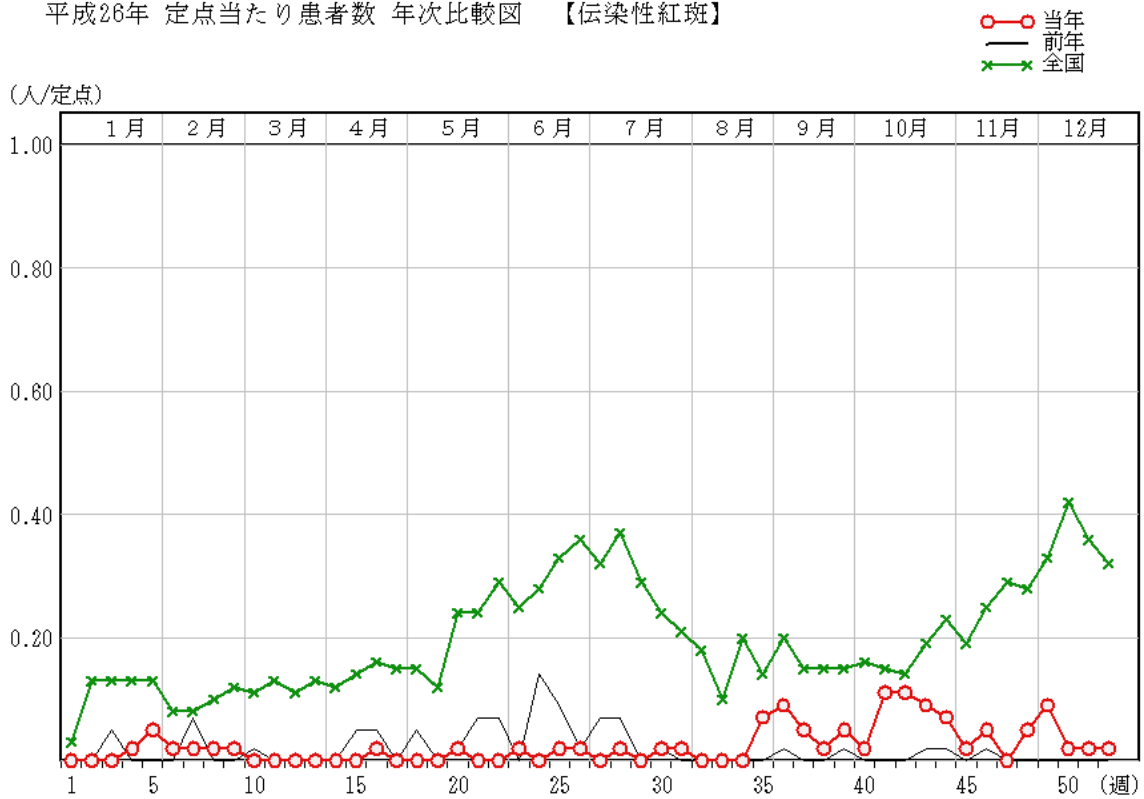
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【手足口病】



(8)伝染性紅斑

平成 26 年の患者報告数は 57 人で、前年(42 人)より増加した。全国より下回り、目立った流行はなかった。

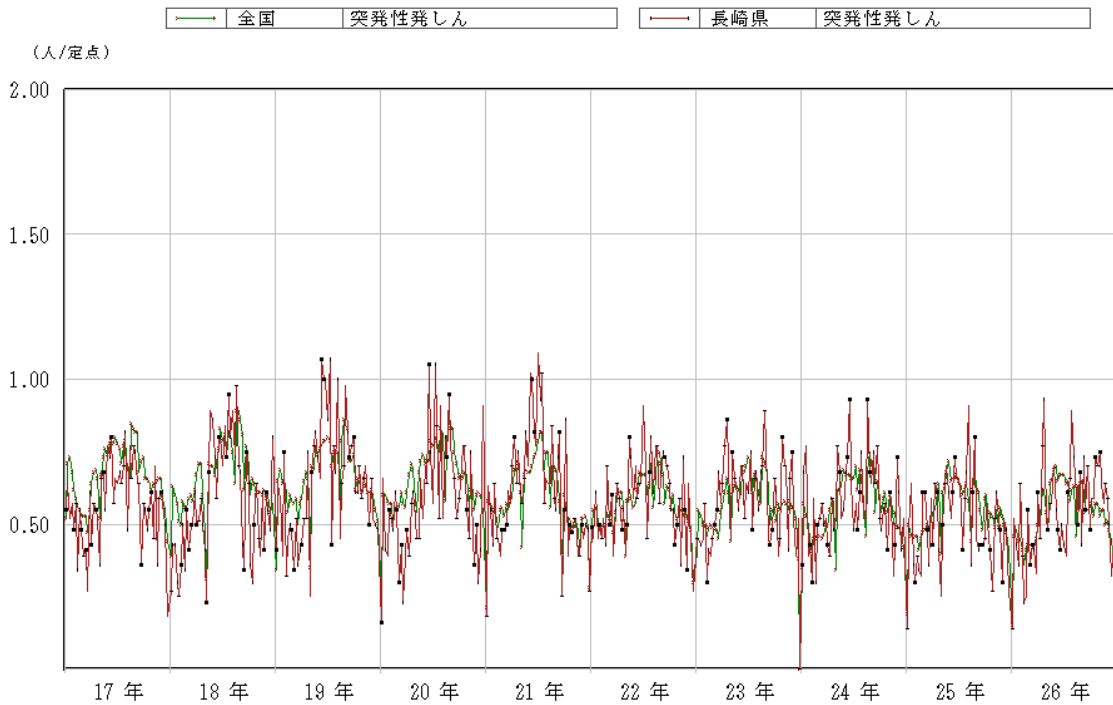
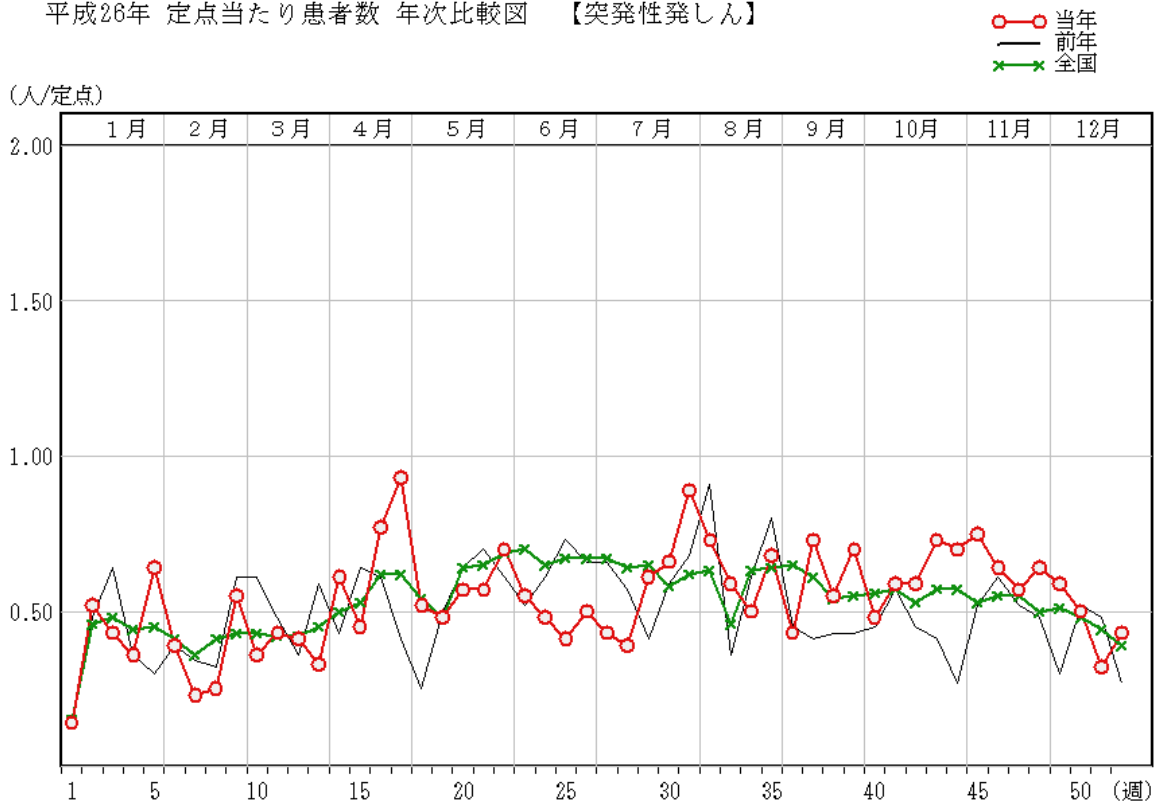
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【伝染性紅斑】



(9)突発性発しん

平成26年の年間患者報告数は1,231人で、前年(1,149人)より増加した。前年同様に推移し、定点当たり患者報告数が1.00を超える週はなかった。

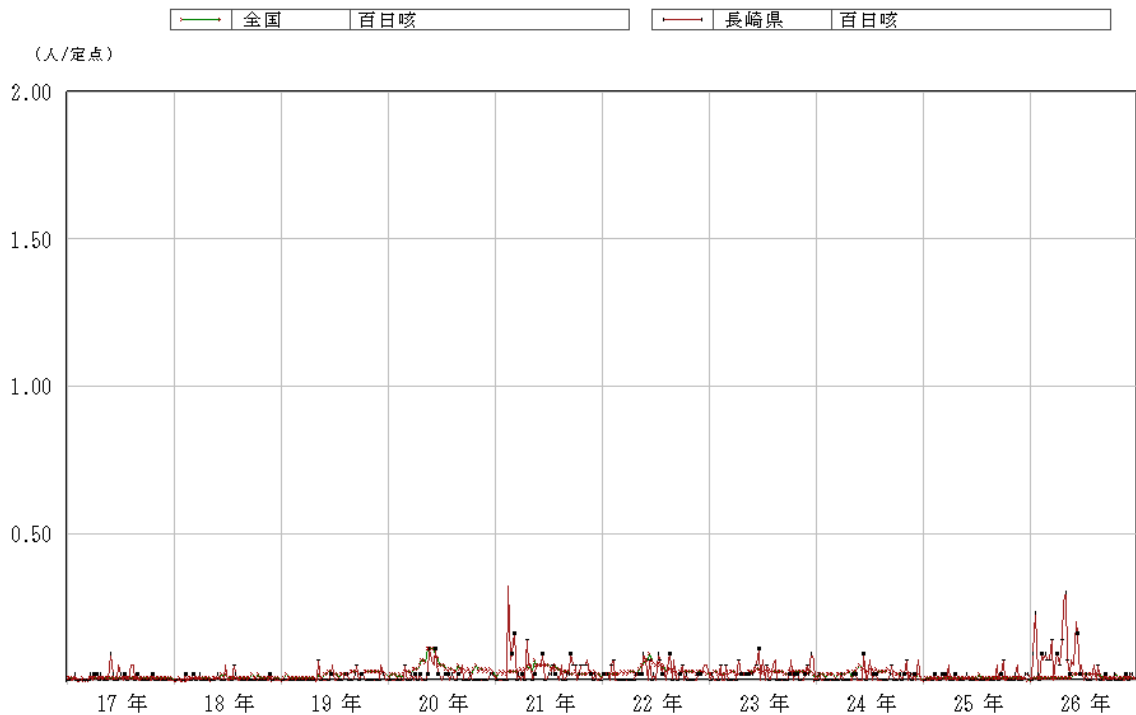
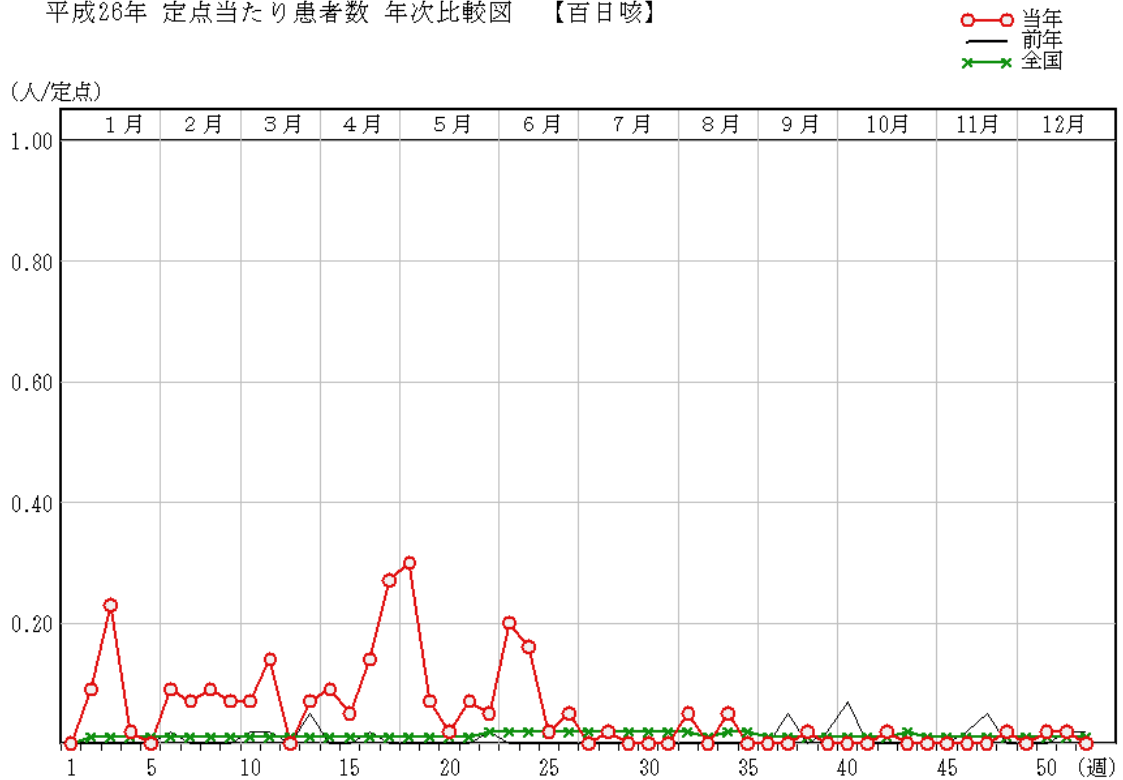
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【突発性発しん】



(10)百日咳

平成 26 年の年間患者報告数は 116 人で、前年(18 人)より増加したが、定点当たり患者報告数が 1.00 を超える週はなかった。春先より報告があり、その後は例年と同様に推移した。

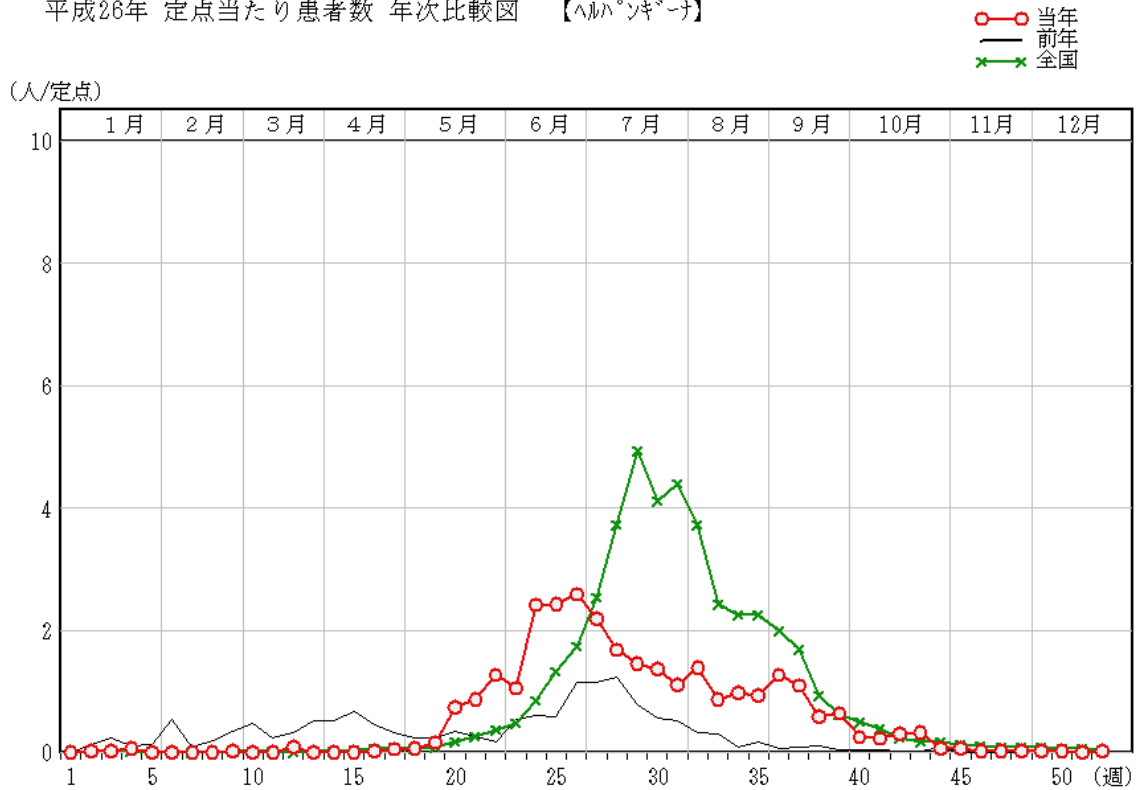
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【百日咳】



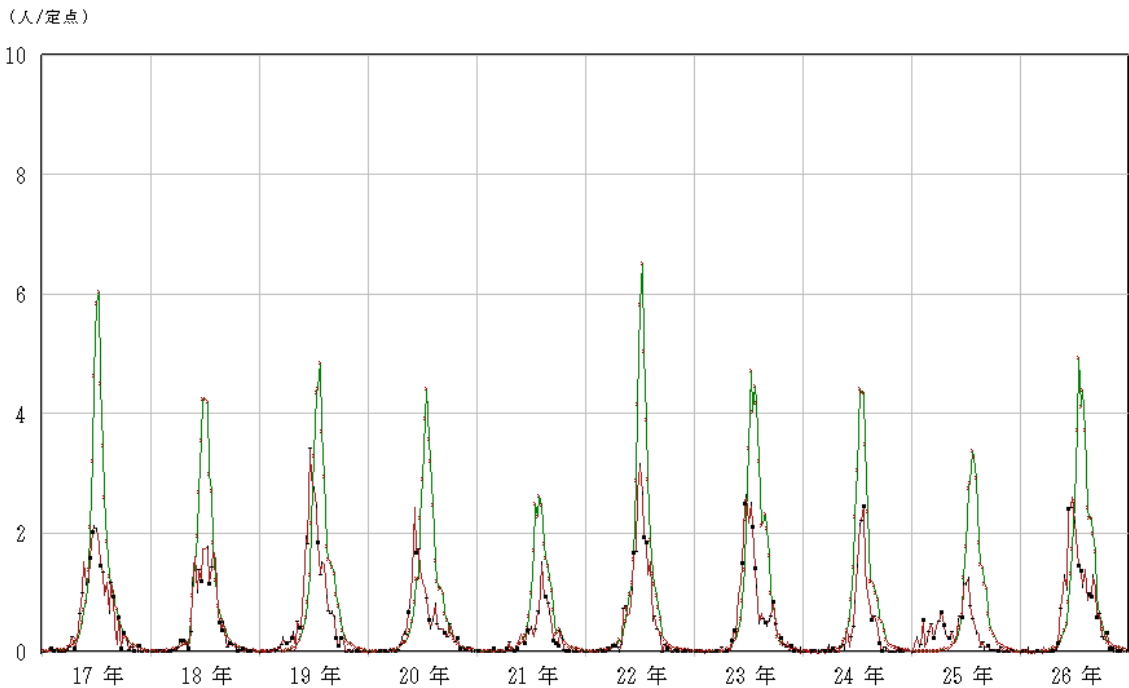
(11)ヘルパンギーナ

平成26年の年間患者報告数は1,266人で、前年(668人)より増加した。流行は第22週から定点当たり患者報告数が1.00を上回り、第26週に2.59のピークを示した。その後なだらかに減少し、全国と同様に推移した。

平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【ヘルパンギーナ】



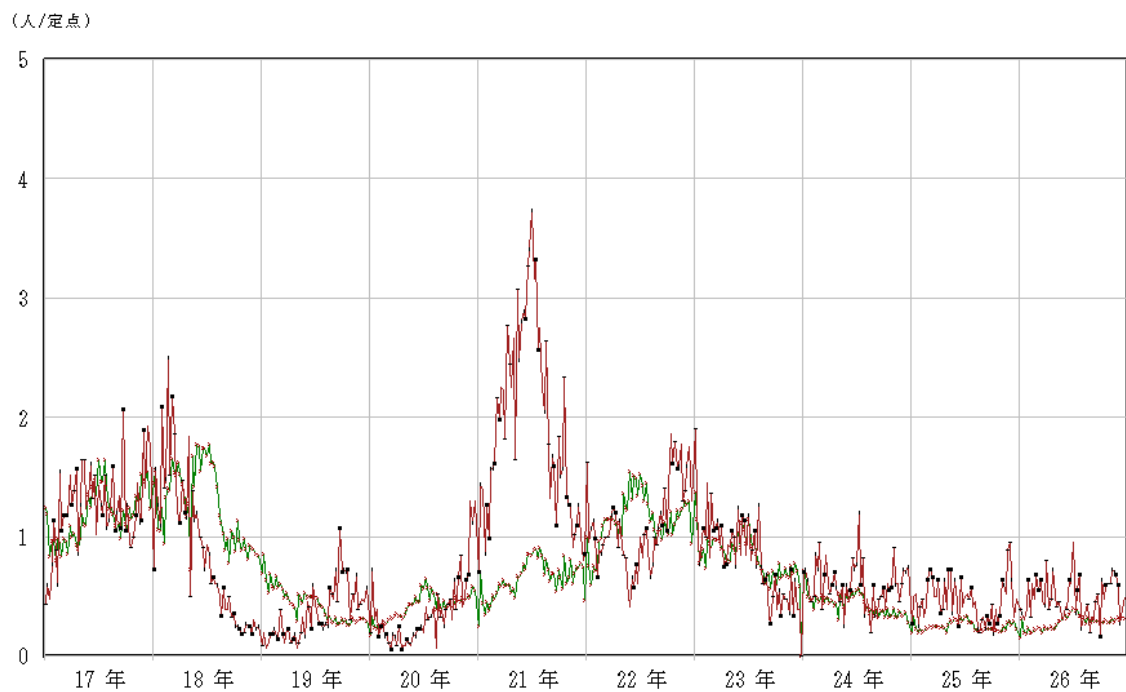
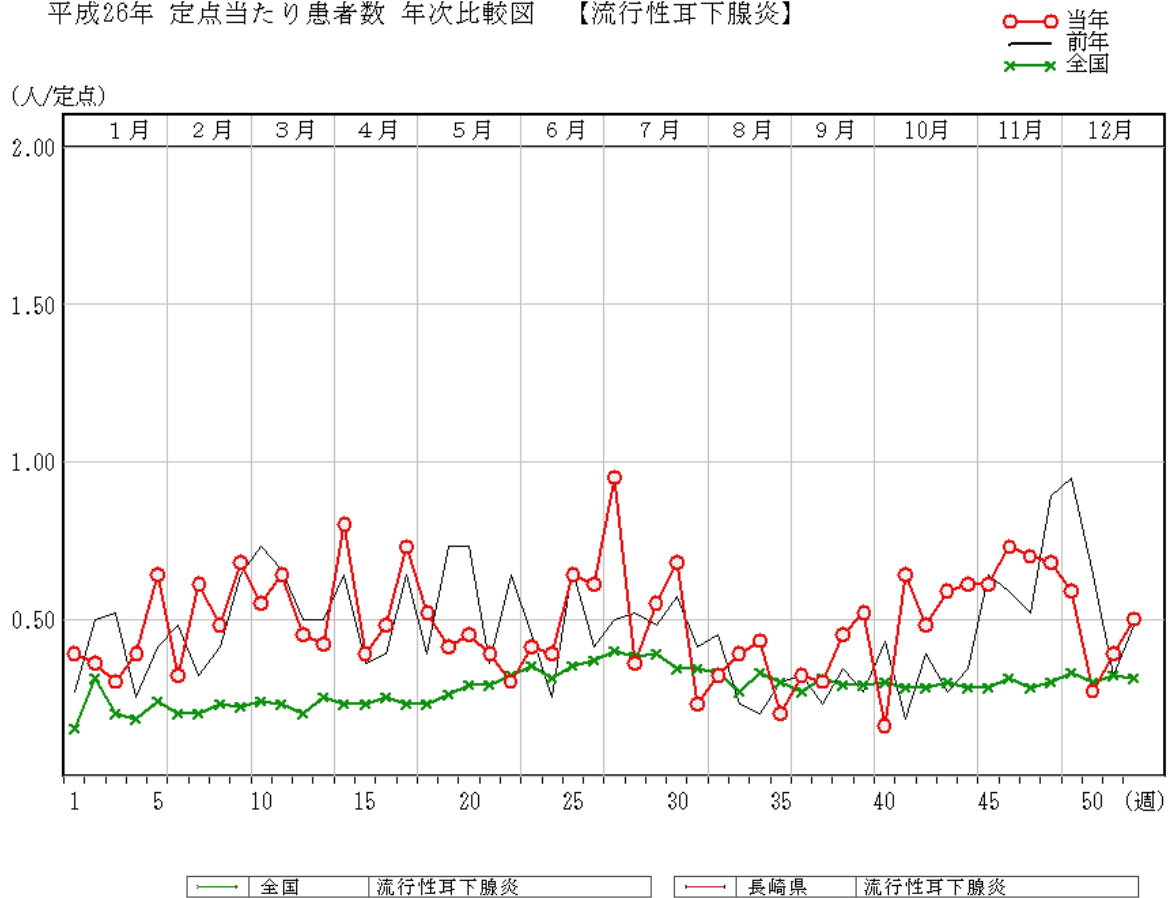
— 全国    ヘルパンギーナ    — 長崎県    ヘルパンギーナ



(12)流行性耳下腺炎

平成26年の年間患者報告数は1,116人で、前年(1,068人)より増加した。本年度は目立った流行はなかった。

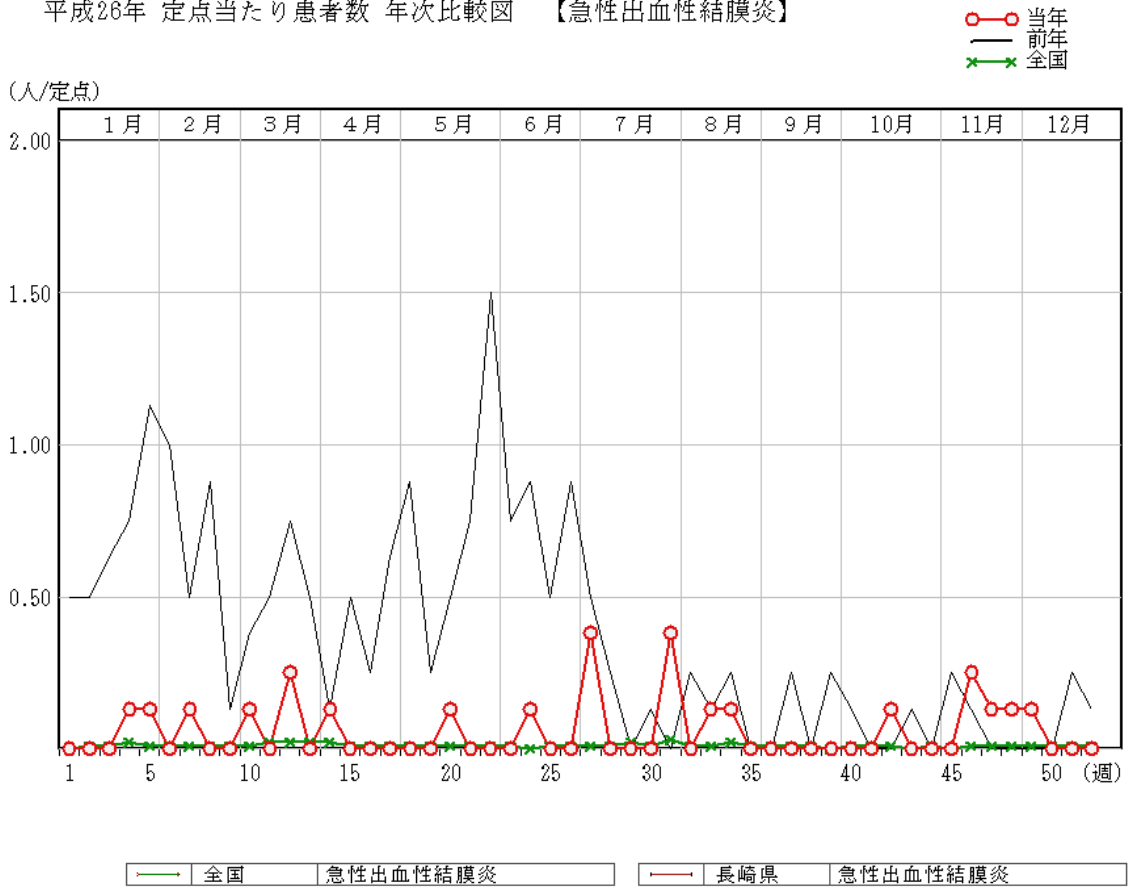
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【流行性耳下腺炎】



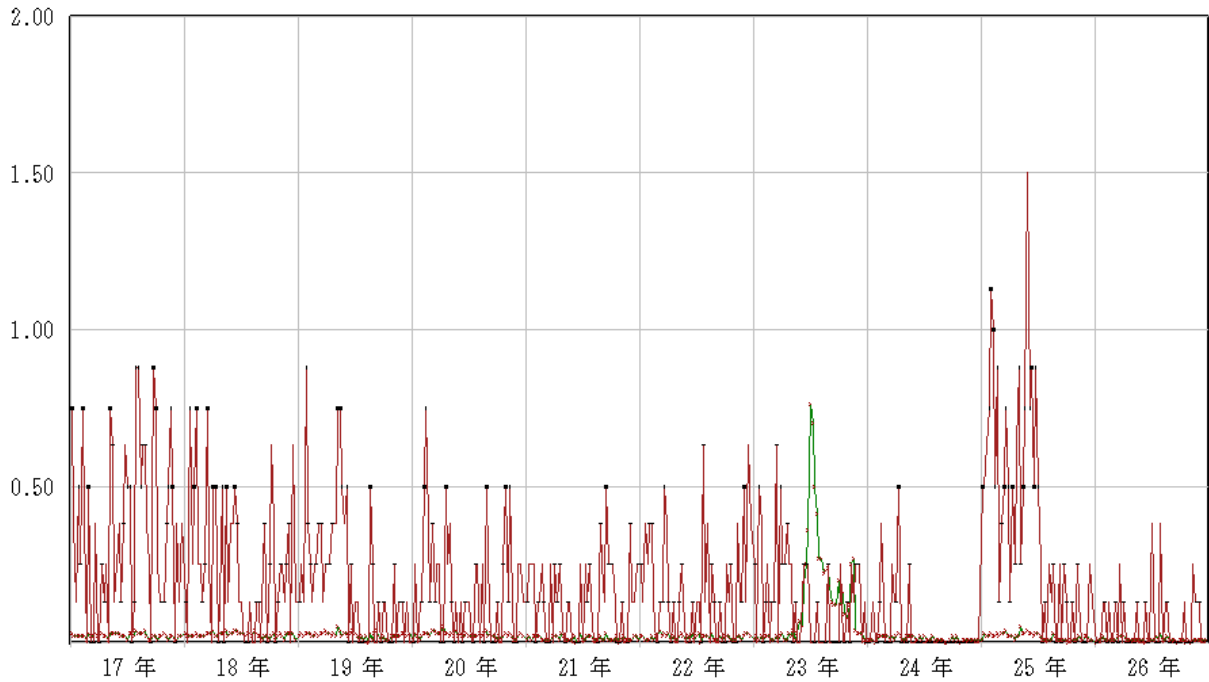
(13)急性出血性結膜炎

平成 26 年の年間患者報告数は 23 人で、前年(156 人)より減少した。本県の報告数は例年、全国よりも高値である。年間を通じて増減を繰り返した。

平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【急性出血性結膜炎】



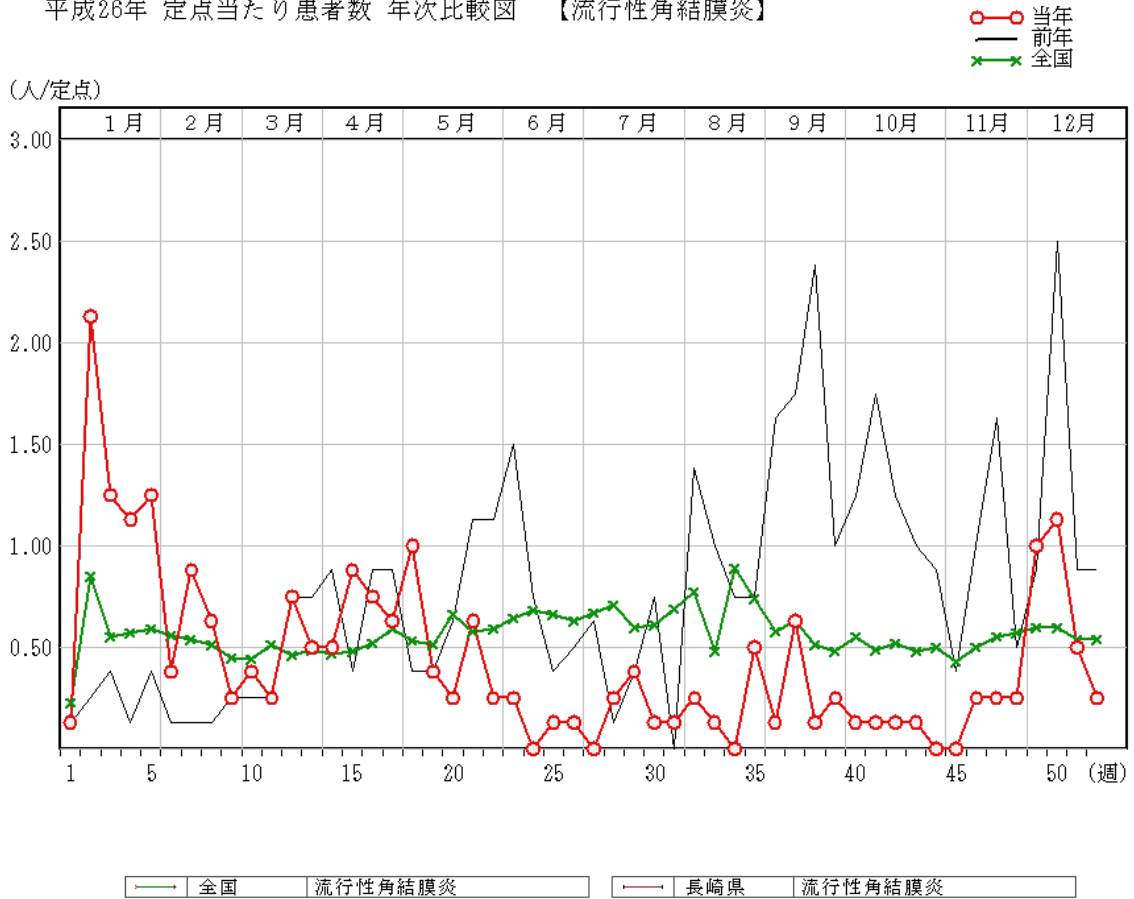
(人/定点)



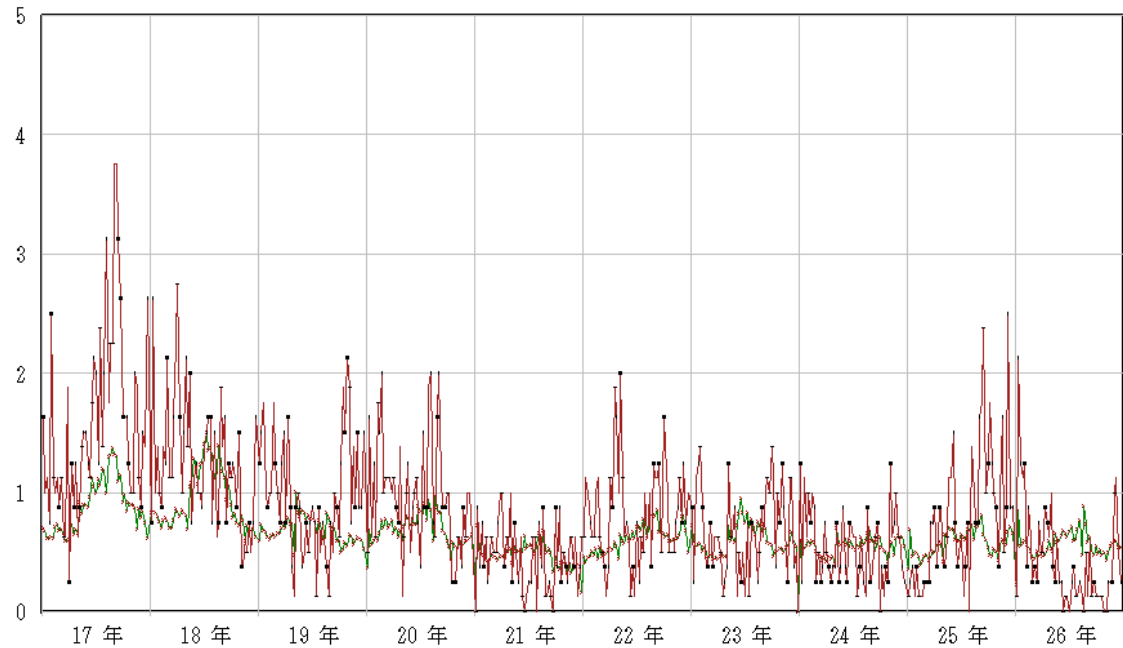
(14)流行性角結膜炎

平成26年の年間患者報告数は181人で、前年(327人)より減少した。本県における患者報告数の推移は9月から10月の間が前年に比べ少なかった。全国では定点当たり患者報告数が1.00を超える週はなかったが、本県では、第2週に2.13を示し、1.00を超える週が7週あった。年間を通じて増減を繰り返す傾向にある。

平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【流行性角結膜炎】



(人/定点)

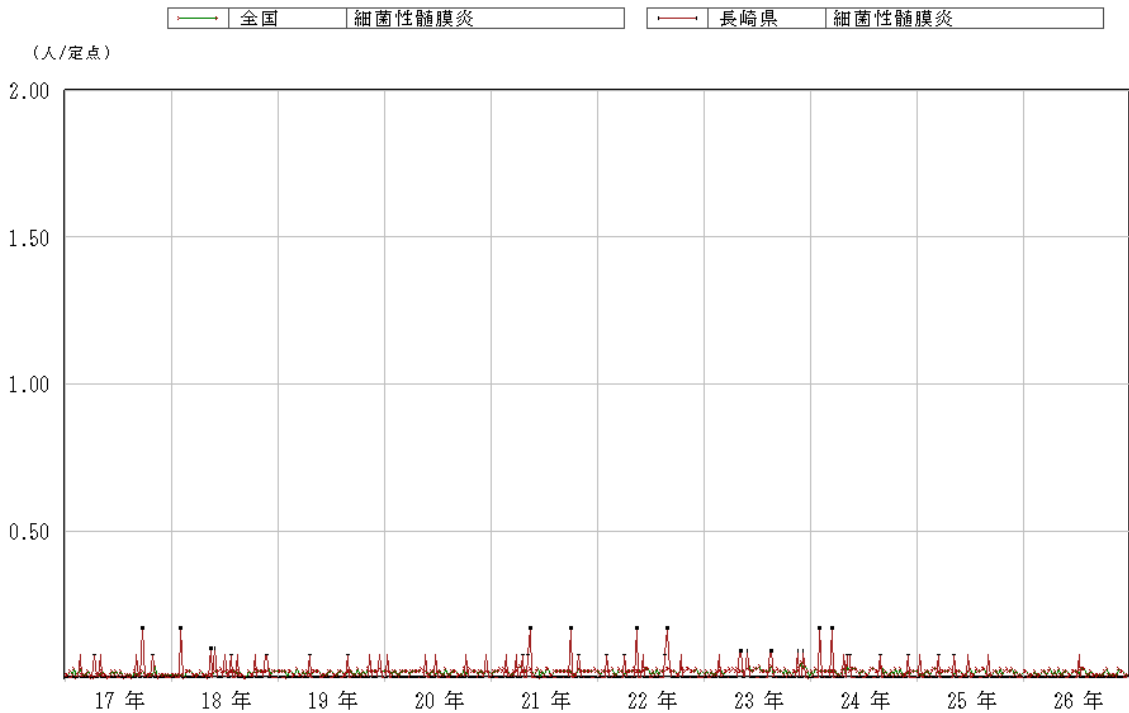
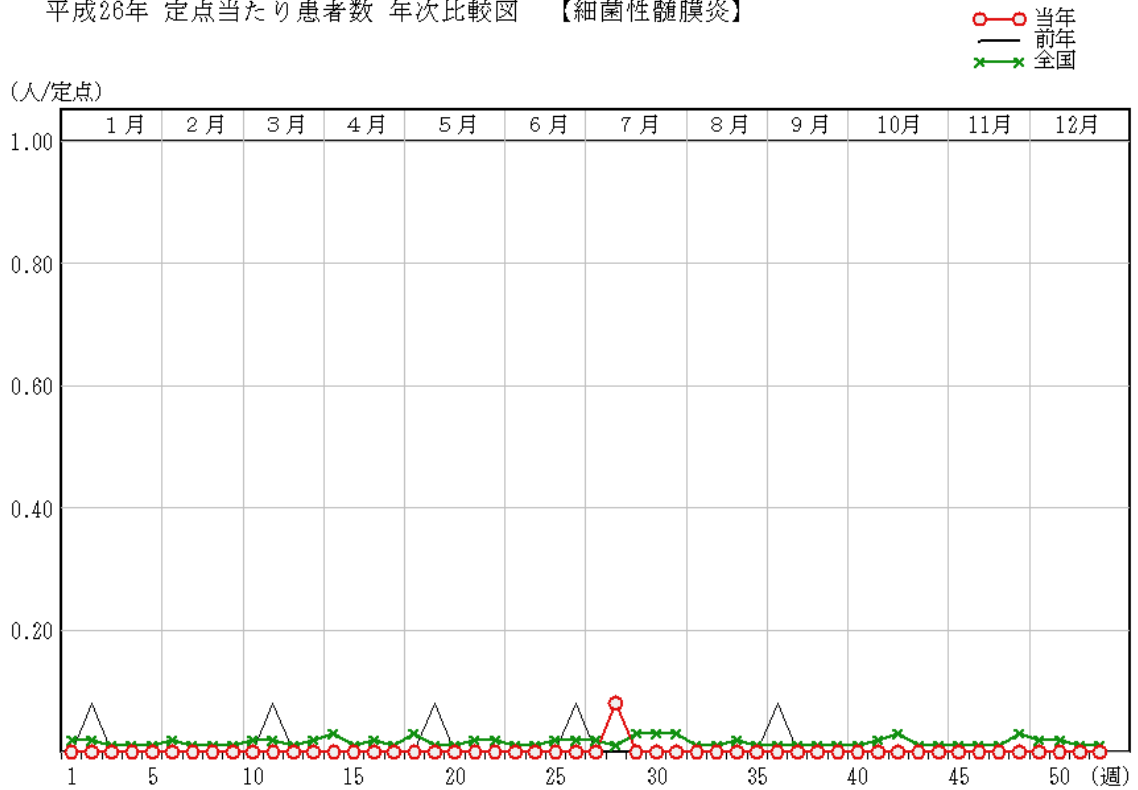




(15)細菌性髄膜炎

平成26年の年間患者報告数は1人で、前年(4人)より減少した。第28週で1件報告があった。検出された細菌は *Streptococcus pneumoniae* であった。

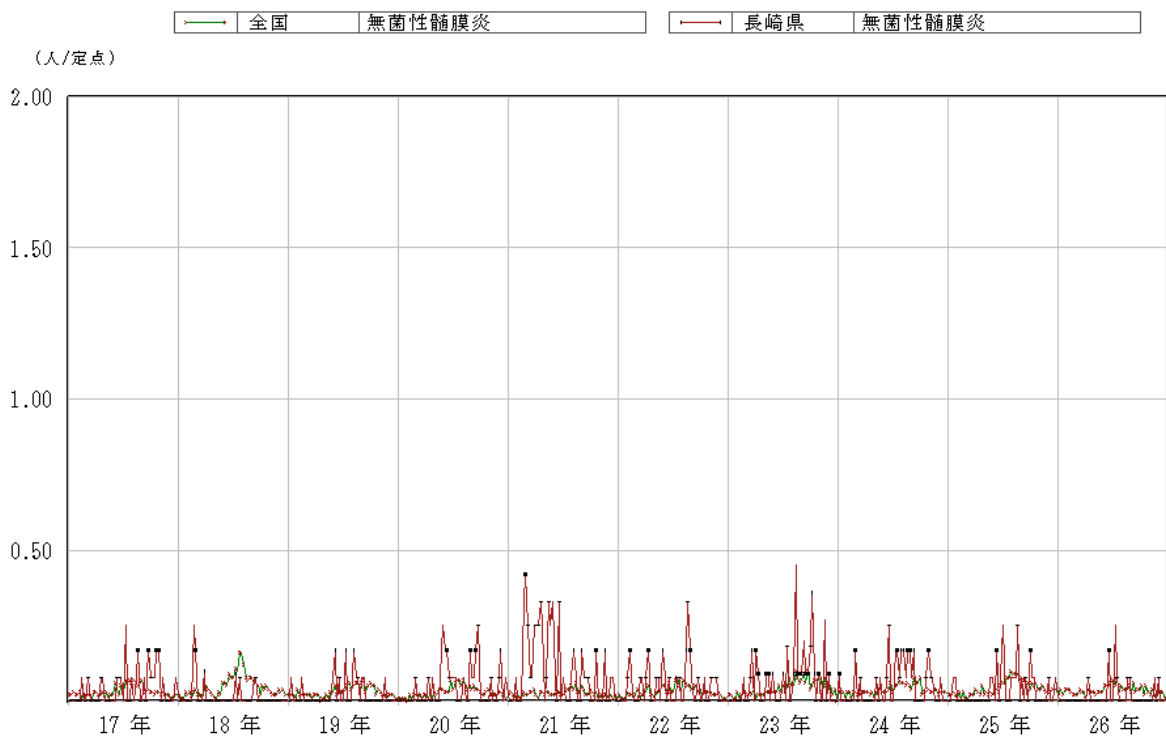
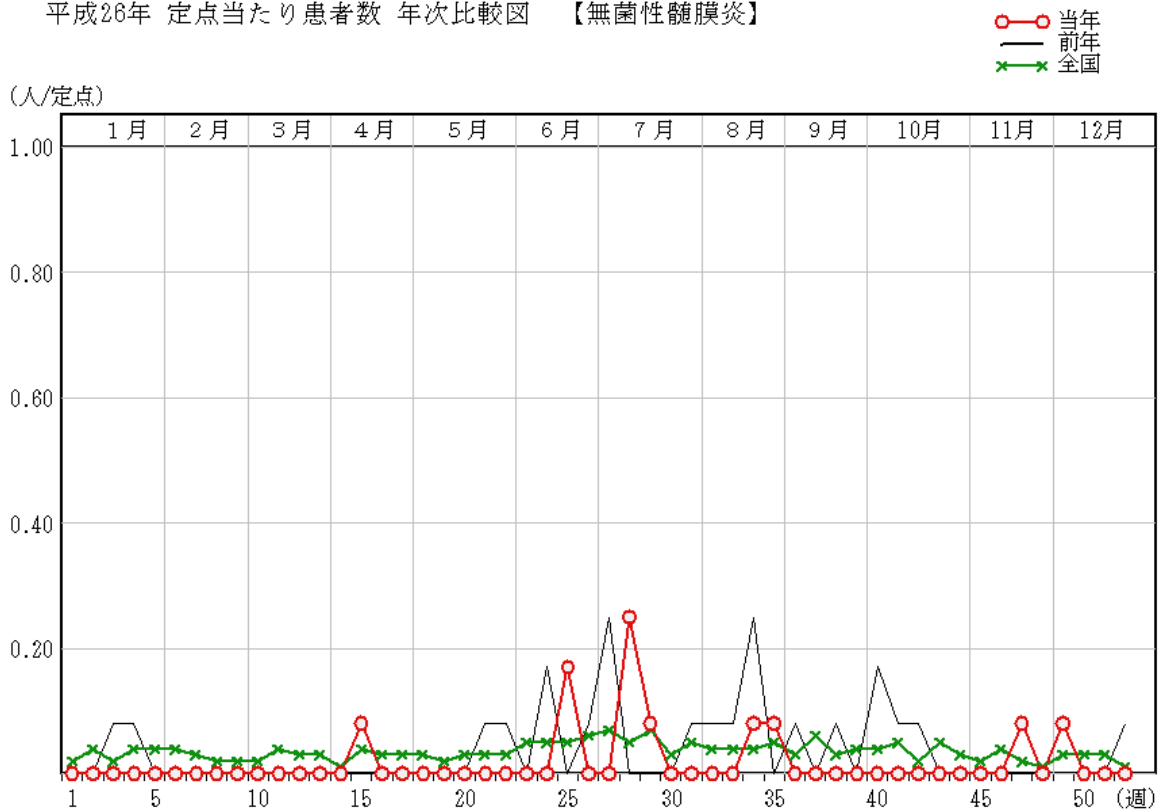
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【細菌性髄膜炎】



(16)無菌性髄膜炎

平成 26 年の年間患者報告数は 11 人で、前年(24 人)より減少した。本疾患についてはほとんど、検体から細菌が見出されず、原因の究明には至っていない。

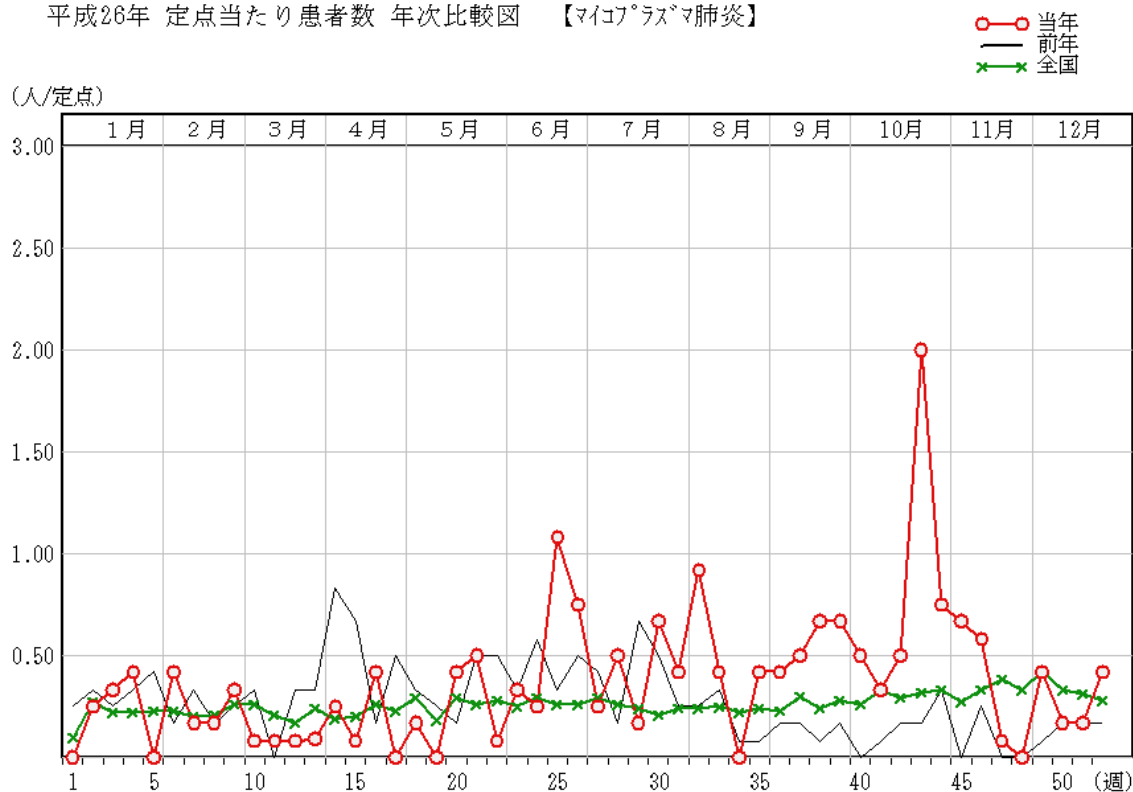
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【無菌性髄膜炎】



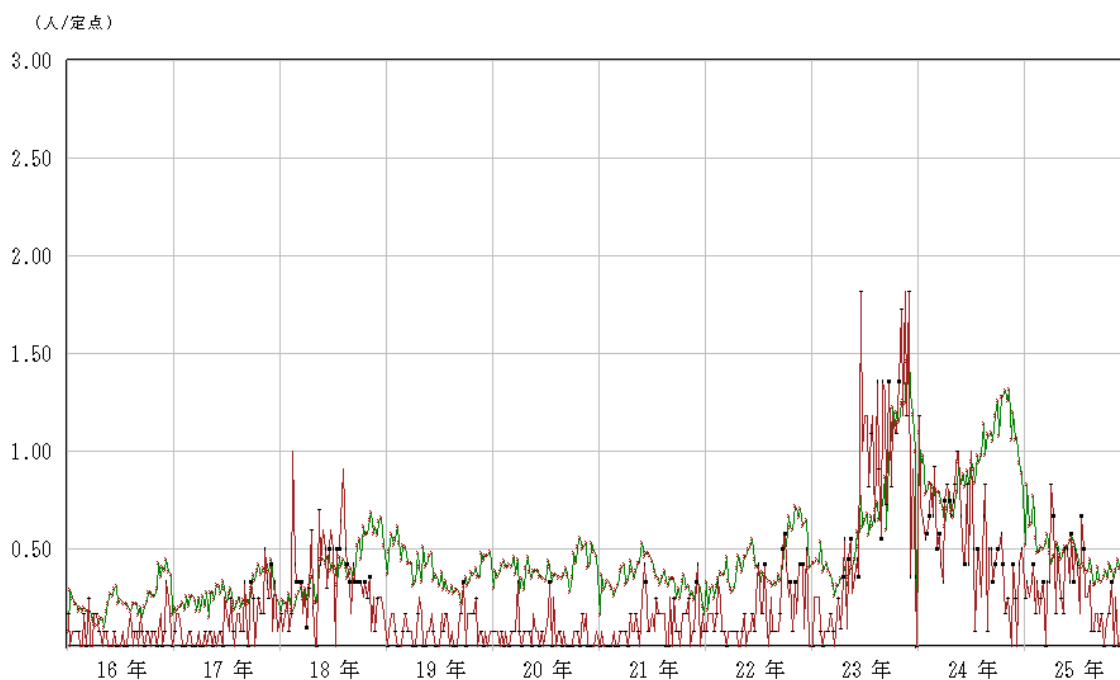
### (17)マイコプラズマ肺炎

平成 26 年の年間患者報告数は 232 人で、前年(170 人)より増加した。全国的に流行はみられず定点当たり患者報告数が 1.00 を超えた週はなかったが、本県では増減を繰り返しながら第 43 週に 2.00、第 25 週に 1.08 と高いピークを示した。

平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【マイコプラズマ肺炎】



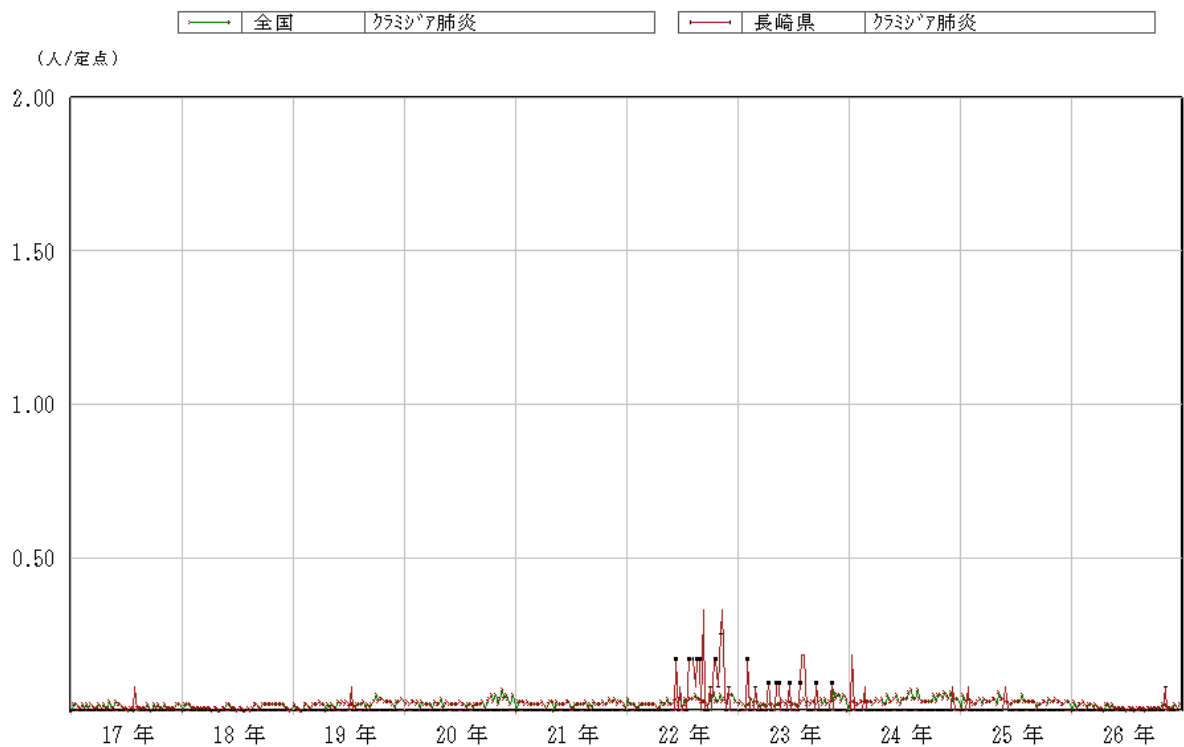
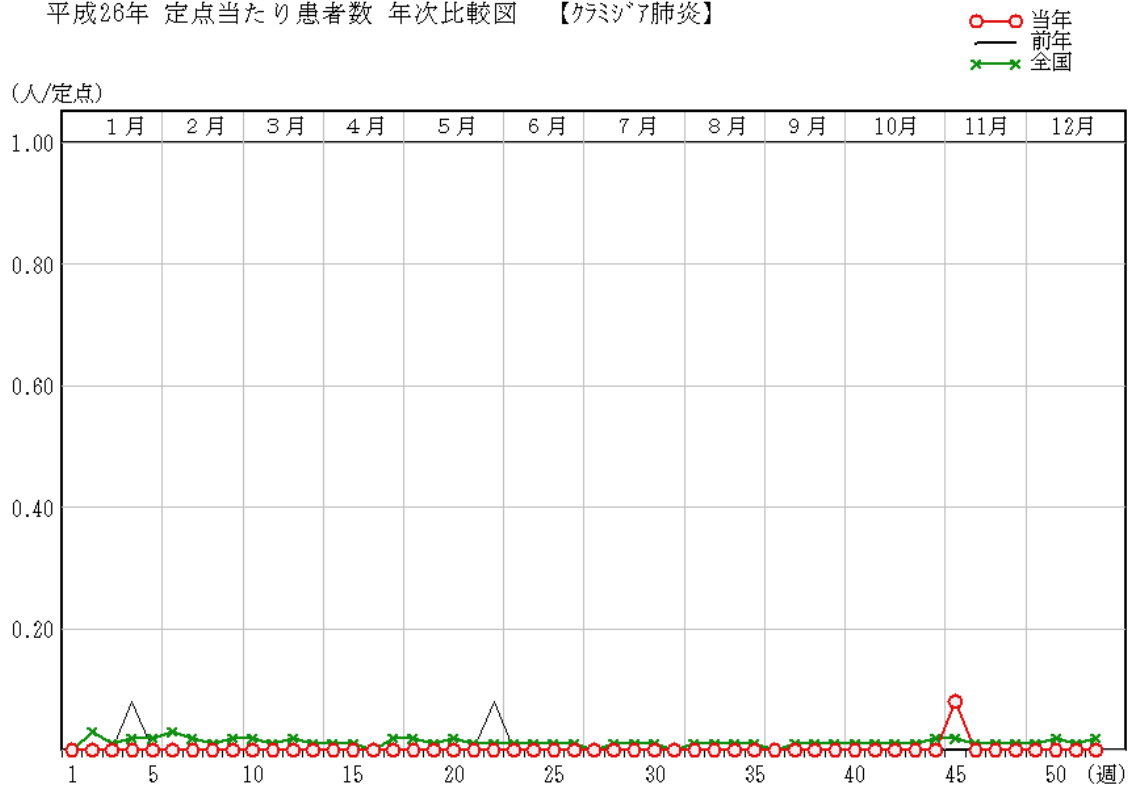
— 全国 マイコプラズマ肺炎 — 長崎県 マイコプラズマ肺炎



(18)クラミジア肺炎(オウム病は除く)

平成26年の年間患者報告数は1人で、前年(1人)と同じであった。第45週に1件報告があった。定点当たり患者報告数は、年間を通じて0.20以下での推移であった。本疾患は平成22年から報告がなされた。

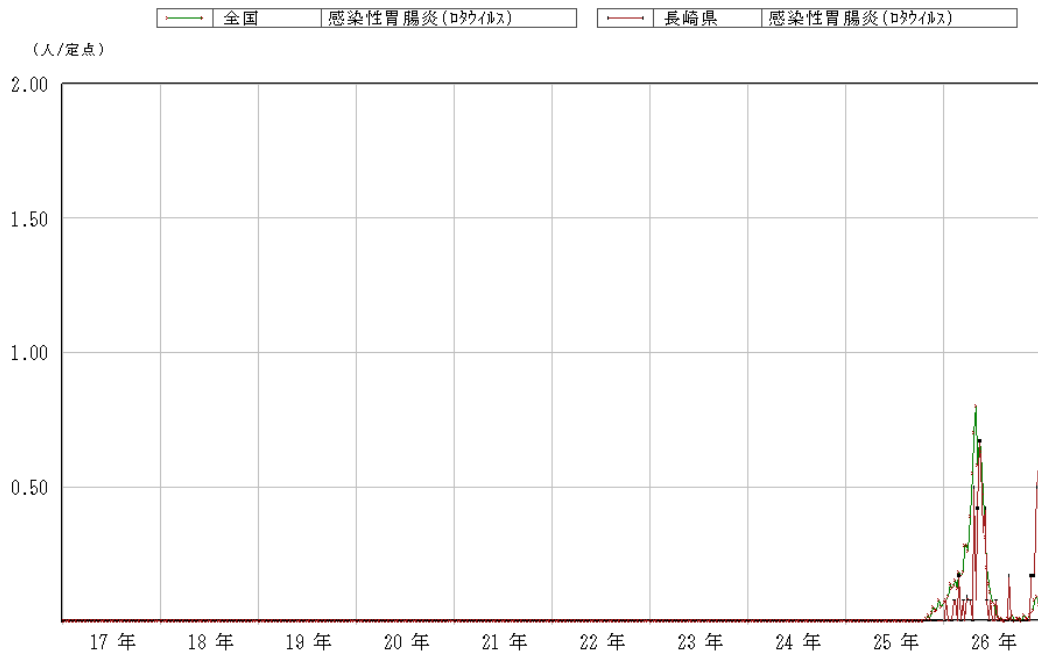
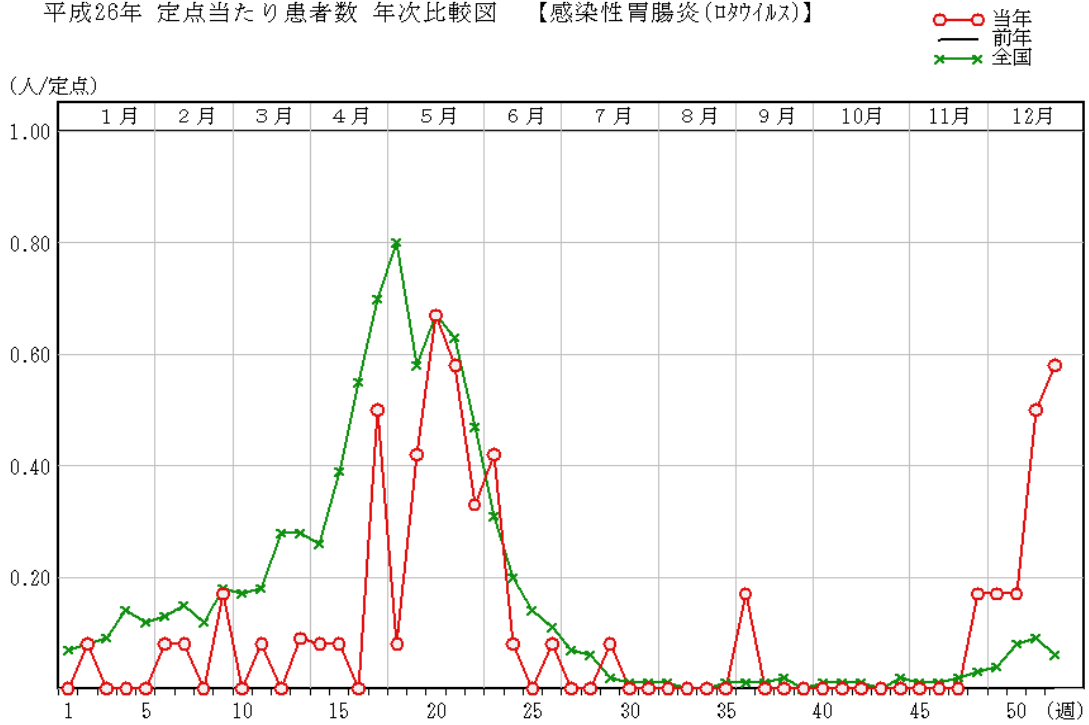
平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【クラミジア肺炎】



(19)感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

平成26年の年間患者報告数は69人であった。4月、5月の春に定点当たり患者報告数が高くなる傾向を示すが1.00を超えることはなかった。流行の推移は全国と同様であった。

平成26年 定点当たり患者数 年次比較図 【感染性胃腸炎(ロタウイルス)】

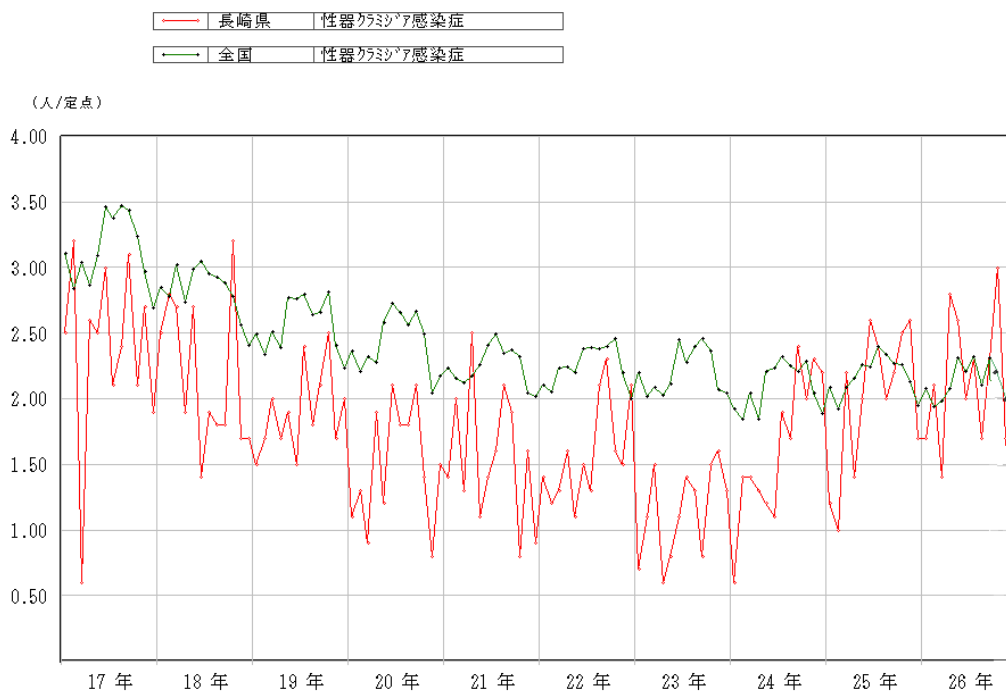
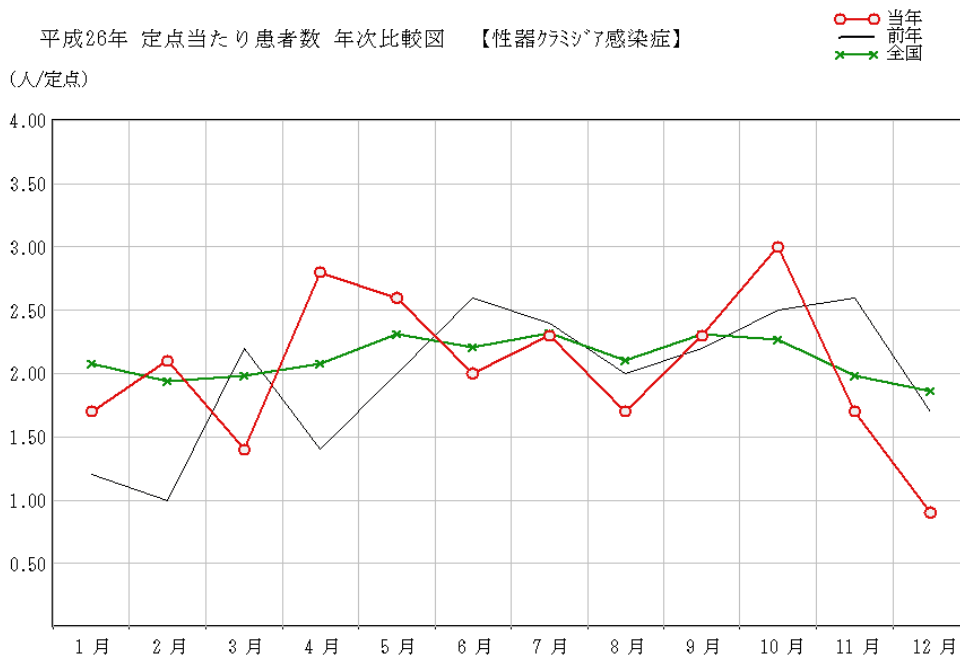


### 3 STD 定点報告の対象感染症

#### (1)性器クラミジア感染症

平成 26 年の年間患者報告数は男性 136 人(55.5%)、女性 109 人(44.5%)で、前年の男性 136 人(57.1%)、女性 102 人(42.9%)より増加した。

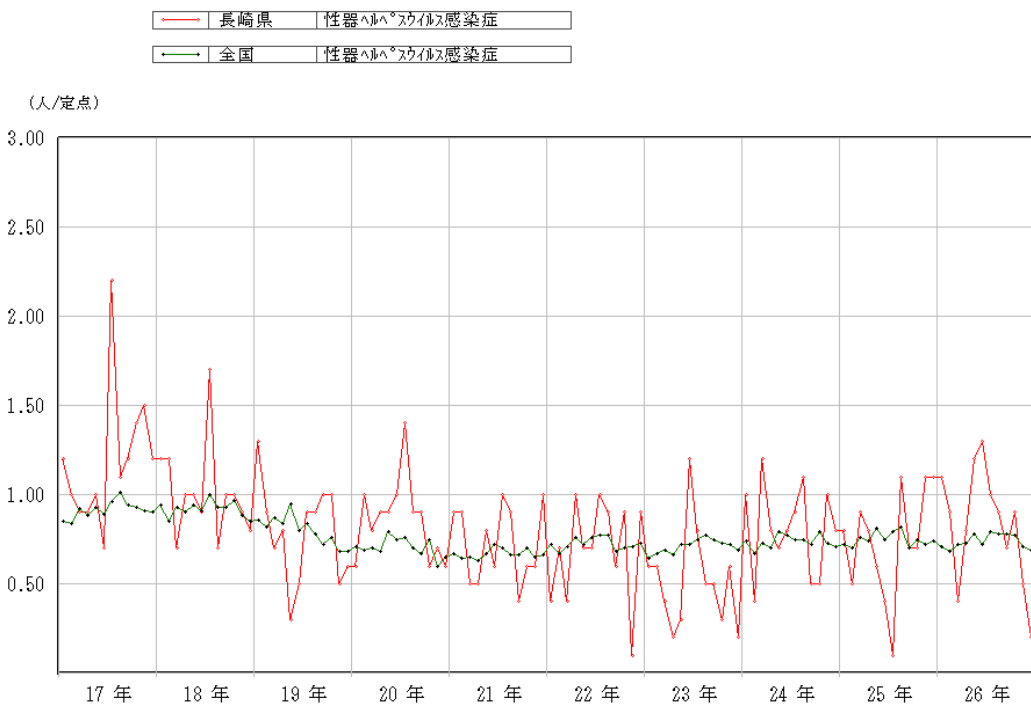
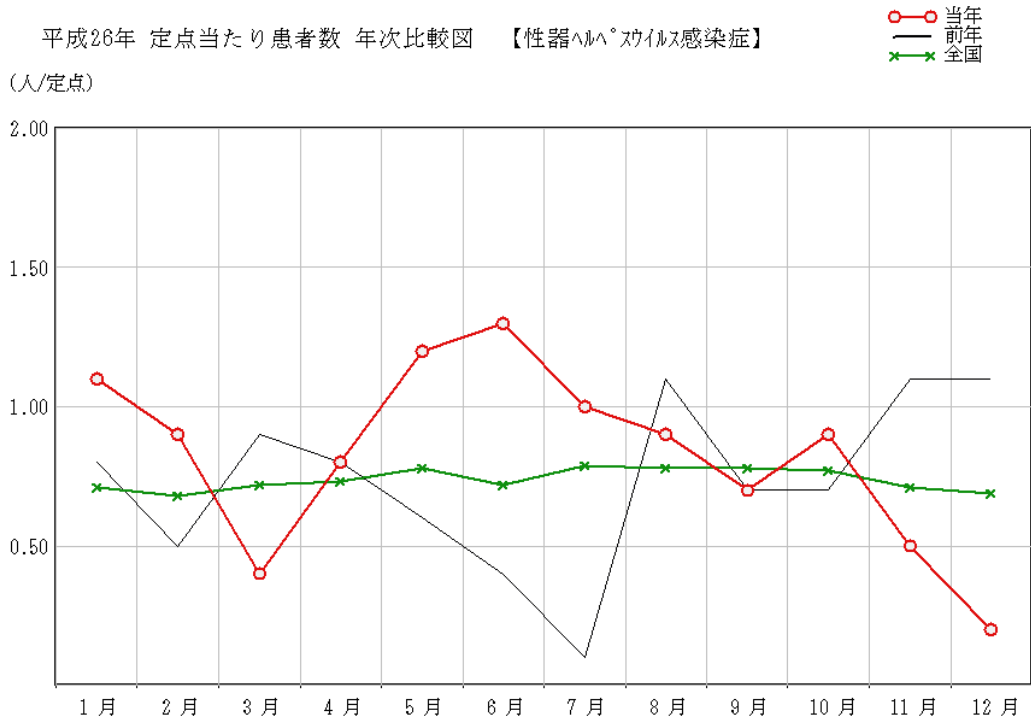
性別では、男性が多かったがほぼ同等であった。年齢別では、20 代が男女共に多く、全体の半数を占めた。30 代まではほぼ男女同数だが、40 代以降はほぼ男性が占めた。



(2)性器ヘルペスウイルス感染症

平成26年の年間患者報告数は男性29人(29.2%)、女性70人(70.8%)で前年の男性25人(28.4%)、女性63人(71.6%)より増加した。

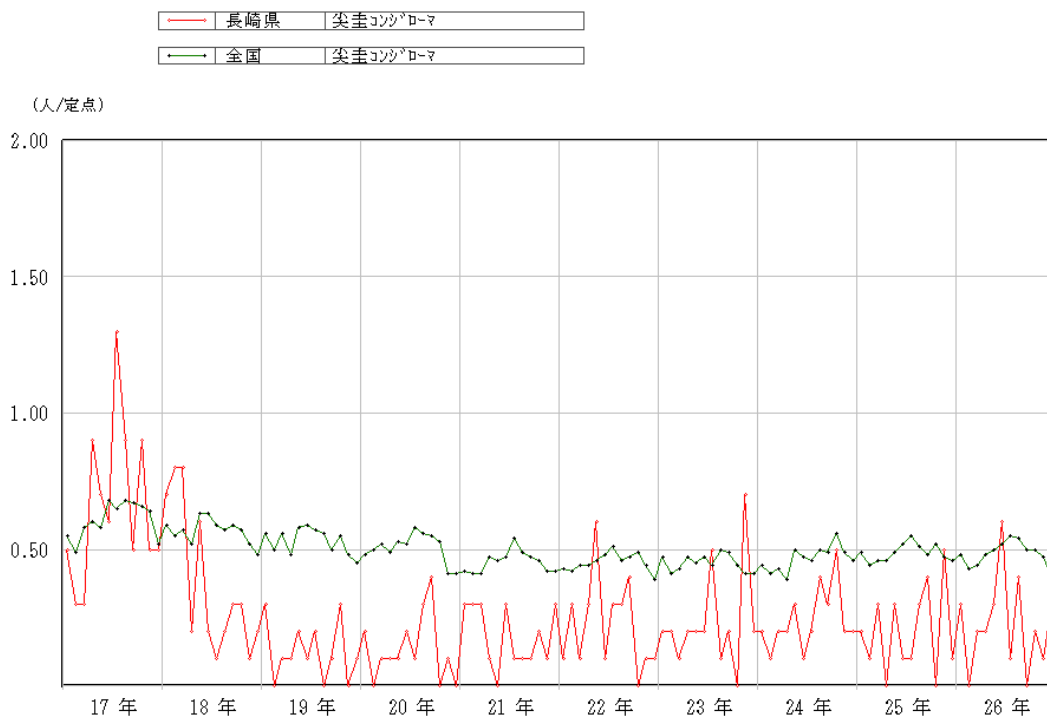
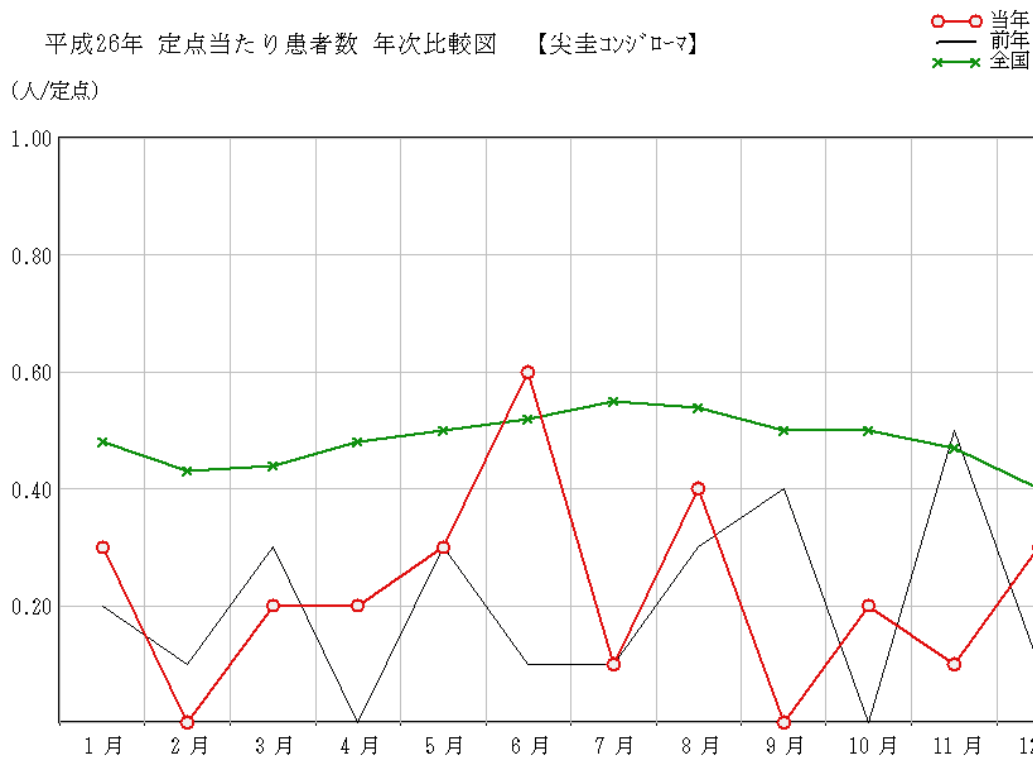
性別では、女性が多い傾向にあった。年齢別では、35～39歳が18人と最も多く、20代、30代で全体の5割以上を占めた。



### (3)尖圭コンジローマ

平成26年の年間患者報告数は男性17人(63.0%)、女性10人(37.0%)で、前年の男性16人(66.7%)、女性8人(33.3%)より増加した。

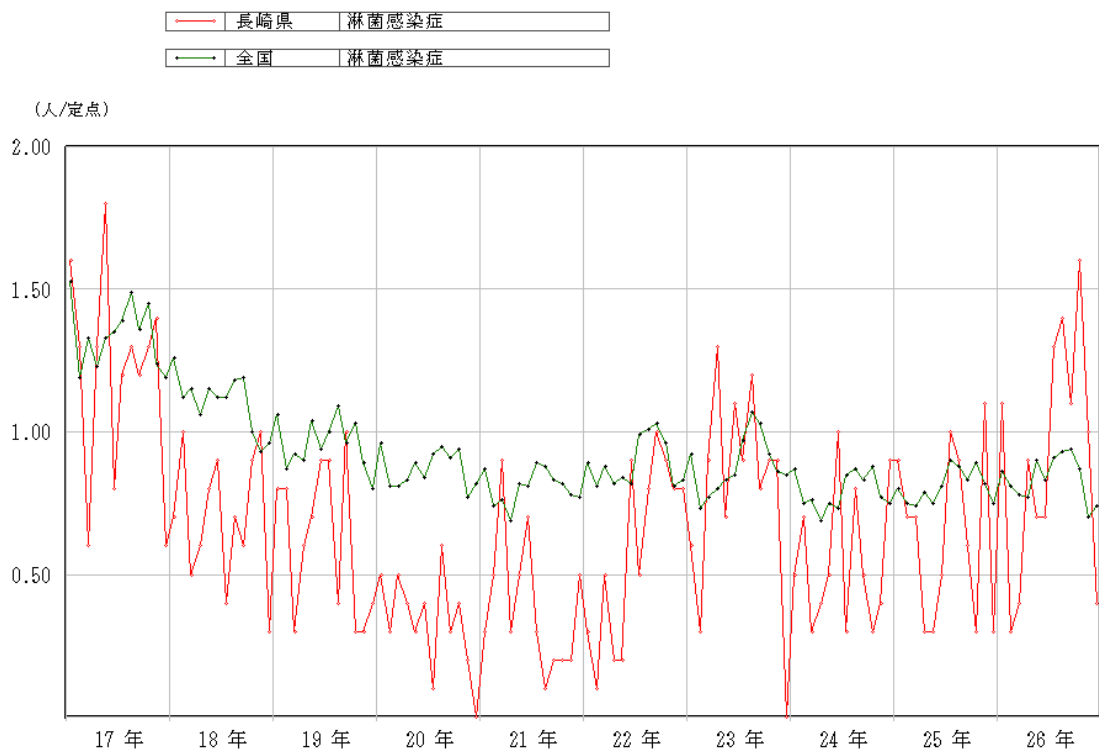
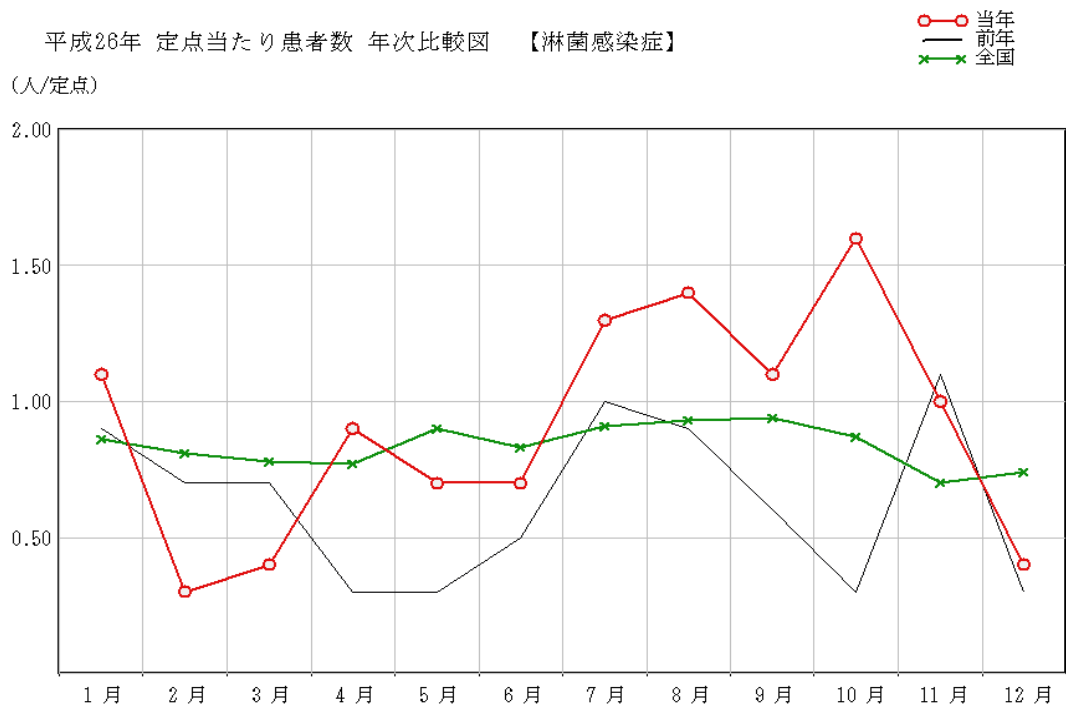
性別では男性が6割強を占め、年齢別では20代が23人と全体の85%を占めた。





#### (4)淋菌感染症

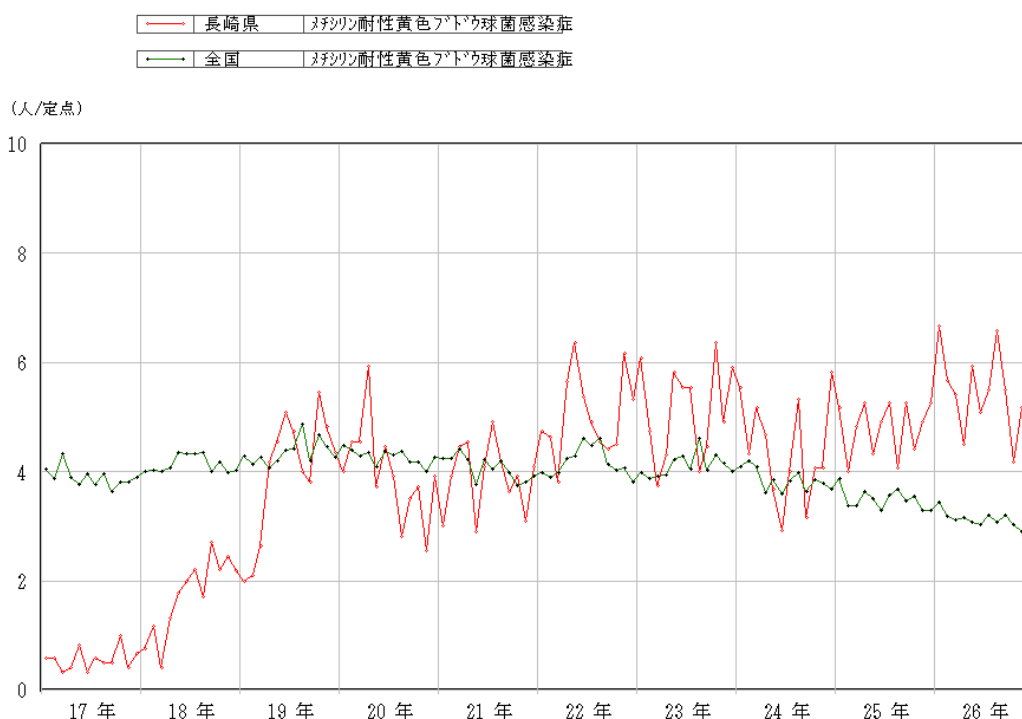
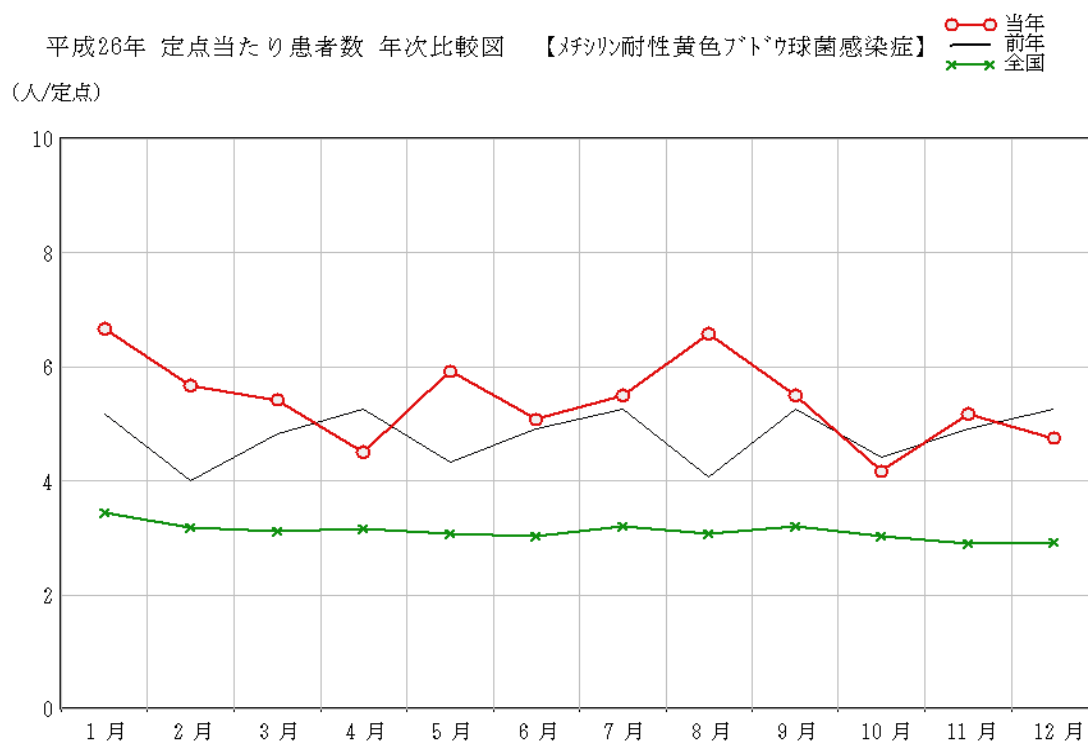
平成 26 年の年間患者報告数は男性 96 人(88.1%)、女性 13 人(11.9%)で、前年の男性 63 人(82.9%)、女性 13 人(17.1%)より増加した。性別では男性が約 9 割を占め、年齢別では 20 代が 51%、30 代が 28%を占め、いずれにおいても男性の患者報告数が多かった。



#### 4 基幹定点報告の対象感染症

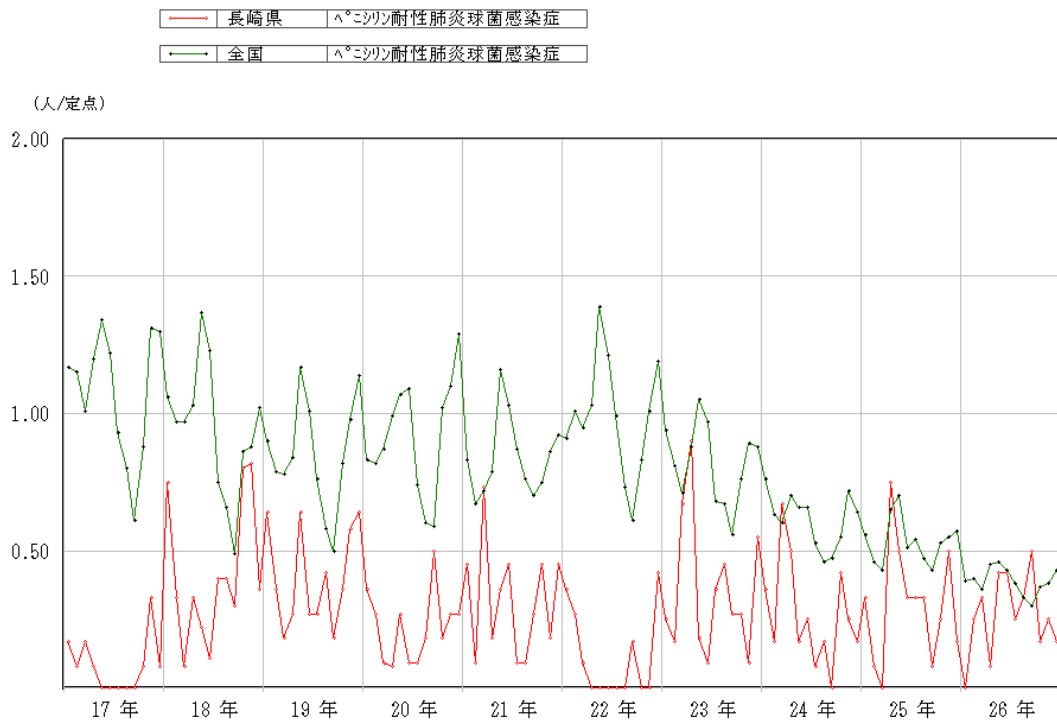
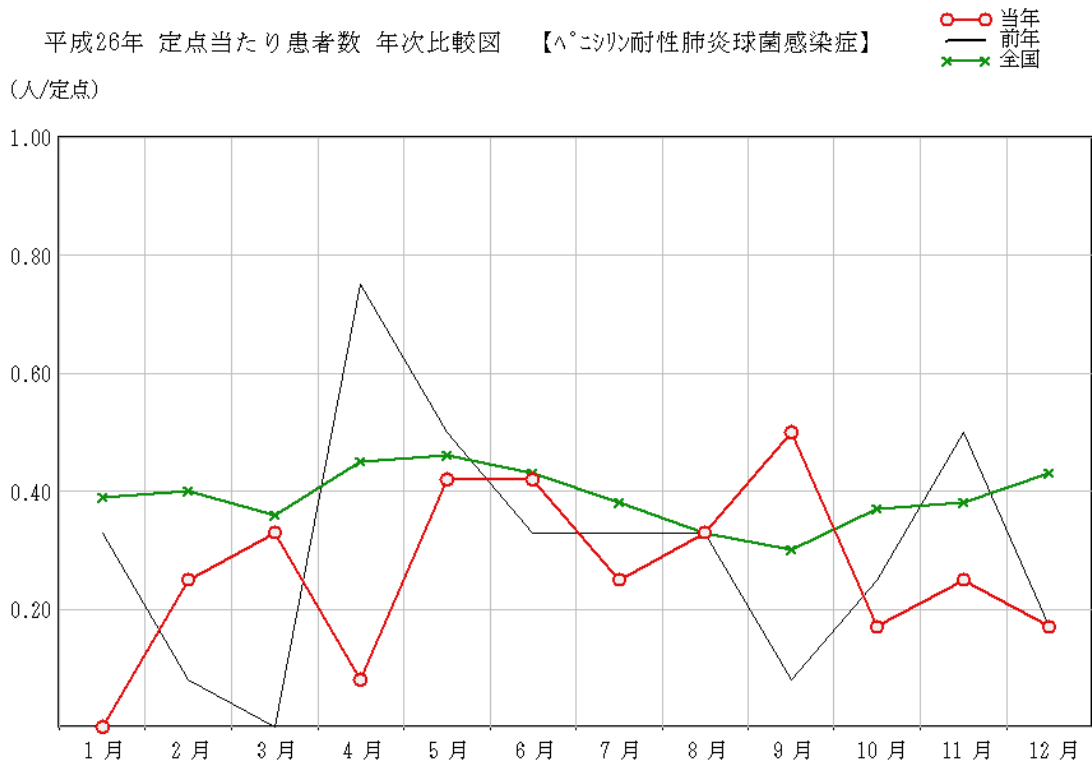
##### (1)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

平成26年の年間患者報告数779人で、前年(692人)より増加した。年間の推移は、平成19年以前は全国を下回っていた。それ以降は、振れ幅はあるものの患者報告数が全国を上回った。



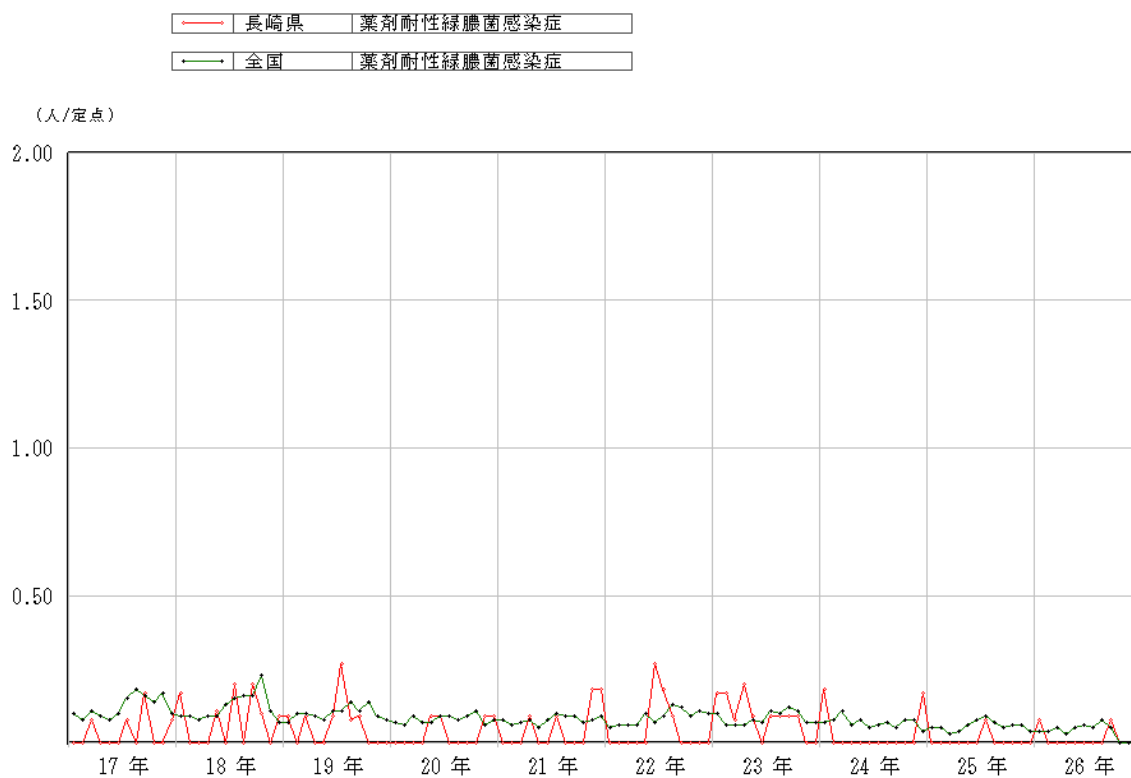
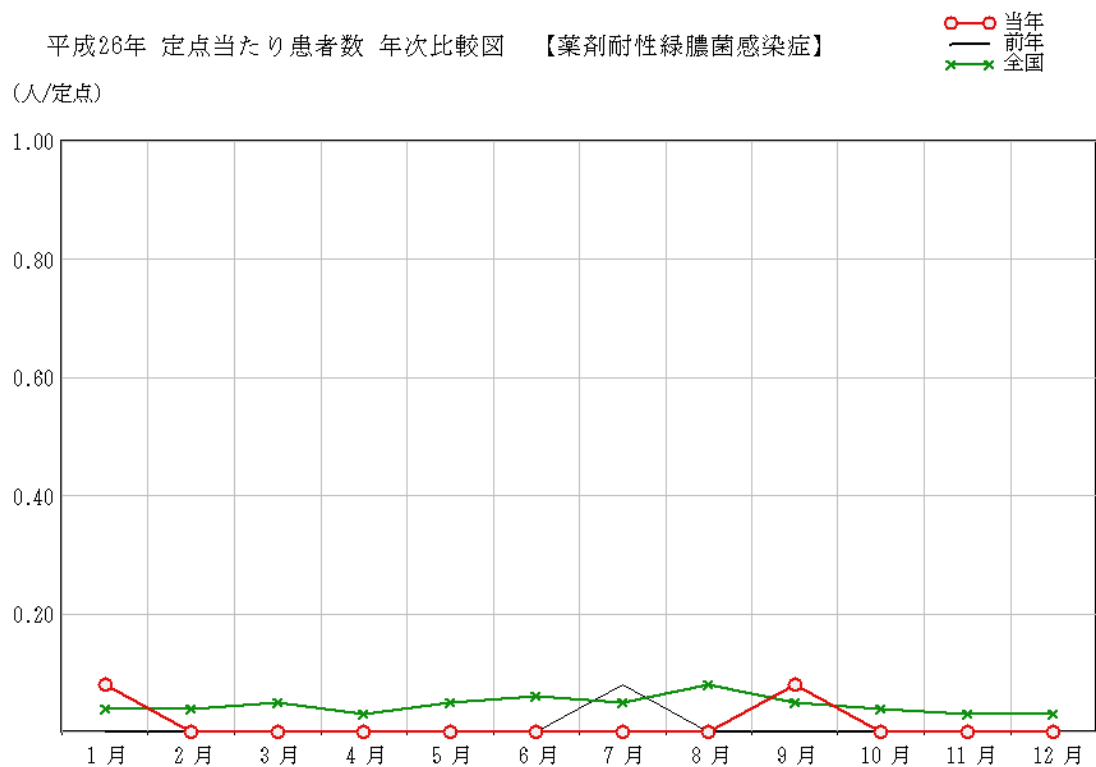
(2)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

平成26年の年間患者報告数は38人で、前年(44人)より減少した。本年度は9月の報告数が一度全国を上回ったものの、例年は全国より下回る傾向にある。



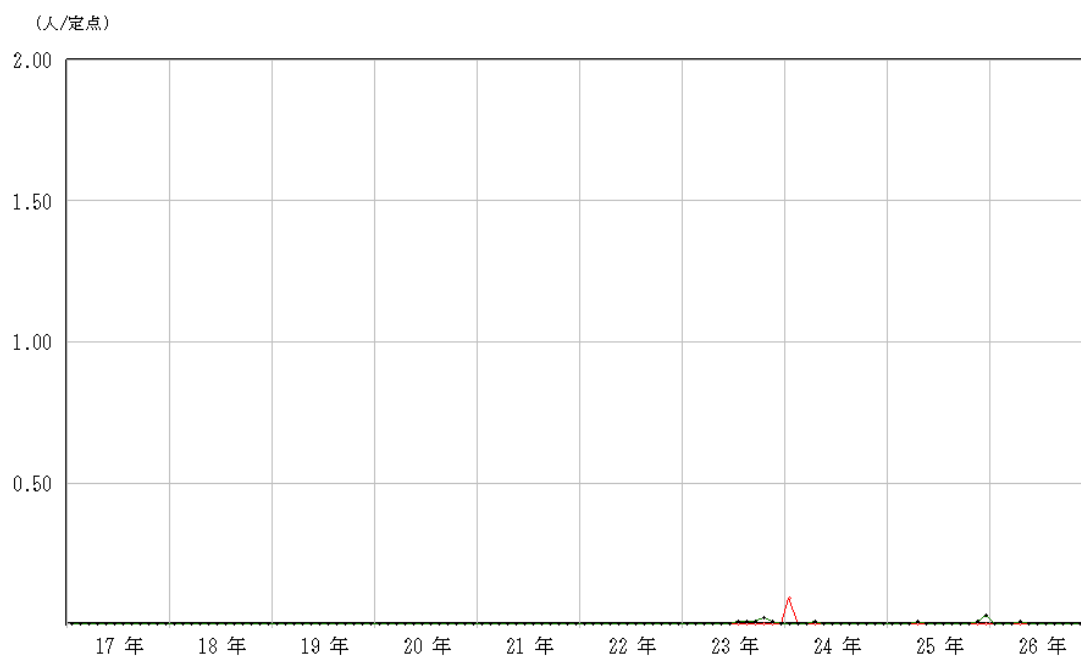
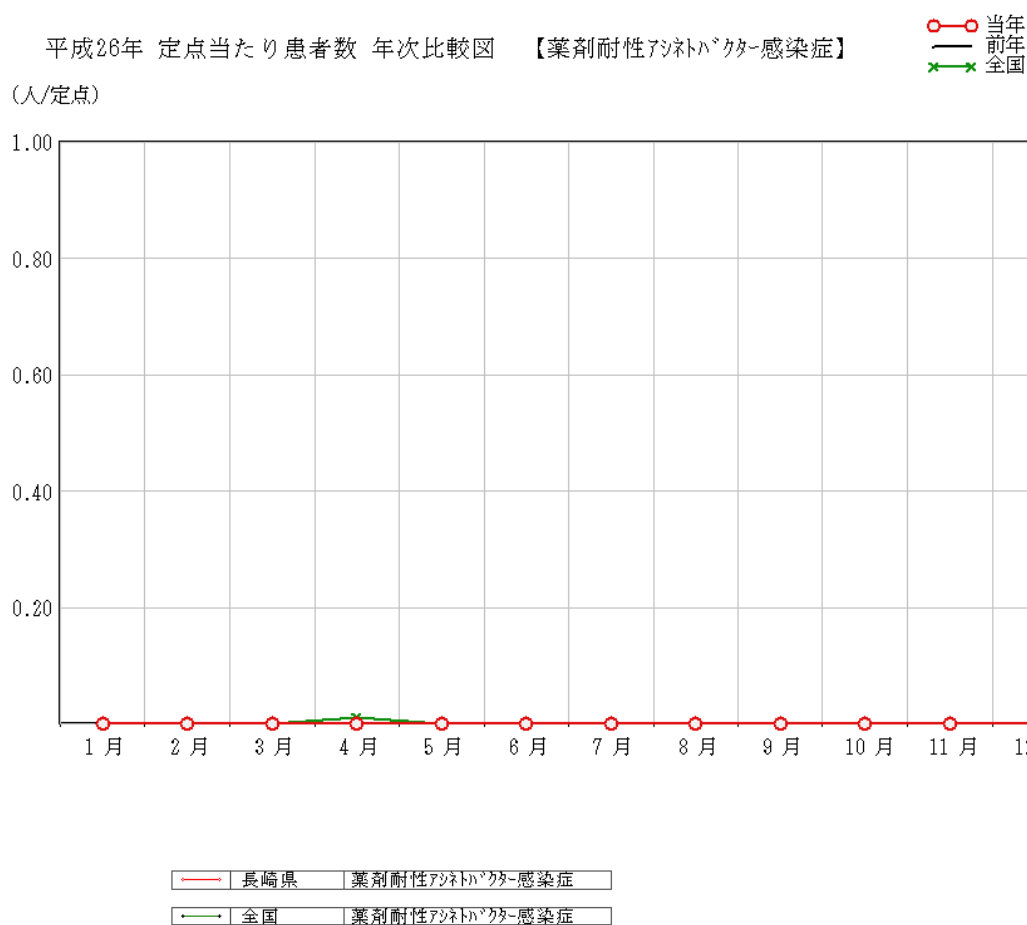
### (3)薬剤耐性緑膿菌感染症

平成26年の年間患者報告数は2人で、前年(1人)より増加した。1月、9月にそれぞれ1人ずつ報告がなされた。



#### (4)薬剤耐性アシネトバクター感染症

平成26年における報告はなかった。



※薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日より基幹定点把握対象感染症として追加され、平成26年9月19日より五類感染症の全数把握対象感染症へ移行された。

平成26年 感染症週報(定点把握の感染症)推移表 患者報告数 長崎県

		定点数				疾患名									
		インフル ルエン ザ	小児科	眼科	基幹	インフル エンザ	RSウイルス 感染症	咽頭結核 熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅 斑	突発性薬 疹	百日咳
1	13.12.30-14.1.5	70	44	8	12	271	42	30	28	151	93	10	-	6	-
2	14.1.6-14.1.12	70	44	8	12	433	54	34	71	316	91	13	-	23	4
3	14.1.13-14.1.19	70	44	8	12	954	52	29	65	329	52	16	-	19	10
4	14.1.20-14.1.26	70	44	8	12	2273	27	32	69	468	51	26	1	16	1
5	14.1.27-14.2.2	70	44	8	12	2871	36	34	62	447	52	13	2	28	-
6	14.2.3-14.2.9	70	44	8	12	2180	35	33	76	334	48	9	1	17	4
7	14.2.10-14.2.16	70	44	8	12	2239	19	26	50	264	65	9	1	10	3
8	14.2.17-14.2.23	70	44	8	12	2680	24	26	100	252	67	3	1	11	4
9	14.2.24-14.3.2	70	44	8	12	2582	20	35	97	263	64	11	1	24	3
10	14.3.3-14.3.9	70	44	8	12	1917	19	28	78	256	70	17	-	16	3
11	14.3.10-14.3.16	70	44	8	12	1625	18	31	89	255	70	13	-	19	6
12	14.3.17-14.3.23	70	44	8	12	1229	8	18	66	204	63	3	-	18	-
13	14.3.24-14.3.30	70	44	8	12	727	3	12	76	194	58	3	-	14	3
14	14.3.31-14.4.6	70	44	8	12	374	4	13	61	206	47	9	-	27	4
15	14.4.7-14.4.13	70	44	8	12	259	6	12	85	239	54	6	-	20	2
16	14.4.14-14.4.20	70	44	8	12	150	10	21	98	309	47	4	1	34	6
17	14.4.21-14.4.27	70	44	8	12	118	10	18	114	349	49	6	-	41	12
18	14.4.28-14.5.4	70	44	8	12	75	14	18	115	336	79	4	-	23	13
19	14.5.5-14.5.11	70	44	8	12	53	5	18	90	304	73	5	-	21	3
20	14.5.12-14.5.18	70	44	8	12	41	3	15	171	440	77	11	1	25	1
21	14.5.19-14.5.25	70	44	8	12	26	8	21	121	419	56	25	-	25	3
22	14.5.26-14.6.1	70	44	8	12	8	3	19	127	353	78	49	-	31	2
23	14.6.2-14.6.8	70	44	8	12	-	-	17	114	231	60	23	1	24	9
24	14.6.9-14.6.15	70	44	8	12	-	-	17	114	231	60	23	1	24	9
25	14.6.16-14.6.22	70	44	8	12	-	2	16	101	204	57	25	1	18	1
26	14.6.23-14.6.29	70	44	8	12	-	1	10	100	171	36	29	1	22	2
27	14.6.30-14.7.6	70	44	8	12	1	1	7	102	128	36	46	-	19	-
28	14.7.7-14.7.13	70	44	8	12	-	11	3	79	105	54	43	1	17	1
29	14.7.14-14.7.20	70	44	8	12	-	5	5	56	103	28	48	-	27	-
30	14.7.21-14.7.27	70	44	8	12	2	8	8	56	73	25	30	1	29	-
31	14.7.28-14.8.3	70	44	8	12	4	12	6	39	96	31	31	1	39	-
32	14.8.4-14.8.10	70	44	8	12	3	15	4	35	108	37	30	-	32	2
33	14.8.11-14.8.17	70	44	8	12	3	29	3	30	99	24	25	-	26	-
34	14.8.18-14.8.24	70	44	8	12	-	28	6	26	125	48	37	-	22	2
35	14.8.25-14.8.31	70	44	8	12	-	47	8	46	108	11	56	3	30	-
36	14.9.1-14.9.7	70	44	8	12	3	103	9	43	121	31	60	4	19	-
37	14.9.8-14.9.14	70	44	8	12	1	135	2	49	119	31	65	2	32	-
38	14.9.15-14.9.21	70	44	8	12	-	91	6	48	85	22	55	1	24	1
39	14.9.22-14.9.28	70	44	8	12	13	88	4	35	79	16	49	2	31	-
40	14.9.29-14.10.5	70	44	8	12	27	51	3	38	82	20	52	1	21	-
41	14.10.6-14.10.12	70	44	8	12	21	62	6	38	85	13	70	5	26	-
42	14.10.13-14.10.19	70	44	8	12	20	44	7	36	81	17	19	5	26	1
43	14.10.20-14.10.26	70	44	8	12	16	32	8	51	113	16	39	4	32	-
44	14.10.27-10.11.2	70	44	8	12	69	39	4	83	111	31	56	3	31	-
45	14.11.3-14.11.9	70	44	8	12	76	18	7	49	112	23	44	1	33	-
46	14.11.10-14.11.16	70	44	8	12	39	13	16	65	184	44	28	2	28	-
47	14.11.17-14.11.23	70	44	8	12	93	20	11	86	203	57	23	-	25	-
48	14.11.24-14.11.30	70	44	8	12	135	16	12	84	271	31	24	2	28	1
49	14.12.1-14.12.7	70	44	8	12	203	26	17	107	385	78	41	4	26	-
50	14.12.8-14.12.14	70	44	8	12	453	40	14	159	493	34	35	1	22	1
51	14.12.15-14.12.21	70	44	8	12	1113	24	12	164	620	60	30	1	14	1
52	14.12.22-14.12.28	70	44	8	12	2390	37	11	103	548	38	35	1	19	-
合計						27,770	1,418	782	4,045	12,162	2,473	1,436	58	1,234	118

平成26年 感染症週報(定点把握の感染症)推移表 患者報告数 長崎県

		定点数				疾患名								
		インフルエンザ	小児科	眼科	基幹	ヘルパンギナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	真菌性結膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
1	13.12.30-14.1.5	70	44	8	12	-	17	-	1	-	-	-	-	-
2	14.1.6-14.1.12	70	44	8	12	1	16	-	17	-	-	3	-	1
3	14.1.13-14.1.19	70	44	8	12	1	13	-	10	-	-	4	-	-
4	14.1.20-14.1.26	70	44	8	12	3	17	1	9	-	-	5	-	-
5	14.1.27-14.2.2	70	44	8	12	-	28	1	10	-	-	-	-	-
6	14.2.3-14.2.9	70	44	8	12	-	14	-	3	-	-	5	-	1
7	14.2.10-14.2.16	70	44	8	12	-	27	1	7	-	-	2	-	1
8	14.2.17-14.2.23	70	44	8	12	-	21	-	5	-	-	2	-	-
9	14.2.24-14.3.2	70	44	8	12	1	30	-	2	-	-	4	-	2
10	14.3.3-14.3.9	70	44	8	12	-	24	1	3	-	-	1	-	-
11	14.3.10-14.3.16	70	44	8	12	-	28	-	2	-	-	1	-	1
12	14.3.17-14.3.23	70	44	8	12	4	20	2	6	-	-	1	-	-
13	14.3.24-14.3.30	70	44	8	12	-	18	-	4	-	-	1	-	1
14	14.3.31-14.4.6	70	44	8	12	-	35	1	4	-	-	3	-	1
15	14.4.7-14.4.13	70	44	8	12	-	17	-	7	-	1	1	-	1
16	14.4.14-14.4.20	70	44	8	12	1	21	-	6	-	-	5	-	-
17	14.4.21-14.4.27	70	44	8	12	2	32	-	5	-	-	-	-	6
18	14.4.28-14.5.4	70	44	8	12	3	23	-	8	-	-	2	-	1
19	14.5.5-14.5.11	70	44	8	12	7	18	-	3	-	-	-	-	5
20	14.5.12-14.5.18	70	44	8	12	32	20	1	2	-	-	5	-	8
21	14.5.19-14.5.25	70	44	8	12	38	17	-	5	-	-	6	-	7
22	14.5.26-14.6.1	70	44	8	12	56	13	-	2	-	-	1	-	4
23	14.6.2-14.6.8	70	44	8	12	46	18	-	2	-	-	4	-	5
24	14.6.9-14.6.15	70	44	8	12	46	18	-	2	-	-	4	-	5
25	14.6.16-14.6.22	70	44	8	12	107	28	-	1	-	2	13	-	-
26	14.6.23-14.6.29	70	44	8	12	114	27	-	1	-	-	9	-	1
27	14.6.30-14.7.6	70	44	8	12	96	42	3	-	-	-	3	-	-
28	14.7.7-14.7.13	70	44	8	12	74	16	-	2	1	3	6	-	-
29	14.7.14-14.7.20	70	44	8	12	64	24	-	3	-	1	2	-	1
30	14.7.21-14.7.27	70	44	8	12	60	30	-	1	-	-	8	-	-
31	14.7.28-14.8.3	70	44	8	12	49	10	3	1	-	-	5	-	-
32	14.8.4-14.8.10	70	44	8	12	61	14	-	2	-	-	11	-	-
33	14.8.11-14.8.17	70	44	8	12	38	17	1	1	-	-	5	-	-
34	14.8.18-14.8.24	70	44	8	12	43	19	1	-	-	1	-	-	-
35	14.8.25-14.8.31	70	44	8	12	41	9	-	4	-	1	5	-	-
36	14.9.1-14.9.7	70	44	8	12	56	14	-	1	-	-	5	-	2
37	14.9.8-14.9.14	70	44	8	12	48	13	-	5	-	-	6	-	-
38	14.9.15-14.9.21	70	44	8	12	26	20	-	1	-	-	8	-	-
39	14.9.22-14.9.28	70	44	8	12	28	23	-	2	-	-	8	-	-
40	14.9.29-14.10.5	70	44	8	12	11	7	-	1	-	-	6	-	-
41	14.10.6-14.10.12	70	44	8	12	10	28	-	1	-	-	4	-	-
42	14.10.13-14.10.19	70	44	8	12	13	21	1	1	-	-	6	-	-
43	14.10.20-14.10.26	70	44	8	12	14	26	-	1	-	-	24	-	-
44	14.10.27-10.11.2	70	44	8	12	3	27	-	-	-	-	9	-	-
45	14.11.3-14.11.9	70	44	8	12	3	27	-	-	-	-	8	1	-
46	14.11.10-14.11.16	70	44	8	12	1	32	2	2	-	-	7	-	-
47	14.11.17-14.11.23	70	44	8	12	1	31	1	2	-	1	1	-	-
48	14.11.24-14.11.30	70	44	8	12	1	30	1	2	-	-	-	-	2
49	14.12.1-14.12.7	70	44	8	12	1	26	1	8	-	1	5	-	2
50	14.12.8-14.12.14	70	44	8	12	1	12	-	9	-	-	2	-	2
51	14.12.15-14.12.21	70	44	8	12	-	17	-	4	-	-	2	-	6
52	14.12.22-14.12.28	70	44	8	12	1	22	-	2	-	-	5	-	7
合計						1,206	1,117	22	183	1	11	233	1	73

平成26年 感染症週報(定点把握の感染症)推移表 定点当たり患者報告数 長崎県

		定点数				疾患名										
		インフルエンザ	小児科	眼科	基幹	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭扁桃炎	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	
1	13.12.30-14.1.5	70	44	8	12	3.87	0.95	0.68	0.64	3.43	2.11	0.23	-	0.14	-	
2	14.1.6-14.1.12	70	44	8	12	6.19	1.23	0.77	1.61	7.18	2.07	0.30	-	0.52	0.09	
3	14.1.13-14.1.19	70	44	8	12	13.63	1.18	0.66	1.48	7.48	1.18	0.36	-	0.43	0.23	
4	14.1.20-14.1.26	70	44	8	12	32.47	0.61	0.73	1.57	10.64	1.16	0.59	0.02	0.36	0.02	
5	14.1.27-14.2.2	70	44	8	12	41.01	0.82	0.77	1.41	10.16	1.18	0.30	0.05	0.64	-	
6	14.2.3-14.2.9	70	44	8	12	31.14	0.80	0.75	1.73	7.59	1.09	0.20	0.02	0.39	0.09	
7	14.2.10-14.2.16	70	44	8	12	31.99	0.43	0.59	1.14	6.00	1.48	0.20	0.02	0.23	0.07	
8	14.2.17-14.2.23	70	44	8	12	38.29	0.55	0.59	2.27	5.73	1.52	0.07	0.02	0.25	0.09	
9	14.2.24-14.3.2	70	44	8	12	36.89	0.45	0.80	2.20	5.98	1.45	0.25	0.02	0.55	0.07	
10	14.3.3-14.3.9	70	44	8	12	27.39	0.43	0.64	1.77	5.82	1.59	0.39	-	0.36	0.07	
11	14.3.10-14.3.16	70	44	8	12	23.21	0.41	0.70	2.02	5.80	1.59	0.30	-	0.43	0.14	
12	14.3.17-14.3.23	70	44	8	12	17.56	0.18	0.41	1.50	4.64	1.43	0.07	-	0.41	-	
13	14.3.24-14.3.30	70	44	8	12	10.54	0.07	0.28	1.77	4.51	1.35	0.07	-	0.33	0.07	
14	14.3.31-14.4.6	70	44	8	12	5.34	0.09	0.30	1.39	4.68	1.07	0.20	-	0.61	0.09	
15	14.4.7-14.4.13	70	44	8	12	3.70	0.14	0.27	1.93	5.43	1.23	0.14	-	0.45	0.05	
16	14.4.14-14.4.20	70	44	8	12	2.14	0.23	0.48	2.23	7.02	1.07	0.09	0.02	0.77	0.14	
17	14.4.21-14.4.27	70	44	8	12	1.69	0.23	0.41	2.59	7.93	1.11	0.14	-	0.93	0.27	
18	14.4.28-14.5.4	70	44	8	12	1.07	0.32	0.41	2.61	7.64	1.80	0.09	-	0.52	0.30	
19	14.5.5-14.5.11	70	44	8	12	0.76	0.11	0.41	2.05	6.91	1.66	0.11	-	0.48	0.07	
20	14.5.12-14.5.18	70	44	8	12	0.59	0.07	0.34	3.89	10.00	1.75	0.25	0.02	0.57	0.02	
21	14.5.19-14.5.25	70	44	8	12	0.37	0.18	0.48	2.75	9.52	1.27	0.57	-	0.57	0.07	
22	14.5.26-14.6.1	70	44	8	12	0.11	0.07	0.43	2.89	8.02	1.77	1.11	-	0.70	0.05	
23	14.6.2-14.6.8	70	44	8	12	-	-	0.39	2.59	5.25	1.36	0.52	0.02	0.55	0.20	
24	14.6.9-14.6.15	70	44	8	12	-	-	0.39	2.59	5.25	1.36	0.52	0.02	0.55	0.20	
25	14.6.16-14.6.22	70	44	8	12	-	0.05	0.36	2.30	4.64	1.30	0.57	0.02	0.41	0.02	
26	14.6.23-14.6.29	70	44	8	12	-	0.02	0.23	2.27	3.89	0.82	0.66	0.02	0.50	0.05	
27	14.6.30-14.7.6	70	44	8	12	0.01	0.02	0.16	2.32	2.91	0.82	1.05	-	0.43	-	
28	14.7.7-14.7.13	70	44	8	12	-	0.25	0.07	1.80	2.39	1.23	0.98	0.02	0.39	0.02	
29	14.7.14-14.7.20	70	44	8	12	-	0.11	0.11	1.27	2.34	0.64	1.09	-	0.61	-	
30	14.7.21-14.7.27	70	44	8	12	0.03	0.18	0.18	1.27	1.66	0.57	0.68	0.02	0.66	-	
31	14.7.28-14.8.3	70	44	8	12	0.06	0.27	0.14	0.89	2.18	0.70	0.70	0.02	0.89	-	
32	14.8.4-14.8.10	70	44	8	12	0.04	0.34	0.09	0.80	2.45	0.84	0.68	-	0.73	0.05	
33	14.8.11-14.8.17	70	44	8	12	0.04	0.66	0.07	0.68	2.25	0.55	0.57	-	0.59	-	
34	14.8.18-14.8.24	70	44	8	12	-	0.64	0.14	0.59	2.84	1.09	0.84	-	0.50	0.05	
35	14.8.25-14.8.31	70	44	8	12	-	1.07	0.18	1.05	2.45	0.25	1.27	0.07	0.68	-	
36	14.9.1-14.9.7	70	44	8	12	0.04	2.34	0.20	0.98	2.75	0.70	1.36	0.09	0.43	-	
37	14.9.8-14.9.14	70	44	8	12	0.01	3.07	0.05	1.11	2.70	0.70	1.48	0.05	0.73	-	
38	14.9.15-14.9.21	70	44	8	12	-	2.07	0.14	1.09	1.93	0.50	1.25	0.02	0.55	0.02	
39	14.9.22-14.9.28	70	44	8	12	0.19	2.00	0.09	0.80	1.80	0.36	1.11	0.05	0.70	-	
40	14.9.29-14.10.5	70	44	8	12	0.39	1.16	0.07	0.86	1.86	0.45	1.18	0.02	0.48	-	
41	14.10.6-14.10.12	70	44	8	12	0.30	1.41	0.14	0.86	1.93	0.30	1.59	0.11	0.59	-	
42	14.10.13-14.10.19	70	44	8	12	0.29	1.00	0.16	0.82	1.84	0.39	0.43	0.11	0.59	0.02	
43	14.10.20-14.10.26	70	44	8	12	0.23	0.73	0.18	1.16	2.57	0.36	0.89	0.09	0.73	-	
44	14.10.27-10.11.2	70	44	8	12	0.99	0.89	0.09	1.89	2.52	0.70	1.27	0.07	0.70	-	
45	14.11.3-14.11.9	70	44	8	12	1.09	0.41	0.16	1.11	2.55	0.52	1.00	0.02	0.75	-	
46	14.11.10-14.11.16	70	44	8	12	0.56	0.30	0.36	1.48	4.18	1.00	0.64	0.05	0.64	-	
47	14.11.17-14.11.23	70	44	8	12	1.33	0.45	0.25	1.95	4.61	1.30	0.52	-	0.57	-	
48	14.11.24-14.11.30	70	44	8	12	1.93	0.36	0.27	1.91	6.16	0.70	0.55	0.05	0.64	0.02	
49	14.12.1-14.12.7	70	44	8	12	2.90	0.59	0.39	2.43	8.75	1.77	0.93	0.09	0.59	-	
50	14.12.8-14.12.14	70	44	8	12	6.47	0.91	0.32	3.61	11.20	0.77	0.80	0.02	0.50	0.02	
51	14.12.15-14.12.21	70	44	8	12	15.90	0.55	0.27	3.73	14.09	1.36	0.68	0.02	0.32	0.02	
52	14.12.22-14.12.28	70	44	8	12	34.14	0.84	0.25	2.34	12.45	0.86	0.80	0.02	0.43	-	



平成26年 感染症週報(定点把握の感染症)推移表 定点当たり患者報告数 長崎県

		定点数				疾患名									
		インフルエンザ	小児科	眼科	基幹	ヘルパンギナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	真菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
1	13.12.30-14.1.5	70	44	8	12	-	0.39	-	0.13	-	-	-	-	-	-
2	14.1.6-14.1.12	70	44	8	12	0.02	0.36	-	2.13	-	-	0.25	-	0.08	
3	14.1.13-14.1.19	70	44	8	12	0.02	0.30	-	1.25	-	-	0.33	-	-	
4	14.1.20-14.1.26	70	44	8	12	0.07	0.39	0.13	1.13	-	-	0.42	-	-	
5	14.1.27-14.2.2	70	44	8	12	-	0.64	0.13	1.25	-	-	-	-	-	
6	14.2.3-14.2.9	70	44	8	12	-	0.32	-	0.38	-	-	0.42	-	0.08	
7	14.2.10-14.2.16	70	44	8	12	-	0.61	0.13	0.88	-	-	0.17	-	0.08	
8	14.2.17-14.2.23	70	44	8	12	-	0.48	-	0.63	-	-	0.17	-	-	
9	14.2.24-14.3.2	70	44	8	12	0.02	0.68	-	0.25	-	-	0.33	-	0.17	
10	14.3.3-14.3.9	70	44	8	12	-	0.55	0.13	0.38	-	-	0.08	-	-	
11	14.3.10-14.3.16	70	44	8	12	-	0.64	-	0.25	-	-	0.08	-	0.08	
12	14.3.17-14.3.23	70	44	8	12	0.09	0.45	0.25	0.75	-	-	0.08	-	-	
13	14.3.24-14.3.30	70	44	8	12	-	0.42	-	0.50	-	-	0.09	-	0.09	
14	14.3.31-14.4.6	70	44	8	12	-	0.80	0.13	0.50	-	-	0.25	-	0.08	
15	14.4.7-14.4.13	70	44	8	12	-	0.39	-	0.88	-	0.08	0.08	-	0.08	
16	14.4.14-14.4.20	70	44	8	12	0.02	0.48	-	0.75	-	-	0.42	-	-	
17	14.4.21-14.4.27	70	44	8	12	0.05	0.73	-	0.63	-	-	-	-	0.50	
18	14.4.28-14.5.4	70	44	8	12	0.07	0.52	-	1.00	-	-	0.17	-	0.08	
19	14.5.5-14.5.11	70	44	8	12	0.16	0.41	-	0.38	-	-	-	-	0.42	
20	14.5.12-14.5.18	70	44	8	12	0.73	0.45	0.13	0.25	-	-	0.42	-	0.67	
21	14.5.19-14.5.25	70	44	8	12	0.86	0.39	-	0.63	-	-	0.50	-	0.58	
22	14.5.26-14.6.1	70	44	8	12	1.27	0.30	-	0.25	-	-	0.08	-	0.33	
23	14.6.2-14.6.8	70	44	8	12	1.05	0.41	-	0.25	-	-	0.33	-	0.42	
24	14.6.9-14.6.15	70	44	8	12	1.05	0.41	-	0.25	-	-	0.33	-	0.42	
25	14.6.16-14.6.22	70	44	8	12	2.43	0.64	-	0.13	-	0.17	1.08	-	-	
26	14.6.23-14.6.29	70	44	8	12	2.59	0.61	-	0.13	-	-	0.75	-	0.08	
27	14.6.30-14.7.6	70	44	8	12	2.18	0.95	0.38	-	-	-	0.25	-	-	
28	14.7.7-14.7.13	70	44	8	12	1.68	0.36	-	0.25	0.08	0.25	0.50	-	-	
29	14.7.14-14.7.20	70	44	8	12	1.45	0.55	-	0.38	-	0.08	0.17	-	0.08	
30	14.7.21-14.7.27	70	44	8	12	1.36	0.68	-	0.13	-	-	0.67	-	-	
31	14.7.28-14.8.3	70	44	8	12	1.11	0.23	0.38	0.13	-	-	0.42	-	-	
32	14.8.4-14.8.10	70	44	8	12	1.39	0.32	-	0.25	-	-	0.92	-	-	
33	14.8.11-14.8.17	70	44	8	12	0.86	0.39	0.13	0.13	-	-	0.42	-	-	
34	14.8.18-14.8.24	70	44	8	12	0.98	0.43	0.13	-	-	0.08	-	-	-	
35	14.8.25-14.8.31	70	44	8	12	0.93	0.20	-	0.50	-	0.08	0.42	-	-	
36	14.9.1-14.9.7	70	44	8	12	1.27	0.32	-	0.13	-	-	0.42	-	0.17	
37	14.9.8-14.9.14	70	44	8	12	1.09	0.30	-	0.63	-	-	0.50	-	-	
38	14.9.15-14.9.21	70	44	8	12	0.59	0.45	-	0.13	-	-	0.67	-	-	
39	14.9.22-14.9.28	70	44	8	12	0.64	0.52	-	0.25	-	-	0.67	-	-	
40	14.9.29-14.10.5	70	44	8	12	0.25	0.16	-	0.13	-	-	0.50	-	-	
41	14.10.6-14.10.12	70	44	8	12	0.23	0.64	-	0.13	-	-	0.33	-	-	
42	14.10.13-14.10.19	70	44	8	12	0.30	0.48	0.13	0.13	-	-	0.50	-	-	
43	14.10.20-14.10.26	70	44	8	12	0.32	0.59	-	0.13	-	-	2.00	-	-	
44	14.10.27-10.11.2	70	44	8	12	0.07	0.61	-	-	-	-	0.75	-	-	
45	14.11.3-14.11.9	70	44	8	12	0.07	0.61	-	-	-	-	0.67	0.08	-	
46	14.11.10-14.11.16	70	44	8	12	0.02	0.73	0.25	0.25	-	-	0.58	-	-	
47	14.11.17-14.11.23	70	44	8	12	0.02	0.70	0.13	0.25	-	0.08	0.08	-	-	
48	14.11.24-14.11.30	70	44	8	12	0.02	0.68	0.13	0.25	-	-	-	-	0.17	
49	14.12.1-14.12.7	70	44	8	12	0.02	0.59	0.13	1.00	-	0.08	0.42	-	0.17	
50	14.12.8-14.12.14	70	44	8	12	0.02	0.27	-	1.13	-	-	0.17	-	0.17	
51	14.12.15-14.12.21	70	44	8	12	-	0.39	-	0.50	-	-	0.17	-	0.50	
52	14.12.22-14.12.28	70	44	8	12	0.02	0.50	-	0.25	-	-	0.42	-	0.58	

平成26年 感染症月報推移表 患者報告数 長崎県

月	STD定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローマ	淋菌感染症	月	基幹定点数	メシチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	薬剤耐性アシネトバクター感染症
1月	10	17	11	3	11	1月	12	80	-	1	-
2月	10	21	9	-	3	2月	12	68	3	-	-
3月	10	14	4	2	4	3月	12	65	4	-	-
4月	10	28	8	2	9	4月	12	54	1	-	-
5月	10	26	12	3	7	5月	12	71	5	-	-
6月	10	20	13	6	7	6月	12	61	5	-	-
7月	10	23	10	1	13	7月	12	66	3	-	-
8月	10	17	9	4	14	8月	12	79	4	-	-
9月	10	23	7	-	11	9月	12	66	6	-	-
10月	10	30	9	2	16	10月	12	50	2	-	-
11月	10	17	5	1	10	11月	12	62	3	-	-
12月	10	9	2	3	4	12月	12	57	2	1	-
合計		245	99	27	109	合計	144	779	38	2	0

平成26年 感染症月報推移表 定点当たり患者数 長崎県

月	STD定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローマ	淋菌感染症	月	基幹定点数	メシチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	薬剤耐性アシネトバクター感染症
1月	10	1.7	1.1	0.3	1.1	1月	12	6.67	-	0.08	-
2月	10	2.1	0.9	-	0.3	2月	12	5.67	0.25	-	-
3月	10	1.4	0.4	0.2	0.4	3月	12	5.42	0.33	-	-
4月	10	2.8	0.8	0.2	0.9	4月	12	4.50	0.08	-	-
5月	10	2.6	1.2	0.3	0.7	5月	12	5.92	0.42	-	-
6月	10	2.0	1.3	0.6	0.7	6月	12	5.08	0.42	-	-
7月	10	2.3	1.0	0.1	1.3	7月	12	5.50	0.25	-	-
8月	10	1.7	0.9	0.4	1.4	8月	12	6.58	0.33	-	-
9月	10	2.3	0.7	-	1.1	9月	12	5.50	0.50	0.08	-
10月	10	3.0	0.9	0.2	1.6	10月	12	4.17	0.17	0.04	-
11月	10	1.7	0.5	0.1	1.0	11月	12	5.17	0.25	0.03	-
12月	10	0.9	0.2	0.3	0.4	12月	12	4.75	0.17	0.03	-

### Ⅲ 医療機関病原体検出情報

## 医療機関病原体検出情報（月報及び年報）

「長崎県感染症発生動向調査事業実施要領」に基づき、長崎県感染症情報センター機能の一環として、地域の中核医療機関等の臨床検査室（微生物部門）の病原体検出数（月報）を集計し、その結果を医療機関に還元することにより、良質かつ適切な医療の提供に寄与し、感染症発生の予防及び蔓延の防止を目的とする。

### 対象医療機関

長崎市、大村市及び佐世保市の各 1 施設。





病原菌検出状況報告書

平成26年1月分集計

基経高専保健学研究センター  
TEL:0987-48-7660  
FAX:0987-48-7670

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
003	<i>Escherichia coli</i> (O157:H7)		
004	<i>Escherichia coli</i> 腸炎毒素産生型(ET-EC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 腸炎毒素産生型(ET-EC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸炎毒素産生型(ET-EC)		
008	<i>Escherichia coli</i> 腸炎毒素産生型(ET-EC)		
101	<i>Salmonella Jyphi</i>		
104	<i>Salmonella Paratyphi A</i>		
105	<i>Salmonella O4:B5</i>		
106	<i>Salmonella O7(C1, C4)</i>	1	
107	<i>Salmonella O8(C2, C3)</i>		
108	<i>Salmonella O9(D1)</i>		
109	<i>Salmonella O9, 46(D3)</i>		
110	<i>Salmonella O3, 10(E1, E2, E3)</i>		
112	<i>Salmonella O13(G1, G2)</i>		
116	<i>Salmonella O18(K1, G2)</i>		
133	<i>Salmonella</i> 未同定		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
204	<i>V. cholerae</i> O1:El Tor, Gera, CT(+)		
205	<i>V. cholerae</i> O2:El Tor, Gera, CT(-)		
207	<i>V. cholerae</i> O3:El Tor, Gera, CT(-)		
213	<i>V. cholerae</i> O139, CT(+)	**	
214	<i>V. cholerae</i> O139, CT(-)	**	
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1:K0139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila/nobria</i> 未同定		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
224	<i>Campylobacter jejuni</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni/cult</i> 未同定	1	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2	
227	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
228	<i>Chloridium perfringens</i>		
229	<i>Chloridium botulinum</i> E		
230	<i>Mycobacterium tuberculosis</i> H3N2		
231	<i>Mycobacterium tuberculosis</i> H3N2		

分離材料: 便液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X	
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
304	<i>Shigella sonnei</i>	
305	<i>Shigella</i> 未同定	
401	<i>Entamoeba histolytica</i>	
402	<i>Cryptosporidium</i>	
403	<i>Giardia lamblia</i>	4
	合計	4

分離材料: 膿液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
108	<i>Listeria monocytogenes</i>	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
428	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
032	<i>Streptococcus B</i>	
452	FRSP / FRSP	
038	FRSP / FRSP	
422	Anaerobes	
042	<i>Plasmodium</i> spp.	
	合計	0

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	
003	<i>Salmonella Jyphi</i>	
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>	
428	<i>Salmonella</i> spp.	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
108	<i>Listeria monocytogenes</i>	
032	<i>Streptococcus B</i>	
452	FRSP / FRSP	
038	FRSP / FRSP	
422	Anaerobes	
042	<i>Plasmodium</i> spp.	
	合計	40

0\*: 海外発行者分属  
\*: Vero毒素産生性検出に本例について検出型を記入して  
ください。また、菌種のBHEC/VTEC情報記入欄に検出地点で  
分かる範囲の情報も記入してください。

\*\* V. cholerae O139:検出された場合は、菌種のV. cholerae  
O139情報記入欄に記入してください。

分離材料: 冷却凍結水、原水、環境試料など

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	2
114	<i>Neisseria pneumoniae</i>	3
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	2
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2
163	<i>Mycobacterium</i> spp.	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3
452	FRSP - FRSP	
038	FRSP - FRSP	
422	Anaerobes	5
126	<i>Mycobacterium pneumoniae</i>	
	合計	17

分離材料: 咽拭および扁桃体からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
037	<i>Bordetella pertussis</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	2
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
031	<i>Streptococcus A</i>	
452	FRSP / FRSP	1
038	FRSP / FRSP	
036	<i>Corynebacterium diptheriae</i>	3
	合計	3

分離材料: 痰液、気管吸引液および下気道ASの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	1
453	<i>Mycobacterium avium-intracellulare</i> complex	2
119	<i>Mycobacterium pneumoniae</i>	10
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	9
039	<i>Legionella pneumoniae</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	34
422	Anaerobes	
042	<i>Plasmodium</i> spp.	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	16
104	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	11
031	<i>Streptococcus A</i>	
022	<i>Streptococcus B</i>	4
452	FRSP / FRSP	3
038	FRSP / FRSP	5
422	Anaerobes	
125	<i>Mycobacterium pneumoniae</i>	
	合計	88

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	66
176	<i>Enterobacter</i> spp.	4
118	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	13
428	<i>Enterobacter</i> spp.	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	13
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3
428	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1
421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	6
424	<i>Enterococcus</i>	20
425	<i>Candida albicans</i>	7
	合計	134

分離材料: 膿液、膿液、凍結凍結菌液(分枝)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	5
032	<i>Streptococcus B</i>	5
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	2
124	<i>Ureaplasma</i>	1
425	<i>Candida albicans</i>	7
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>	
	合計	19

病原菌検出状況報告書

平成26年2月分集計

長崎県環境保健研究センター  
TEL:0957-48-7560  
FAX:0957-48-7570

分離材料:糞便

コード	菌種・群・型	抽出	抽出
003	<i>Escherichia coli</i> O157:H7		
004	<i>Escherichia coli</i> O157:H7		
005	<i>Escherichia coli</i> O157:H7	1	
007	<i>Escherichia coli</i> O157:H7		
008	<i>Escherichia coli</i> O157:H7		
101	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
102	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
104	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
106	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
107	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
108	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
109	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
110	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
112	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
116	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
132	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
133	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El Tor, Ogawa, CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Ogawa, CT(-)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, CT(-)		
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)		
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio zivialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>Aeromonas sobria</i> 属別不明		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>		
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>Campylobacter coli</i> 属別不明		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
452	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1	
453	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Clostridium perfringens</i>		
227	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料:糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	抽出	抽出
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> 型( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y		
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella sonnei</i>		
401	<i>Enterococcus histolyticus</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		
	計		2

0 \* 海外旅行後分離  
 \* Veroto毒素産生性を確認した例について抽出票を記入してください。また、糞便のBHEC/ATEC情報記入欄に検出地点で分かる範囲の情報を記入してください。  
 \* *Vibrio cholerae* O139が検出された場合は、糞便の「*V. cholerae* O139情報」記入欄に記入してください。  
 分離材料: 冷却凍(凍水、置水、開凍液など)

コード	菌種・群・型	抽出	抽出
001	<i>Escherichia coli</i>		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
163	<i>Mycobacterium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
452	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
038	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	計		2

分離材料:膿液

コード	菌種・群・型	抽出	抽出
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
422	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
452	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
038	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
	計		1

分離材料:咽頭および鼻咽頭部の材料

コード	菌種・群・型	抽出	抽出
037	<i>Borrelia burgdorferi</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	6	
031	<i>Streptococcus</i> A		
452	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
038	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
036	<i>Corynebacterium diptheriae</i>		
	計		10

分離材料:尿

コード	菌種・群・型	抽出	抽出
001	<i>Escherichia coli</i>		
176	<i>Enterobacter</i> spp.		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
424	<i>Acinetobacter</i> spp.		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
424	<i>Enterococcus</i> <i>faecalis</i>		
424	<i>Enterococcus</i> <i>faecalis</i>		
425	<i>Candida albicans</i>		
	計		11

分離材料:血液

コード	菌種・群・型	抽出	抽出
001	<i>Escherichia coli</i>		
003	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
004	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
426	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
422	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
452	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
038	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
	計		28

分離材料:感度、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	抽出	抽出
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>Intracellulare</i> complex		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
039	<i>Legionella pneumophila</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Plasmodium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
926	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
031	<i>Streptococcus</i> A		
030	<i>Streptococcus</i> B		
452	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
038	<i>PRSP-PRSP</i> / <i>PRSP</i> 以外		
122	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	計		27

分離材料:陰部尿道経管標本(分泌物)

コード	菌種・群・型	抽出	抽出
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		
032	<i>Streptococcus</i> B		
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>		
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>		
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	計		25





病原菌検出状況報告書

平成26年4月分集計

長崎県環境保健研究センター  
TEL:0957-48-7560  
FAX:0957-48-7570

分離材料:糞便

Table with columns: No., Species, Type, Isolation, Count. Lists various bacterial and parasitic species found in fecal samples.

分離材料:糞便(つづき)

Table with columns: No., Species, Type, Isolation, Count. Continuation of fecal sample results.

0\*:海外旅行客分母  
\*:Vero等標準生性を確認した例について検出数を記入してください。また、糞便のBHEC/ATPEC情報記入欄に検出点で分かち範囲の情報を記入してください。  
\*\*Vibrio O139が検出された場合は、糞便のVibrio O139情報記入欄に記入してください。  
分離材料:穿刺液(膿水、膿水、膿液など)

Table with columns: No., Species, Type, Isolation, Count. Lists results for puncture fluids.

分離材料:膿液

Table with columns: No., Species, Type, Isolation, Count. Lists results for pus samples.

分離材料:咽頭および鼻咽部からの材料

Table with columns: No., Species, Type, Isolation, Count. Lists results for pharyngeal and nasopharyngeal samples.

分離材料:尿

Table with columns: No., Species, Type, Isolation, Count. Lists results for urine samples.

分離材料:血液

Table with columns: No., Species, Type, Isolation, Count. Lists results for blood samples.

分離材料:膿液、尿管吸引液および下気道からの材料

Table with columns: No., Species, Type, Isolation, Count. Lists results for pus, urine, and lower respiratory tract samples.

分離材料:尿道尿道管検体(分泌物)

Table with columns: No., Species, Type, Isolation, Count. Lists results for urethral discharge samples.

病原菌検出状況報告書

平成26年5月分集計

長崎県健康医療研究センター  
TEL:0957-49-7560  
FAX:0957-49-7570

分離材料:便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
003	<i>Escherichia coli</i> 経腸侵入型(STEC)	
004	<i>Escherichia coli</i> 腸炎原性(STEC)	
006	<i>Escherichia coli</i> 腸炎原性(ETEC)	
007	<i>Pseudomonas cathartica</i> 大腸菌(腸炎原性)	
008	<i>Escherichia coli</i> 腸炎原性(ETEC)	
101	<i>Salmonella typhi</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
102	<i>Salmonella Paratyphi A</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
104	<i>Salmonella O4(B)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
105	<i>Salmonella O7(C1, C4)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
106	<i>Salmonella O8(C2, C3)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
107	<i>Salmonella O9(D1)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
108	<i>Salmonella O9, 4b(D3)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
109	<i>Salmonella O3, 10(E1, E2, E3)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
110	<i>Salmonella O1, 3, 19(E4)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
112	<i>Salmonella O13(G1, G2)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
116	<i>Salmonella O18(K)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
133	<i>Salmonella</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
202	<i>Yersinia enterocolitica</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
204	<i>V. Cholerae O1:89 Tor, Ogawa, GI(+)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
205	<i>V. Cholerae O2:89 Tor, Ogawa, GI(-)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
206	<i>V. Cholerae O9:89 Tor, Inaba, GI(+)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
207	<i>V. Cholerae O9:89 Tor, Inaba, GI(-)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
213	<i>V. Cholerae O139: GI(+)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
214	<i>V. Cholerae O139: GI(-)</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
215	<i>Vibrio cholerae O1&amp;O139</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
217	<i>Vibrio fluvialis</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
218	<i>Vibrio mimicus</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
219	<i>Aeromonas hydrophila</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
220	<i>Aeromonas sobria</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
221	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
223	<i>Campylobacter jejuni</i> 腸炎原性(腸炎原性)	1
224	<i>Campylobacter coli</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
225	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) 腸炎原性(腸炎原性)	2
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) 腸炎原性(腸炎原性)	
227	<i>Clostridium perfringens</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
228	<i>Clostridium botulinum E</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
229	<i>Clostridium botulinum E</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
230	<i>Bacillus cereus</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
231	<i>Bacillus thuringiensis</i> 腸炎原性(腸炎原性)	

分離材料:便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X	
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
304	<i>Shigella sonnei</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
305	<i>Shigella</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
401	<i>Enterococcus histolyticus</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
402	<i>Cryptosporidium</i> 腸炎原性(腸炎原性)	
403	<i>Giardia lamblia</i> 腸炎原性(腸炎原性)	3

分離材料:腸液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
032	<i>Streptococcus B</i>	
452	PKSP / PISP	
038	PKSP / PISP以外	
422	Anaerobes	
042	<i>Flasmodium</i> spp.	
	計	0

分離材料:血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	6
003	<i>Salmonella typhi</i>	
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
102	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	
452	PKSP / PISP	
038	PKSP / PISP以外	
422	Anaerobes	
042	<i>Flasmodium</i> spp.	
	計	37

0\*:海外渡行者分離  
\* Vero細胞培養性を確認した例について検出数を記入してください。また、集約の情報を記入してください。  
\*\*V.cholerae O139が検出された場合は、最後のV.cholerae O139情報を入力欄に記入してください。

分離材料:咽頭拭いばい菌培養からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
037	<i>Haemophilus parvus</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	1
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
031	<i>Streptococcus A</i>	
452	PKSP / PISP	
038	PKSP / PISP以外	
036	<i>Corynebacterium diptheriae</i>	1
	計	2

分離材料:経尿 尿管導引線および尿管からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	3
453	<i>Mycobacterium avium</i>	2
119	<i>Mycobacterium complex</i>	
118	<i>Mycobacterium paratuberculosis</i>	14
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	12
039	<i>Legionella pneumoniiae</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	21
422	Anaerobes	
042	<i>Flasmodium</i> spp.	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	17
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	12
031	<i>Streptococcus A</i>	
032	<i>Streptococcus B</i>	4
452	PKSP / PISP	2
038	PKSP / PISP以外	2
422	Anaerobes	4
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
	計	93

分離材料:穿刺液(胸水、腹水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	1
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	2
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	
165	<i>Mycobacterium</i> spp.	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2
421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2
452	PKSP - PISP	1
038	PKSP - PISP以外	3
422	Anaerobes	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
	計	15

分離材料:尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	47
176	<i>Enterococcus</i> spp.	6
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	16
422	Anaerobes	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	15
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1
161	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3
164	<i>Enterococcus</i>	30
425	<i>Candida albicans</i>	7
425	<i>Candida albicans</i>	142
	計	192

分離材料:髄液 髄液培養管検出(分科別)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
099	<i>Neisseria meningitidis</i>	7
092	<i>Streptococcus B</i>	1
119	<i>Chlamydia trachomatis</i>	1
161	<i>Ursaphium</i>	
425	<i>Candida albicans</i>	8
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>	
	計	16

病原菌検出状況報告書

平成26年6月分集計

長崎県環境保健研究センター  
TEL: 0957-48-1560  
FAX: 0957-48-1570

分離材料: 糞便

Table with columns: コード, 菌種・群・型, 比出率, 検出. Lists various bacterial strains such as Escherichia coli, Salmonella, and Yersinia.

分離材料: 糞便(ワグ)

Table with columns: コード, 菌種・群・型, 比出率, 検出. Lists bacterial strains like Shigella dysenteriae and Shigella flexneri.

0 \* 海外旅行者分離  
\* Veroto毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、菌名のB/E/C/A/E/C情報記入欄に該当点で分かる範囲の情報を記入してください。  
\* \* V.cholerae O139が検出された場合は、裏面のV.cholerae O139情報記入欄に記入してください。

分離材料: 空創湿(雨水、露水、隠蔽液など)

Table with columns: コード, 菌種・群・型, 比出率, 検出. Lists strains like Escherichia coli and Klebsiella pneumoniae.

分離材料: 唾液

Table with columns: コード, 菌種・群・型, 比出率, 検出. Lists strains like Escherichia coli and Haemophilus influenzae.

分離材料: 咽頭および鼻咽部からの材料

Table with columns: コード, 菌種・群・型, 比出率, 検出. Lists strains like Moraxella parvula and Neisseria meningitidis.

分離材料: 血液

Table with columns: コード, 菌種・群・型, 比出率, 検出. Lists strains like Escherichia coli, Salmonella, and Haemophilus influenzae.

分離材料: 痰液、気管肺分泌物および下気道からの材料

Table with columns: コード, 菌種・群・型, 比出率, 検出. Lists strains like Mycobacterium tuberculosis and Klebsiella pneumoniae.

分離材料: 陰部尿道道菌叢(分泌物)

Table with columns: コード, 菌種・群・型, 比出率, 検出. Lists strains like Neisseria gonorrhoeae and Staphylococcus aureus.



病原菌検出状況報告書

平成26年7月分集計

長崎県環境保健研究センター  
TEL:0957-48-7660  
FAX:0957-48-7670

分離材料：糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
003	<i>Escherichia coli</i> 腸炎菌A型(H7EC)	
004	<i>Escherichia coli</i> 腸炎菌A型(H7EC)	
006	<i>Escherichia coli</i> 腸炎菌B型(H9EC)	
007	<i>Escherichia coli</i> 腸炎菌B型(H9EC)	
008	<i>Escherichia coli</i> その他の型、不明	
101	<i>Salmonella</i> <i>Hydr</i>	
102	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A	
104	<i>Salmonella</i> O4(B)	1
106	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)	
107	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)	
108	<i>Salmonella</i> O9(D1)	
109	<i>Salmonella</i> O9, 48(D3)	
110	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)	
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)	
116	<i>Salmonella</i> O18(K)	
132	<i>Salmonella</i> その他の型	
133	<i>Salmonella</i> 群不明	
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>	
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>	
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El Tor, Ogawa, GT1(+)	
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, Ogawa, GT1(-)	
207	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, GT1(-)	
213	<i>V. Cholerae</i> O139, GT1(+)	
214	<i>V. Cholerae</i> O139, GT1(-)	
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外	
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	
217	<i>Vibrio fluvialis</i>	
218	<i>Vibrio vulnificus</i>	
243	<i>Aeromonas hydrophila</i>	
220	<i>Aeromonas sobria</i>	
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>sober</i> 菌群中?	
222	<i>Pseudomonas shigelloides</i>	
223	<i>Campylobacter jejuni</i>	1
224	<i>Campylobacter coli</i>	
225	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>coli</i> 菌群中?	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
227	<i>Clostridium perfringens</i>	
228	<i>Clostridium botulinum</i> E	
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外	
230	<i>Bacillus cereus</i>	
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>	

分離材料：唾液(つば)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> var. V	
302	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
304	<i>Shigella sonnei</i>	1
305	<i>Shigella</i> 群不明	
401	<i>Entamoeba histolytica</i>	
402	<i>Cryptosporidium</i>	
403	<i>Giardia lamblia</i>	5

0\*:海外旅行者分母増

\* Vero等培養生性を確認した例について検出数を記入してください。また、菌種のB/E/C/A/TEC情報記入欄に現時点で分かる薬性の情報を記入してください。

\*\* *V. cholerae* O139が検出された場合は、菌種の「*V. cholerae* O139

情報」記入欄に記入してください。

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	1
119	<i>Neisseria pneumoniae</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2
163	<i>Mycobacterium</i> spp.	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
421	<i>Staphylococcus</i> =779-型菌	
452	PRSP - PRSP	
038	PRSP - PRSP以外	3
422	<i>Anaerobes</i>	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	

分離材料：唾液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
032	<i>Streptococcus</i> B	
452	PRSP / PRSP	
038	PRSP / PRSP以外	0

分離材料：咽頭および鼻咽喉部からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
037	<i>Zoonobolus marisuis</i>	
118	<i>Neisseria meningitidis</i>	2
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
031	<i>Streptococcus</i> A	
452	PRSP / PRSP	
038	PRSP / PRSP以外	
036	<i>Corynebacterium diptheriae</i>	2

分離材料：尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	48
176	<i>Enterobacter</i> spp.	9
119	<i>Neisseria pneumoniae</i>	8
421	<i>Acinetobacter</i> spp.	1
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	8
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4
421	<i>Staphylococcus</i> =779-型菌	12
424	<i>Enterococcus</i>	26
425	<i>Candida albicans</i>	5
	合計	123

分離材料：血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	11
003	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>	
004	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A	
228	<i>Salmonella</i> spp.	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	
102	<i>Listeria monocytogenes</i>	2
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4
421	<i>Staphylococcus</i> =779-型菌	14
032	<i>Streptococcus</i> B	1
452	PRSP / PRSP	1
038	PRSP / PRSP以外	6
422	<i>Anaerobes</i>	
042	<i>Plesiomodum</i> spp.	12

分離材料：皮膚、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	2
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>Intracellulare</i> complex	2
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	9
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	8
039	<i>Legionella pneumoniase</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	27
422	<i>Anaerobes</i>	
042	<i>Plesiomodum</i> spp.	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	14
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	15
031	<i>Streptococcus</i> A	
032	<i>Streptococcus</i> B	2
452	PRSP / PRSP	
038	PRSP / PRSP以外	2
422	<i>Anaerobes</i>	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
	合計	83

分離材料：膿液・膿汁・膿瘍(分球)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	
032	<i>Streptococcus</i> B	6
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	
124	<i>Ureaplasma</i>	
425	<i>Candida albicans</i>	7
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>	
	合計	13

病原菌検出状況報告書

平成28年8月分集計

長崎県健康医療研究センター  
TEL:0957-48-7560  
FAX:0957-48-7570

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
003	<i>Escherichia coli</i> O157:H7	
004	<i>Escherichia coli</i> O157:H7	
006	<i>Escherichia coli</i> O157:H7	
007	<i>Escherichia coli</i> O157:H7	
008	<i>Escherichia coli</i> O157:H7	
101	<i>Salmonella</i> Jypji	
102	<i>Salmonella</i> Paratyphi A	
104	<i>Salmonella</i> O4(B)	
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)	
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)	
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)	
108	<i>Salmonella</i> O9, 4b(D3)	
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)	
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)	
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)	
116	<i>Salmonella</i> O18(K)	
132	<i>Salmonella</i> 未不明	
133	<i>Salmonella</i> 未不明	
902	<i>Yersinia enterocolitica</i>	
903	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>	
904	<i>V. cholerae</i> O1:El Tor, Ogawa, CT(+)	
905	<i>V. cholerae</i> O2:El Tor, Ogawa, CT(-)	
906	<i>V. cholerae</i> O3:El Tor, Ogawa, CT(+)	
907	<i>V. cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, CT(-)	
213	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)	
214	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(-)	
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1G0139以外	
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	
217	<i>Vibrio fluvialis</i>	
218	<i>Vibrio mimicus</i>	
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>	
220	<i>Aeromonas sobria</i>	
921	<i>Aeromonas hydrophila</i> /nobis 菌株未詳	
922	<i>Plesiomonas shigelloides</i>	
923	<i>Campylobacter jejuni</i>	
924	<i>Campylobacter coli</i>	
925	<i>Campylobacter jejuni</i> /cal 菌株未詳	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	
327	<i>Clostridium perfringens</i>	
328	<i>Clostridium botulinum</i> E	
929	<i>Clostridium botulinum</i> E以外	
930	<i>Loquax carnosus</i>	
931	<i>Loquax shigaenensis</i>	

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> 型( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X	
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 型( )	
304	<i>Shigella sonnei</i>	
305	<i>Shigella</i> 未不明	
401	<i>Entamoeba histolytica</i>	
402	<i>Cryptosporidium</i>	
403	<i>Giardia lamblia</i>	
	計	3

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	
032	<i>Streptococcus</i> B	
452	PRSP / PRSP	
038	PRSP / PRSP	
	計	0

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	20
003	<i>Salmonella Jypji</i>	
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>	
426	<i>Salmonella</i> spp.	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
001	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	3
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	3
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	6
421	<i>Staphylococcus</i> =779-7菌株	16
032	<i>Streptococcus</i> B	
452	PRSP / PRSP	
038	PRSP / PRSP	
422	<i>Anaerobes</i>	7
042	<i>Plasmodium</i> spp.	
	計	36

0\*：海外旅行者等  
\*：Vero細胞毒性検査を依頼した例について検出数を記入して  
ください。また、最新のB/E/C/A/E/C情報記入欄に現時点で  
分かる最新の情報を記入してください。

分離材料：糞便(つづ)

分離材料：咽頭および鼻咽喉からの材料

分離材料：血液

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	6
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	1
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	4
163	<i>Mycobacterium</i> spp.	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	
421	<i>Staphylococcus</i> =779-7菌株	
452	PRSP / PRSP	
038	PRSP / PRSP	
422	<i>Anaerobes</i>	6
126	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	

分離材料：尿

分離材料：腸胃腸道細菌(分枝)物

分離材料：痰、尿管導引線および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	53
176	<i>Enterobacter</i> spp.	3
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	7
469	<i>Acinetobacter</i> spp.	7
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	7
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	13
421	<i>Staphylococcus</i> =779-7菌株	24
422	<i>Enterococcus</i>	7
	計	106

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
037	<i>Bordetella pertussis</i>	2
138	<i>Haemophilus influenzae</i>	2
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	2
031	<i>Streptococcus</i> A	
452	PRSP / PRSP	
038	PRSP / PRSP	
036	<i>Corynebacterium aliphaticum</i>	4

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	2
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>intracellulare</i> complex	6
119	<i>Mycobacterium pneumoniae</i>	8
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	6
039	<i>Legionella pneumophila</i>	32
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	42
422	<i>Anaerobes</i>	42
042	<i>Plasmodium</i> spp.	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	14
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	
926	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	12
031	<i>Streptococcus</i> A	
032	<i>Streptococcus</i> B	2
452	PRSP / PRSP	2
038	PRSP / PRSP	2
422	<i>Anaerobes</i>	2
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
	計	86

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	5
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	5
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	3
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	13
421	<i>Staphylococcus</i> =779-7菌株	24
422	<i>Enterococcus</i>	7
	計	57

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	20
003	<i>Salmonella Jypji</i>	
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>	
426	<i>Salmonella</i> spp.	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
001	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	3
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	3
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	6
421	<i>Staphylococcus</i> =779-7菌株	16
032	<i>Streptococcus</i> B	
452	PRSP / PRSP	
038	PRSP / PRSP	
422	<i>Anaerobes</i>	7
042	<i>Plasmodium</i> spp.	
	計	36

コード	菌種・群・型	白出芽 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	20
003	<i>Salmonella Jypji</i>	
004	<i>Salmonella Paratyphi A</i>	
426	<i>Salmonella</i> spp.	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
001	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	3
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	3
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	6
421	<i>Staphylococcus</i> =779-7菌株	16
032	<i>Streptococcus</i> B	
452	PRSP / PRSP	
038	PRSP / PRSP	
422	<i>Anaerobes</i>	7
042	<i>Plasmodium</i> spp.	
	計	36

病原菌検出状況報告書

平成26年9月分集計

長崎県環境保健研究センター  
TEL:0957-48-7560  
FAX:0957-48-7570

分離材料：糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
003	<i>Escherichia coli</i> 腸炎大腸菌 (EPEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 腸炎大腸菌 (EPEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 腸炎大腸菌 (EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸炎大腸菌 (EPEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> 腸炎大腸菌 (EPEC)		
009	<i>Escherichia coli</i> 腸炎大腸菌 (EPEC)		
101	<i>Salmonella</i> <i>Syria</i> 豚の糞、木屑		
102	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
104	<i>Salmonella</i> O4 (B)		
106	<i>Salmonella</i> O7 (C1, C4)		
108	<i>Salmonella</i> O8 (C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9 (D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 48 (D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10 (E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19 (E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13 (G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18 (K)		
132	<i>Salmonella</i> 豚の糞		
133	<i>Salmonella</i> 豚の糞		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El Tor, <i>Gyara</i> , CT(+)		
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, <i>Gyara</i> , CT(+)		
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, <i>Indica</i> , CT(+)		
207	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, <i>Indica</i> , CT(-)		
313	<i>V. Cholerae</i> O1:39 CT(+)		
314	<i>V. Cholerae</i> O1:39 CT(-)		
315	<i>Vibrio cholerae</i> O1:KO139以外		
316	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
317	<i>Vibrio</i> <i>fishalis</i>		
318	<i>Vibrio</i> <i>similiculus</i>		
413	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>sobria</i> 魚類科ナリ		
222	<i>Pseudomonas shigelloides</i>		
224	<i>Campylobacter jejuni</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>coli</i> 動物科ナリ		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	4	
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料：糞便(ついで)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 豚( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 豚( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 豚( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 豚( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 豚( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> 豚( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> 豚( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. A		
302	<i>Shigella boydii</i> 豚( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 豚( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 豚( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 豚( )		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 豚不明		
401	<i>Entamoeba histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		

0 \* 海外旅行者分母

\* Vero毒素産生性を確認した例について検出数を記入して  
ください。また、糞便のBHEC/VTEC情報記入欄に現時点で  
分かる範囲の情報を入力してください。

\* \* *V. cholerae* O1:39が検出された場合は、糞便の「*V. cholerae*  
O1:39情報」記入欄に記入してください。

分離材料：穿刺液(海水、尿水、膿液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		3
119	<i>Neisseria pneumoniae</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		3
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
163	<i>Mycobacterium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		2
421	<i>Staphylococcus</i> =777-2菌性		1
452	PRSP - PRSP		
038	PRSP - PRSP以外		
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		9

分離材料：血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
422	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PRSP		
038	PRSP / PRSP以外		
	計		0

分離材料：尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
037	<i>Acinetobacter baumannii</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		1
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus</i> A		
452	PRSP / PRSP		
036	PRSP / PRSP以外		
036	PRSP / PRSP以外		
036	PRSP / PRSP以外		
	計		1

分離材料：尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		31
176	<i>Enterobacter</i> spp.		3
119	<i>Neisseria pneumoniae</i>		13
424	<i>Acinetobacter</i> spp.		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		10
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		5
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		4
421	<i>Staphylococcus</i> =777-2菌性		10
424	<i>Enterococcus</i>		18
425	<i>Candida albicans</i>		8
	計		102

分離材料：血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		5
003	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
004	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
428	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		3
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		5
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		4
421	<i>Staphylococcus</i> =777-2菌性		17
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PRSP		
038	PRSP / PRSP以外		
422	<i>Anaerobes</i>		2
042	<i>Flasmodium</i> spp.		
	計		37

分離材料：痰液、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		1
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>intracellulare</i> complex		3
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		13
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		5
039	<i>Legionella pneumoniae</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		30
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Flasmodium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		29
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		7
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B		1
452	PRSP / PRSP		2
038	PRSP / PRSP以外		
422	<i>Anaerobes</i>		2
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
	計		95

分離材料：膿液(潰瘍、創傷、分泌物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>		1
032	<i>Streptococcus</i> B		
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>		9
124	<i>Ureaplasma</i>		
425	<i>Candida albicans</i>		9
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	計		19



病原菌検出状況報告書

平成26年10月分集計

長崎県健康医療研究センター  
TEL:0957-48-7560  
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
003	<i>Escherichia coli</i> O157:H7		
004	<i>Escherichia coli</i> O157:H7		
006	<i>Escherichia coli</i> O157:H7		
007	<i>Escherichia coli</i> O157:H7		
008	<i>Escherichia coli</i> O157:H7		
101	<i>Salmonella</i> Jyphi		
102	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 4b(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> 群不明		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
204	<i>V. cholerae</i> O1:El Tor, Ogawa, G1(+)		
205	<i>V. cholerae</i> O2:El Tor, Ogawa, G1(-)		
206	<i>V. cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, G1(+)		
207	<i>V. cholerae</i> O3:El Tor, Inaba, G1(-)		
213	<i>V. cholerae</i> O139, G1(+)		
214	<i>V. cholerae</i> O139, G1(+)		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O139, G1(-)		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
219	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> /sobria 群不明		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>		
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni</i> /coli 群不明		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Bacillus cereus</i>		
231	<i>Bacillus thuringiensis</i>		

分離材料: 糞(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> 群( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> 群( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Enterobacter histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		

分離材料: 糞液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
422	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PRSP		
038	PRSP / PRSP		
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Pseudomonas</i> spp.		
	計		0

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		
003	<i>Salmonella</i> Jyphi		
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PRSP		
038	PRSP / PRSP		
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Pseudomonas</i> spp.		
	計		28

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		
176	<i>Enterobacter</i> spp.		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
422	<i>Anaerobes</i>		
109	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
426	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		

分離材料: 咽頭拭い

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
037	<i>Haemophilus parvulus</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus</i> A		
452	PRSP / PRSP		
038	PRSP / PRSP		
036	<i>Corynebacterium diptheriae</i>		

分離材料: 膿液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		
176	<i>Enterobacter</i> spp.		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
422	<i>Anaerobes</i>		
109	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
426	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		

分離材料: 痰液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
453	<i>Mycobacterium avium</i> -		
119	<i>Mycobacterium complex</i>		
118	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
039	<i>Legionella pneumophila</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Pseudomonas</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PRSP		
038	PRSP / PRSP		
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		

分離材料: 膿液(分注物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
009	<i>Neisseria meningitidis</i>		
030	<i>Streptococcus</i> B		
176	<i>Chlamydia trachomatis</i>		
119	<i>Legionella</i>		
425	<i>Candida albicans</i>		
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		
	計		11

分離材料: 膿液(分注物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		
176	<i>Enterobacter</i> spp.		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
422	<i>Anaerobes</i>		
109	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
426	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		

分離材料: 膿液(分注物)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		
176	<i>Enterobacter</i> spp.		
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		
422	<i>Anaerobes</i>		
109	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
426	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		

病原菌検出状況報告書

平成26年11月分集計

長崎県健康保健研究センター  
TEL:0957-48-7560  
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
003	<i>Escherichia coli</i> 腸炎毒大腸菌 (EPEC)		
004	<i>Escherichia coli</i> 腸炎毒大腸菌 (EPEC)		
006	<i>Escherichia coli</i> 腸炎毒大腸菌 (EPEC)		
007	<i>Escherichia coli</i> 腸炎毒大腸菌 (EPEC)		
008	<i>Escherichia coli</i> 腸炎毒大腸菌 (EPEC)		
101	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
102	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
104	<i>Salmonella</i> O4(B)		
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)		
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)		
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)		
108	<i>Salmonella</i> O9, 4b(D3)		
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)		
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)		
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)		
116	<i>Salmonella</i> O18(K)		
132	<i>Salmonella</i> 群不明		
133	<i>Salmonella</i> 群不明		
302	<i>Yersinia enterocolitica</i>		
303	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>		
304	<i>V. Cholerae</i> O1:SI, For. Oqars, GI(+)		
305	<i>V. Cholerae</i> O2:SI, For. Oqars, GI(-)		
306	<i>V. Cholerae</i> O3:SI, For. Oqars, GI(+)		
307	<i>V. Cholerae</i> O3:SI, For. Oqars, GI(+)		
313	<i>V. Cholerae</i> O1:SI, For. Oqars, GI(-)		
314	<i>V. Cholerae</i> O1:SI, For. Oqars, GI(-)		
215	<i>Vibrio cholerae</i> O1&O139以外		
216	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>		
217	<i>Vibrio fluvialis</i>		
218	<i>Vibrio mimicus</i>		
219	<i>Aeromonas hydrophila</i>		
220	<i>Aeromonas sobria</i>		
221	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>sobria</i> 群不明		
222	<i>Plesiomonas shigelloides</i>		
223	<i>Campylobacter jejuni</i>	1	
224	<i>Campylobacter coli</i>		
225	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>coli</i> 群不明		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1	
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	6	
227	<i>Clostridium perfringens</i>		
228	<i>Clostridium botulinum</i> E		
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外		
230	<i>Acetivibrio caryophylli</i>		
231	<i>Macillus thuringiensis</i>		

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )		
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> 群( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> 群( )		
302	<i>Shigella flexneri</i> var. X		
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )		
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )		
304	<i>Shigella sonnei</i>		
305	<i>Shigella</i> 群不明		
401	<i>Enterobacter histolytica</i>		
402	<i>Cryptosporidium</i>		
403	<i>Giardia lamblia</i>		

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PRSP		
038	PRSP / PRSP以外		

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		15
003	<i>Salmonella</i> <i>Typhi</i>		
004	<i>Salmonella</i> <i>Paratyphi</i> A		
426	<i>Salmonella</i> spp.		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		
001	<i>Neisseria meningitidis</i>		
106	<i>Listeria monocytogenes</i>		
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		8
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		2
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		6
421	<i>Staphylococcus</i> <i>コブクラ</i> -7菌性		16
032	<i>Streptococcus</i> B		
452	PRSP / PRSP		
038	PRSP / PRSP以外		
422	<i>Anaerobes</i>		3
042	<i>Flasmodium</i> spp.		

0 \* 海外旅行者分離  
\* Vero細胞毒性を確別した例について検出数を記入してください。また、最新のBHEC/VTEC情報記入欄に該当点で分かる範囲の情報を入力してください。  
\* \* *V. cholerae* O139が検出された場合は、最後の「V. cholerae O139情報」欄に記入してください。

分離材料: 咽頭および鼻粘膜からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
037	<i>Haemophilus parvus</i>		
118	<i>Haemophilus influenzae</i>		3
030	<i>Neisseria meningitidis</i>		
031	<i>Streptococcus</i> A		
452	PRSP / PRSP		
038	PRSP / PRSP以外		
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>		3

分離材料: 痰、気管鏡引降および気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		1
453	<i>Mycobacterium avium</i> - <i>M. intracellulare</i> complex		8
119	<i>Mycobacterium pneumoniae</i>		16
039	<i>Legionella pneumophila</i>		9
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		25
422	<i>Anaerobes</i>		
042	<i>Flasmodium</i> spp.		
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		17
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>		
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		10
031	<i>Streptococcus</i> A		
032	<i>Streptococcus</i> B		3
452	PRSP / PRSP		1
038	PRSP / PRSP以外		2
422	<i>Anaerobes</i>		
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		2

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>		46
176	<i>Enterobacter</i> spp.		8
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		11
429	<i>Acinetobacter</i> spp.		
109	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>		14
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		6
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		4
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)		3
421	<i>Staphylococcus</i> <i>コブクラ</i> -7菌性		34
422	<i>Enterococcus</i>		8
425	<i>Candida albicans</i>		138

分離材料: 髄液、髄液、髄液培養液(分枝菌)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出	ヒト由来 検出
009	<i>Neisseria meningitidis</i>		18
030	<i>Streptococcus</i> B		2
176	<i>Chlamydia trachomatis</i>		
119	<i>Legionella</i>		
425	<i>Candida albicans</i>		6
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>		



病原菌検出状況報告書

平成26年12月分集計

東経高度医療保健研究センター  
TEL:0957-48-7560  
FAX:0957-48-7570

分離材料: 糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
003	<i>Escherichia coli</i> 腸管集菌性(ET/EC)	
004	<i>Escherichia coli</i> 腸管集菌性(ET/EC)	
006	<i>Escherichia coli</i> 腸管集菌性(ET/EC)	
007	<i>Escherichia coli</i> 腸管集菌性(ET/EC)	
008	<i>Escherichia coli</i> 腸管集菌性(ET/EC)	
101	<i>Salmonella</i> 群不詳	
102	<i>Salmonella</i> Paratyphi A	
104	<i>Salmonella</i> O4(B)	
105	<i>Salmonella</i> O7(C1, C4)	
106	<i>Salmonella</i> O8(C2, C3)	
107	<i>Salmonella</i> O9(D1)	
108	<i>Salmonella</i> O9, 4b(D3)	
109	<i>Salmonella</i> O3, 10(E1, E2, E3)	1
110	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19(E4)	
112	<i>Salmonella</i> O13(G1, G2)	
116	<i>Salmonella</i> O18(K)	
133	<i>Salmonella</i> 群不詳	
202	<i>Yersinia enterocolitica</i>	
203	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>	
204	<i>V. Cholerae</i> O1:El Tor, G1, G2, CT(+)	
205	<i>V. Cholerae</i> O2:El Tor, G1, G2, CT(+)	
206	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, G1, G2, CT(+)	
207	<i>V. Cholerae</i> O3:El Tor, G1, G2, CT(+)	
313	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)	群不詳
314	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)	群不詳
315	<i>V. Cholerae</i> O139, CT(+)	群不詳
316	<i>Vibrio cholerae</i> O1:El Tor, G1, G2, CT(+)	群不詳
317	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	
418	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	
419	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	
420	<i>Aeromonas hydrophila</i>	1
421	<i>Aeromonas sobria</i>	
422	<i>Aeromonas hydrophila</i> / <i>Aeromonas sobria</i> 群不詳	
423	<i>Plesiomonas shigelloides</i>	
424	<i>Campylobacter jejuni</i>	1
425	<i>Campylobacter coli</i>	
426	<i>Campylobacter jejuni</i> / <i>Campylobacter coli</i> 群不詳	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1
226	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	13
227	<i>Clostridium perfringens</i>	
228	<i>Clostridium botulinum</i> E	
229	<i>Clostridium botulinum</i> E以外	
230	<i>Haemophilus</i>	
231	<i>Haemophilus</i>	

分離材料: 糞便(つづき)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )	
301	<i>Shigella dysenteriae</i> 群( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> 群( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> 群( )	
302	<i>Shigella flexneri</i> var. Y	
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )	
303	<i>Shigella boydii</i> 群( )	
304	<i>Shigella sonnei</i>	
305	<i>Shigella</i> 群不詳	
401	<i>Enteramoeba histolytica</i>	
402	<i>Cryptosporidium</i>	
403	<i>Giardia lamblia</i>	17

分離材料: 膿液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
426	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	
032	<i>Streptococcus</i> B	
452	PRSP / PISP	
038	PRSP / PISP以外	0

分離材料: 血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	19
003	<i>Salmonella</i> Typhi	
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A	
426	<i>Salmonella</i> spp.	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	10
426	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	7
032	<i>Streptococcus</i> B	13
452	PRSP / PISP	2
038	PRSP / PISP以外	6
422	<i>Anaerobes</i>	
042	<i>Plasmodium</i> spp.	6
	計	62

分離材料: 尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	34
176	<i>Enterococcus</i> spp.	7
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	6
423	<i>Acinetobacter</i> spp.	12
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	12
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2
998	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	7
421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	5
424	<i>Enterococcus</i> 群不詳	25
425	<i>Enterococcus</i>	14
426	<i>Candida albicans</i>	14
	計	114

分離材料: 咽頭および鼻咽喉頭の材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
037	<i>Bordetella pertussis</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	1
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
031	<i>Streptococcus</i> A	
452	PRSP / PISP	
038	PRSP / PISP以外	
036	<i>Corynebacterium diptheriae</i>	1

分離材料: 痰

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
001	<i>Escherichia coli</i>	
176	<i>Enterococcus</i> spp.	7
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	6
423	<i>Acinetobacter</i> spp.	12
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	12
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	2
998	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	7
421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	5
424	<i>Enterococcus</i> 群不詳	25
425	<i>Enterococcus</i>	14
426	<i>Candida albicans</i>	14
	計	114

分離材料: 皮膚、気管鏡引線および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	3
453	<i>Mycobacterium avium</i>	1
119	<i>Mycobacterium complex</i>	11
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	4
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	15
422	<i>Anaerobes</i>	
042	<i>Plasmodium</i> spp.	
451	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	19
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	
998	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	16
031	<i>Streptococcus</i> A	8
032	<i>Streptococcus</i> B	8
452	PRSP / PISP	2
038	PRSP / PISP以外	
422	<i>Anaerobes</i>	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
	計	79

分離材料: 眼瞼部消毒薬菌液(分泌)物

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出
029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	
032	<i>Streptococcus</i> B	14
179	<i>Chlamydia trachomatis</i>	
124	<i>Ureaplasma</i>	
425	<i>Candida albicans</i>	15
162	<i>Trichomonas vaginalis</i>	
	計	29